

A G A R O O T

A C A D E M Y

合格者の最短ルート

合格

令和6年合格者

体験記



入門総合カリキュラム

アガルートアカデミー合格体験記 社会保険労務士試験

令和6年

社会保険労務士試験合格

一発

短期間で一発合格！鍵は基礎とメリハリ学習

吉牟田 聖人さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：3 か月

社会保険労務士試験の受験回数：1 回目

社労士試験を目指した理由・契機

試験勉強を始める前、経験も知識も乏しく、自身の進路について悩んでいた所、会社経営をしている兄から勧められた資格が社会保険労務士でした。

その時にはどんな資格なのかも分かりませんでしたが、調べていくうちに今後社会で活躍する資格であると感じ、受験することを決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

資格勉強を始めるに当たって、どのように勉強するか悩んでいたころ、YouTubeの広告でウサギとカメの印象的な広告が流れ「最短ルートはアガルート」というキャッチフレーズが飛び込んで来ました。

そこで、検索してホームページを見た上で、他社との比較等を行い、合格率の高さやテキストの出来の良さを感じ、受講したいと思いました。

合格体験記・学習上の工夫

まず、僕はかなり怠惰な性格で、最終的にやる気が出て学習を始めたのが6月の初旬であったことから、残りの3か月弱、自分を追い込むところから始めました。

最初に、基礎を怠るのはよろしくないと考え、6月最初の1週間で基礎講義を終わらせたのですが、後から勉強期間を十分に取れない場合は基礎講義は受講しなくても良いということを知りました。

その後の講座、教科書でまたきっちりと1から10まで各科目基礎から応用まで解説をしてもらえたので「基礎講義は飛ばしてしまっても良かったかな」と考えていましたが、試

験が終わった今は、むしろ基礎の部分に時間を多く割いた事が功を奏したのではと思っています。

3か月という短い期間に焦りはありましたが、これまでの人生でこれと言って本気で勉強に打ち込んだことがなかったので、まずは様々な効率的勉強法と言われるものを試し、自分に合った勉強法を確立していきました。その中でも、教材の中で難しく暗記に頼るべきところや、数字などの語呂合わせ等について、声に出すことによって記憶を促す発声記憶法についてはかなり具合が良く、みるみる覚えることができたのを感じています。

その他では、僕は元々集中力が低い事を自覚していたのですが、アガルートの短くまとめられた講座とは相性が良く、休憩を取りながら、学習を進めることが出来たので、効率よく学習できました。

講座の中で、特に大事だと思う部分をノートに虫食い問題のようにして書き、それを次の講座の前に解いて内容を思い出すことで、前の講座の内容を忘れないようにしながら進めたので、それも良かったと思います。

基礎講義のご感想・ご利用方法

基礎講義について、語呂合わせに特化していて、単純に暗記によって覚えるのが難しいような部分や、試験で多く出てくる数字といった部分に関して、視覚的に記憶に残りやすい画像（語呂合わせビジュアル）を出してくれたので、試験本番にはもちろんのこと、勉強中にも、「ここは語呂合わせで覚えられるから」と気持ちが楽になったのを覚えています。

僕は学習期間が短かったため本来であれば総合講義から学習を始めた方が時間的には良かったかもしれませんが、それでもやはりメインの科目の、更にその主要部分である「得点につながりやすい所」をピックアップしてあり、視聴することによってその後の総合講義の視聴にも移りやすくなったと感じるため、基礎講義をしっかり視聴してよかったなと感じています。

総合講義のご感想・ご利用方法

言わずもがなのメインディッシュである総合講義は、元々試験の出題範囲が広い事に加え、アガルートの試験問題カバー率が高いという社労士試験講座の武器である事も、かなりボリュームがあるなどといった印象でした。

実際に視聴を始めた時は時間との戦いでもあったと感じていたため1.5倍速で視聴していましたが、教科書の出来が良く、読めば理解できるところが多くあったため2倍速に速度を上げ、解説を聞かなければわからない部分だけ1.5倍速に落として2回ほど聞くなどの工夫をしたうえで全て視聴しました。

総合講義の全部分について、先生の解説には強弱が付いていて、特に大事な所は解説も特に丁寧にしてくれました。強弱が付いている部分は、教科書の文字の色分けにもリンクしていて、大事な部分と触れておくだけで十分な部分というのが、視覚的、聴覚的のどちらでもわかりやすくなっていました。その後にテキストを自分で読むときにも頭の中で解説を思い出しながら読むことができ、かなりスムーズに問題演習、暗記態勢に移ることが

できたなと感じています。

総合講義のテキストの終盤のページには「もう少しだ、頑張ろう！」という趣旨のメッセージが入っているのですが、僕的にはその一文がかなりモチベーション維持に繋がっていました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

僕自身は総合講義の全視聴を終えた段階で8月目前だったことや、総合講義の内容をしっかりと理解することで、選択式は解けるようになって考えていたことから、選択式対策はほとんどしない方針で行くことに決めていました。

それでも、選択式集中特訓講座については、問題に対する向き合い方、解き方や考え方についての解説が序盤にあり、自分がどの程度条文や内容について理解しているか、覚えているのか等を測るためにもってこいの内容であったため、自身に落とし込むこととしました。

実際に試験でも総合講義の内容と合わせて本試験での選択式を突破することに成功したので、選択式対策に時間があまり取れないとしても、序盤だけでも確認しておくことでプラスになる講座だったと考えています。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理講座について、総合講義が終わった段階で、広い出題範囲の、似た数字や言葉等が頻繁に出てくる教科書の内容を、短期間に知識を詰め込みに詰め込んだことで頭がパンクしかけていた所を、その名の通り整理する方向に向かっていけたのはすごくよかったと思います。

また、講座で横断整理の方法を学んだことで、更に総合講義テキストを周回する時、ここはほかの科目ではどうなっていたかなと、確認する癖がついたことで問題を実際に解くフェーズに入った際に、科目ごとの数字の微差等々で混乱することがなくなったと感じています。

科目数が多く、理解はもちろん、暗記がとても重要になってくる社会保険労務士試験ではこういった横断整理がとても大事だなと学びました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

僕は初学者であり、前年度から続けて社会保険労務士の資格受験勉強をしていたわけではないので、すべてが新しい知識であり、前年度からどこが変わったかなどは一つもわからずに進めていました。

そうした中で、総合講義では法改正された部分が大事だという話もあり、どの部分が法改正で新しくなったのかというのは気にかけているところではありましたが、途中からは内容を理解することに必死でそれも難しくなりました。

そんな中、総合講義の終了後でゴチャゴチャしている頭を科目横断整理と共に整理してくれたのが法改正対策講座でした。法改正があった部分の中でも重要度別に分けてあり、

どのように変わったかを意識することにより、問題がどのように出るか等まで考えられ、試験勉強をする心に少し余裕が生まれたように思います。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

社会保険労務士の試験で重要視されているのが、過去問は90~100%解けるようになる必要があるということだと思います。このパーセンテージというのは僕自身も確かに最後まで重要視していた部分になります。

ただ、過去問もどこからどこまでの年数の過去問をやればいいのか初見では分かりません。過去5年分の過去問と、それを理解しながら解くための必要な解説が次のページに書いてあることで、理解さえできているのであればテキストまで立ち戻らなくても十分覚えられるようになる内容であったため、時短になり、そういった意味で、アガルートの過去問冊子は必要十分な冊子だったと思います。

目次を確認すれば、テキストと、問題の番号がリンクしていることから、必要があればすぐにテキストに戻るようになっていたのも良かったです。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

総合講義を視聴し、過去問演習等をやった後に気になってくるのが、自分は今どれくらいの問題が解けるのかということだと思います。各科目の答練をまんべんなくすることで、実際に自分がどの科目がどの程度まで解けるようになっているかを確認することによって、その後の残された時間をどの科目に振り分けていくかの確認をすることができ、最後の詰めをすることができました。

社会保険労務士試験は足切りがあり苦手科目を作ることができないので、自分の物差しにするためにちょうど良い講座だったと思います。分からない所、理解しきれていない部分のみでも、解説を聞くことでこれまた時短になり、苦手科目を作らないことに一役買ってくれました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士資格試験の中でも、特に膨大な量の知識を見て理解しなければならない、覚えなければならない、と多くの人が軽い絶望を感じたことがあるのがこの「白書」であると考えています。

その白書に対して適切な量と質でアプローチしてくれたのが白書対策講座でした。特に重要な所、重要な数字、考え方などについては講座内で解説があったのはもちろん、時間が取れない場合でも読むべき場所の指示等があり、実際にこの講座を見るころには時間がほぼ残されていなかった僕には救いの手でした。

白書については本当に最低限の学習にはなってしまいましたが、それでも合格をつかみ取れたのはこの対策講座なしには成し得なかったのではないかと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

僕は本当に時間がギリギリの試験対策期間になってしまっていた事から、模擬試験を受

け、採点まで終わった後に解説を読み込み復習をする所まではたどり着けませんでした、正誤判定、その解答を選ぶに当たっての考え方と解説を照らし合わせて弱点を洗い出し、その後の勉強に役立てることができたと思っているので、最低限度の利用は出来たかなと考えています。

本来であれば解説講座も倍速でもいいから間違っている所だけでも確認することができたらもっと点数を取ることができたかもしれません…

自宅ですべて気軽に受けられた点や、解答解説冊子も付属していて、時間がない場合は冊子のみで確認できた点は、僕のように時間が足りないと感じながら勉強している人にとっては強みであると思います。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

本当に基礎講義も総合講義もその他の記憶整理等に役立つ講座で心強く、腰を据えた勉強ができたと思います。ありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

一発

初学者は基礎講義が鍵！アガルートを信じて突き進んだ

長野 英二さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：9 か月

社会保険労務士試験の受験回数：1 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私は現在中小企業に勤めています。当社では以前までオーナー自ら労務や人事の業務を行っていたのですが、会社の規模も大きくなっていく中で手が回らなくなってきたため、私が労務・人事の担当者として就くことになりました。その際にオーナーから社労士試験の受験を薦められたのがきっかけです。社会人になってから資格の勉強などしてこなかったため当時はとても悩みましたが、試験の結果に関わらず、社労士の勉強は将来の自分にとって大きな財産になると思い、一念発起して勉強を始めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

勉強を始めるにあたって、少し調べた時点で独学は無理だと判断し通信教材を受講することにしました。その際に私が一番重視したポイントは、動画での講義の内容です。初学者の私にとって、最初は活字のテキストよりも動画の方が頭に入りやすいと考えたためです。そこで各学校のサンプル講義やYouTubeで公開されている講義の動画などを見て比較した中で、アガルートが一番自分に合うと考え受講を決めました。

余談ですが、アガルートのサンプル講義の中で池田先生が担当されている基礎講義はオリジナルの語呂を使うなど色々工夫されていたお陰で頭に入りやすく、アガルートを受講する決め手になりました！

合格体験記・学習上の工夫

私は学生時代を含め地頭がいい訳ではなかったので、普通に勉強をしても合格は難しいと思っていました。それでも他の受験生と張り合えるものが何か一つ欲しいと思った結果、

勉強時間だけはしっかり確保しようと決めました。結果、平日・休日関係なく可処分時間はすべて勉強に費やし、9か月で1,800時間程度勉強時間を確保したと思います。テキスト、過去問は8周はしたと思います。その中で自分が勉強しながら意識していた点をいくつか挙げます。少しでも参考になれば幸いです。

- ・テキスト、過去問は一度手を付けたらそれが終わるまで他の科目に手をつけない（労基の過去問の息抜きに白書を見たりしない）
- ・全科目、全教材まんべんなく周回する（直前期は別）
- ・意識的に得意科目、不得意科目を作らないようにする
- ・アガルートの教材を全力で信用し、他の市販テキストなどを買わない
- ・通勤時間は毎日同じ内容を聴く（自分は条文聞き流しをずっとループして聞いていました）
- ・試験までは自分を甘やかさない（楽しみは全部試験後に回す！）

また、試験の直前期は白書や科目横断をはじめとした直前期対策が重要ですが、個人的にはあまりそれらに時間を割き過ぎずに根幹である各科目のテキストと過去問を軸にやっていた方がいいと思いました。

基礎講義のご感想・ご利用方法

受講のきっかけにも書きましたが、アガルートの基礎講義はとても良かったです。特に初学の方には絶対見て欲しいです。社労士試験の全体の構造やボリュームを知ることができるだけでなく、勉強の内容に興味を持てる講義になっており、この「興味を持てる」という点が個人的には一番重要だと思うからです。と言うのも社労士試験は本当に科目数が多く、かつ、どの科目も濃い内容となっています。いきなり総合講義に入っていたら、おそらく私は序盤で躓いていたと思います。ですがアガルートの基礎講義では、池田先生が各科目の概要をととても分かりやすく説明してくれるため、まさしく基礎の知識がすんなり入っていきます。また、語呂や予備知識を合間に入れてくれるためそれがアイスブレイクにもなってくれました。結果として総合講義を受ける際の効率も上がったと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

試験勉強の根幹となった講義です。最初から最後まで本当にお世話になりました。私は最初に総合講義の動画を視聴して、その後はテキストと過去問をひたすら繰り返すという流れで勉強していましたが、すべての科目の教材が揃ってから5月頃に再度すべての講義の動画を視聴しました。2回目は再生速度を2倍速にしていました。竹田先生の講義では科目の勉強というよりも試験に受かるための対策として要所を絞り、本試験で必要な個所に多く時間を割いて頂けたのでとても実践的で力が身に付きます。

また、総合講義のテキストのボリュームが膨大で、勉強を始めた当初はとても不安でした。しかし周回していくたびに理解が深まっていくのを感じられたので、このボリュームがあったからこそ、勉強を進めていくにつれて不安が自信に変化したんだな、と実感でき

ました。比較対象がないので恐縮ですが、テキストの中身は量が多いからといって情報を煩雑に載せているわけではなく、構成が綺麗にまとめられており、読み込んで理解を深めていくほどにテキストの優秀さを実感していきました。

過去問テキストは一問一答形式でまとめられています。個人的にはこのテキストの正答率をどれだけ100%に近づけられるかが試験勉強の肝だと思います。単に○×問題になっては意味がないと思い、間違った問題は解説を読み込むことを心がけ、何度も同じ問題を間違えるときは問題文と正しい答えをノートに書き写したり朗読するなど工夫しました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

本試験に出そうな箇所がまとまっており、直前期の実力アップにつながりました。私は他校での会場模試を2回受けましたが、どちらも選択式で足切り科目が複数出してしまう状態でした。そこでこのテキストを中心に選択式対策に取り組み、条文や各科目のテキストを読み込む際に選択式で問題に抜かれそうなポイントを意識しながら学習しました。理想はこのテキストを全てマスターすることだと思いますが、私にはそれが難しかったので以下の3点を特に意識してテキストを読み込むようにしました。

- ・各法律の目的条文
- ・判例
- ・科目問わず数字の暗記

特に数字に関しては暗記していくしかないなので、科目横断整理講座などとの連携で意識して覚えていきました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理講座は、教材が届いてから3周しました。3周目は試験の直前に、各科目のテキストも開きながら並行して見ていき、最後の復習として丁寧に内容を確認していました。各項目の定義の違いや比較など試験を受ける上で大変勉強になる内容でした。特に社会保険科目の不服申し立ては図で確認することで比較対象が明確になったため、しっかりと記憶できました。

また、このテキストの最初にある「第1節 目的条文」が個人的に一番参考になりました。労働関連法や労働市場法などジャンルごとに目的条文がまとめられており、法律ごとの関係やドッキング条項などを頭の中で整理することができたため、相乗効果でその後の条文の暗記にも役立ったと感じています。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

私は初学でしたので新しく知識を覚えるだけでよかったですが、おそらく社労士試験で厄介な点の一つに法改正があると思います。毎年多くの改正点があり、一つ一つ確認していたら元の知識との混乱が起きると思います。その点アガルトの法改正対策講座は全科目を一気に確認でき、重要度によって星がつけられているので各受験者の学習の進み具合によって暗記の優先度がつけられる点がとても良いと思いました。私は更に自分が間違え

そんな部分にドッグタグをつけ、試験の前日の最後の復習の際に、テキストのドッグタブ部分と星2と3のものだけ見返していました。わずかな時間で重要ポイントだけを押さえられたので、結果につながった要因の一つだと思っています。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

正直な話、過去問マスター答練（令和2年～令和4年）に関しては特に言及することがありません。というのも、この答練に取り掛かるまでに一問一答の過去問テキストを仕上げていたので、苦も無く解けたからです。なのでこの令和2～4年の答練は一周しかしていません。しかし、知っている問題でも、いざ5択の肢として出されると自分の答えに自信が持てなくなる問題やケアレスミス等もあったので、本試験対策としては初出の問題に備えるよりもどれだけ過去問に自信をもって正確に答えられるかが重要だと気づけました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

名前のとおり、自分の実力がどの程度かを計る問題集でしたが、所々に難しい問題もあり、とても解きごたえがありました。難易度もちょうど良く、テキストと過去問をこなしていれば本試験での合格ラインまでギリギリ届くといった印象です。ただ内容は各科目の要所を押さえたもので、過去数年の本試験の傾向を意識していたように思います。また、初学の私にとっては本試験に臨むにあたっての大きなステップアップになりました。それまでは過去問マスターでの令和2～4年の問題で知っている肢ばかりだったのに対して、当答練は知らない肢が多い中で答えを導き出すという私にとって初めての本当の択一式問題だったからです。答えが合っていても運だと意味がないので全ての肢の内容を確認していったため、直前期の勉強の中では一番時間をかけたと思いますが、一番実のある内容だったと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

労一・社一の過去問テキストを初めて解いた時に、冷や汗をかいたのを覚えています（笑）。試験範囲を押さえようと思うと膨大な時間がかかり、厚生労働省のホームページから各調査書を探して最新のものをみてみましたが全く頭に入らず、途方に暮れていたところに届いたのが白書対策講座でした。最近の労働経済の概況から始まり各種統計データや推移をグラフと文章の両面から解説していき、試験に出そうなポイントをしっかり押さえています。また、動画講義の内容が非常に良く、先生の解説や試験予想が本試験での自信につながりました。本当に、このテキストには助けられました。誇張でも何でもなく、このテキストが無ければ私の試験の結果は変わっていたと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

別の項目でも触れましたが、私は本試験までに他校の会場での模試を2回受けました。どちらも腕試しといった意味合いが強かったです。しかしアガルートの模試に関しては自分のしてきた勉強の集大成と思い、本番を想定して時間を計り問題を解くようにしました。

問題の内容だけではなく、講師の皆様のアドバイスを思い出しながら、試験全体の時間配分、どの科目から解くか、正答選択肢を全て選ぶ問題は後に回す、など頭の中で思い出しながら解くことも心掛けました。おかげで本試験では全く緊張せず、解けない問題があっても慌てず冷静に対処できたと思っています。会場で受ける他校の模試も大事ですが、アガルートの模試を本番前の調整に使う、というのは強くお勧めしたいです。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

勉強を始めるまではまさか自分が1年で難関試験に合格できるとは夢にも思っていませんでした。あの時アガルートを選んで本当に良かったです。講師やスタッフの皆様にご心より感謝いたします。これから自分がどんなキャリアを歩んでいくかは分かりませんが、今回の勉強でアガルートから学んだことを活かしていきたいと思います。

令和6年

社会保険労務士試験合格

「毎日必ず3時間はやること」を心掛け実践した

杉山 久仁男さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：9 か月

社会保険労務士試験の受験回数：5 回目以上

社労士試験を目指した理由・契機

業務で年金（在職老齢年金の支給停止等）や雇用保険（受給資格、基本手当の額、就職後の手続き）、労災に遭遇した際の相談等があり、しっかりした知識を身につけて相談者の方の支援につなげたいと思ったことが社労士試験を目指したきっかけです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

最近の試験の傾向（行政通達からの出題、法の趣旨等から考えさせる問題、事例問題）が増えており、従来の予備校では合格が難しいと判断したためです。サンプル動画やテキストを見てこれなら合格できるのではないかと思えたこともきっかけです。

合格体験記・学習上の工夫

- ・「毎日必ず3時間は必ずやること」を心掛けました。
- ・次のテキストが到着する日程に合わせて、現在進めている科目を必ず終わらせることを計画の第一目標に置きました。
- ・まず、基礎講義を聞いて、本当の基礎部分を聴講しました。
- ・理解出来ない箇所は何度も繰り返して講義を聞きました。ただし、時間を区切って1つの箇所に時間を掛けすぎないように注意しました。科目数が多いのですべて満遍なくやるためです。労災や徴収法が苦手な部分があり、テキストを見ながら図示したり、まとめを作ったりして視覚に訴えることを行いました。
- ・前日やった内容を次の日に必ず復習をしました。表にまとめ、机の前に張り付け覚えるまで張っておき、覚えたと思った時点でテキストの該当する箇所に張り付けたりし

ました。

- ・やはり、忘れてしまう部分もあるので、随時、テキストを読み返しました。
- ・アウトプットは大事なので、過去問テキストを解き、間違えた問題や記憶があいまいな問題はテキストに戻り、読み返しました。2回以上間違えた問題は、テキストに記入。テキストを読み返すときに一緒にその問題を解き直しました。
- ・問題を解くときに、なぜ○なのか、×なのか？ 理由をつけて問題を解くように心がけました。最近の出題傾向は考えさせる応用問題のような問題が増えていると感じており、この勉強方法は本試験（特に判例等）でも活かされたような気がします。

基礎講義のご感想・ご利用方法

- ・試験科目が多く、覚えることが多い試験なので、短い時間で試験科目全体を把握するのに役立ちました。
- ・総合講義を受講する前に受けるとその科目の要約やポイントがつかめました。
- ・基礎講義は少し時間がかかると感じるかもしれませんが基礎をしっかりと学ぶことで結果的には、理解が早まったりするのではないかと思います。
- ・総合講義を受ける前に各科目に取り組む気持ちやハードルを下げる意味でも有効でした。
- ・池田先生のイラスト入りの語呂合わせがくすっと笑えたりして、気分転換にもなりました。

総合講義のご感想・ご利用方法

- ・竹田先生の幅広いそして深い法律知識は、とてもすばらしいと感じました。
- ・各法律の制度や趣旨を説明していただいたお陰で、この法律の目的はこういなんだと理解することが出来ました。あまり目的条文に目を通さなかった私が、都度目的条文に戻り、だからこのような文章になっているんだ、と気づかされることがたびたびありました。法律は独特の言いまわしや表現があり、読みにくい箇所も克服出来たと思います。
- ・暗記する部分も当然多いですが、理解することを心掛けていました。講義は、各科目、チャプター毎に大変丁寧な説明をしていただけたので、苦手科目も得点アップにつながりました。ただしすべてのチャプターが詳しい説明をするのでなく、出題されそうな部分、理解しにくい部分の説明に時間をかけていただき、また内容もすばらしく、メリハリがある講義になっていたと感じています。本当に感謝しております。
- ・判例の出題が労働法の選択問題で増えておりますが、条文に合わせて都度、丁寧に判例の事案、判旨を解説いただき、理解を深めることが出来ました。
- ・聞く速度は、1.5倍～2倍で行っていました。理解しづらい部分は速度を落として、数回聞き直したりしました。戻る機能も充実したものが備わっており、ストレスフリーで受講出来ました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

- ・ 5月以降テキストの総復習や過去問、答練等に時間をかける必要があると考え、選択式集中特訓講座に十分に勉強時間を確保することが出来ませんでした。すべての問題に手を付けることができないと判断し、目的、判例など中心に学習しておりました。
- ・ その他の問題も解くことで、自分自身の頭が整理されたり、あまり覚えていない箇所はテキストに戻り、まだあいまいだった論点の見直しをすることが出来ました。
- ・ 目的条文はどこか苦手意識と不安な点がありました。今回の試験で目的条文が出題されましたが、選択肢を見ることなく用語が浮かび、自信を持って解答することが出来、他の問題に時間を掛けることが出来ました。お蔭様で選択式の問題で基準点を確保することが出来たと思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

- ・ 科目横断整理講座は、目的条文の全体像と目的、キーワードの解説など、いままで聞いたこともない内容に驚きました。
- ・ 用語の違い（例：雇用の安定と職業の安定）等にも言及されていました。従来、力づくで暗記をしておりましたので正直、目的条文を覚えるのが苦痛でした。保険給付と給付の違い、福祉の増進と向上など条文ごとに横断整理されており、頭の整理に大変役立ちました。
- ・ ドッキング条項のまとめもあり、出題されたらどうしようという不安からも解放されました。
- ・ 労働者と使用者の各法の違いも自分なりにまとめ表を作り、各科目の該当部分に張り付け復習をする都度、暗唱できるようになるまで繰り返していました。
- ・ 社会保険労務士試験は科目数が多く、知識の混在化が起りやすくなりましたが科目横断整理講座を受講することで、記憶が整理され、本試験でのうっかりミスが減ると思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

- ・ 法改正対策講座については、総合講義の中で説明されていましたが、自分の中でしっかりと知識として整理されていなかったことを痛感しました。法改正対策講座のテキストを講座を聴いたあと、復習するとともに、総合講義のテキストも読み直し、全体の中での法改正があった部分との関連も意識するようにしました。
- ・ 全体と法改正部分とを関連づけることで、この条文の箇所のここの部分が変わったことを認識することで、まさしく記憶のフックがかけられ、覚えることに役立ちました。
- ・ 法改正の全部を覚える余裕はその時期に確保出来なかったこともあり、星1つの内容は軽く目を通した程度で、それが出たら仕方がないと考えました。星3つ、2つを重点的に覚えておこうという学習方法を取りました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

- ・過去問マスター答練は、本試験の問題形式で解くものでしたので、本試験を想定して利用しました。令和4年までの問題は、総合講義の過去問テキストで解いていたので、令和5年度の過去問テキストのみを使用しました。直前期になるとやること（全科目の復習、選択対策、法改正、判例、白書対策等）が増え、過去問マスター答練に勉強時間を十分に確保が出来ませんでした。
- ・直前期になればなるほど、気持ちが落ち着かなくなり、何から手をつけたいか迷うことがあるかもしれませんが、テキストと過去問を軸に置きながら学習を進めていくと良いかもしれません。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

- ・実力確認答練は、全体の総復習をメインに置きながら、マンネリ化を防ぐ目的もあり、スキマ時間や昼休みに解いていました。解くことで理解が不十分であったり、新たな発見があったり、自分なりにこれは良問だと思う問題がたくさん掲載されていた印象があります。
- ・過去問にはないとても良い問題ばかりで解くことで理解が深まりました。
- ・間違えた問題は都度、テキストに戻り見直し、これは重要な内容が記載されていると思った問題は、テキストに記載しました。8月になって総復習の際にテキストを読むと同時にその問題を解き直していました。
- ・実力確認答練は、五肢択一の本試験での形式のため、絶対正しい問題、絶対誤りの問題、正解が分からない問題、と分類しながら解く訓練が出来ました。本試験でもまったく正誤判断が出来ない問題がありましたが、訓練したお陰で本試験でも役立ちました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

- ・白書対策講座は、取り組み方がかなり難しい講座でした。白書対策講座のテキストをどのように読んだらよいのか正直、迷いました。範囲が広いので完璧にしようとせず、分かりやすくまとめられている図表が多く使われているテキストなので、視覚を活用しながら進めました。
- ・内容も多岐に渡るので、統計に関しては基幹統計調査なのか、それ以外なのか？を意識しました。しっかり読むところと概要を読むところというようにメリハリをつけて学習しました。
- ・労働経済の分析、厚生労働白書、そして各種統計は読みましたが社会保障論と人事労務管理は、勉強時間を確保することが難しかったのが実情です。
- ・やはり時間が足りずに白書対策まで出来たかという疑問が残ります。じっくりと学習できず残念でした。

模擬試験のご感想・ご利用方法

- ・アガルートの他に他校の模擬試験を4回受けました。本試験に近い会場での経験を積むためです。アガルートの模擬試験は、時間制限を設けずに実力確認答練と同じようなスタイルで取り組みました。
- ・選択式問題、択一式問題の順に科目ごとに解いていきました。アガルートのオリジナル問題で構成された模擬試験は、大変有益でした。テキストに掲載されていない問題も本試験さながらの試験となっており、大変役立ちました。
- ・模擬試験も間違えた問題、記憶があいまいな問題は、都度テキストを読み直し、1つ1つ積み木を積み上げるように整理をしていながら進めました。
- ・アガルートの模擬試験は、見落としがちな重要な箇所を問題にされているなあ、と感じました。最後の仕上げとして模擬試験は重要だと思います。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

8回目で合格できたのも、ひとえに分かりやすいテキストや講義を提供いただいた講師の方、スタッフの方のお陰だと思います。本当にありがとうございました。

ただ、これからが本番だと考えおります。企業の経営者、社員の方、求職者の方、学生の方など、悩みや困っていることへの支援が出来る相談をしたいと思っています。そのように思っただけの社労士に1日でも早くなれるようにこれからも自己研鑽を怠らず歩んでいきたいと思っています。

また、社労士を目指そうとしている方には、アガルートを勧めたいと思います。

改めて本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

令和6年

社会保険労務士試験合格

各講座を繰り返し学習すれば合格できる

今村 大治さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：4 回目

社労士試験を目指した理由・契機

社労士を目指したきっかけは、複数の事業者様から社労士の資格を取得して支援してほしいという要望を受けたためです。また、私は中小企業診断士として、さまざまな事業者様の支援を行っていますが、社労士業務に関わる知識が比較的弱かったため、勉強したいという気持ちもありました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

受講したきっかけは、社労士試験の勉強仲間に勧められたことです。勉強仲間の友人は、4度受験したものの択一式で40点しか取れなかったのですが、アガルートで勉強したところ50点を取れるまでに学力が向上したそうです。それほど学力が上がる理由を知りたいと思いました。

合格体験記・学習上の工夫

まずは、学習の効果を高めるために、心身の状態を整える必要があると思います。私はアガルートで2年間勉強させていただきました。1年目には1,500時間勉強し、力がついたと感じていたにもかかわらず、本試験の択一で1点足りずに不合格となりました。試験結果を分析すると、非常に簡単な問題を8問も間違えていたのです。これは何か根本的な原因があるのではないかと思います。様々な検査を行ったところ、老眼が進行していたことが判明しました。老眼鏡を使用して模試試験に挑んだところ、択一で50点を切ることはなく、本試験では54点を獲得しました。特に中高年の方々は、学習に先立ち心身の状態を確認することが必要だと感じています。

また、私は2つの会社の取締役を務めるほか、中小企業診断士として様々な仕事をして

いるため、十分な勉強時間を確保するのが難しい状況でした。そこで、勉強する時間帯に工夫を凝らしました。社労士の勉強は暗記が中心で、集中力が求められます。早朝は睡眠によって脳がリフレッシュされており、学習効果が高いと感じましたので、朝5時から2時間程度の勉強時間を確保するよう努めていました。また、隙間時間も有効に活用しました。具体的には、昼休みに勉強を取り入れ、昼食は鯖缶だけにして20分以内に済ませ、残りの40分間で勉強を進めました。さらに、出張の移動時間についても、3分でも時間があれば勉強に充てるよう徹底しました。

基礎講義のご感想・ご利用方法

基礎講義はコンパクトにまとめられており、非常に分かりやすいため、学習を始めるにあたって最適な講義です。したがって、初学者には必要な講義だと思います。社労士試験は、実務に携わっていない人にとっては難解です。また、試験範囲も広いので、学習の初めに試験の全体像を把握しておくことで、後の総合講義を理解しやすくなると思います。さらに、池田先生の語呂合わせは思わずずっと笑えるもので、楽しく学ぶことができます。語呂合わせの活用は、社労士試験において非常に有効だと感じています。基礎講義の利用方法としては、全体の概略をつかむことを目的とするため、何度も視聴する必要はないと思います。ただし、不明な点やわからない語句があれば、その都度調べておくことをお勧めします。

総合講義のご感想・ご利用方法

アガルートのテキストはフルカラーで非常に見やすく、色の配色にも工夫が施されており、目に優しい緑色が多く使用されています。私にとって社労士の勉強で最も苦痛だったのは、テキストを読むことでした。何度も読むと飽きてしまい、集中力を保つのが難しいからです。その点、アガルートのテキストには飽きさせない工夫が随所に取り入れられています。まず、単元ごとに条文が記載されており、その後に条文を理解するための情報が詳しく書かれているので、条文の文字を抜き出す選択式対策にも最適です。コラムは息抜きにもなりますし、条文理解に役立つ情報が記載されています。さらに、記憶のフックとなる記憶を定着するための情報も掲載されており暗記の助けになるため、本試験でも非常に役立ちました。テキストのページ数は多いですが、本試験のカバー率が90%を超えている点を考慮すると、予備校の中でも最も優れた教材と言えると思います。私は勉強時間が十分に取れなかったため、テキストを6回しか読めませんでした。講義動画もテキストに劣らず素晴らしいものでした。竹田先生の講義は非常に分かりやすく、理解力の向上に大いに役立ちます。本試験攻略に必要な情報が豊富でありながらもコンパクトにまとめられているため、社労士受験生には必須の講義だと思います。また、過去問についても解説が詳しく書かれているため、解答に必要なポイントをしっかりと掴むことができます。私は過去問を6回繰り返し解きました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

社労士試験は、実力があっても不合格になることがある試験です。友人は択一で60点以上獲得した年に、選択式の足切りで不合格となりました。したがって、選択式の勉強を疎かにすることはできません。しかしながら、選択式の足切りを回避するための勉強方法は難しいのが現状です。選択式については、アガルートのテキストと過去問に取り組み、合格ラインに達することは十分に可能です。ただし、知らない問題に遭遇した際に足切りを回避するためには、解答テクニックを身につける必要があります。対策としては、初見の問題を多く解くことで文章の流れや言葉の意味を理解し、解答テクニックを磨くことが重要です。選択式集中特訓講座では、初見の問題に取り組むことができるため、選択式の解答力を向上させる良い講座だと思います。ただし、私の場合、勉強時間が限られていたため、1回しか解答できませんでした。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社労士試験は出題範囲が広いため、科目を横断して勉強することが効率的です。理由は、同じ問題でも科目ごとに解答が異なる場合があるからです。これらの問題は、引っ掛け問題としてよく出題されます。対策としては、科目ごとの一覧表などを活用すると効果的で、科目横断整理講義に掲載されています。この講義資料は直前期に配布されるため、各科目の勉強がある程度進んでいる段階で取り組むことができます。私も毎日昼休みの時間を使って目を通すようにしていました。科目横断の一覧表は非常に理解しやすく、よくまとまっています。私は、何度も間違える箇所については、ノートに一覧表を書き写して覚えるようにしていました。最終的には、一覧表を見ずに書けるようになることが理想的だと思います。ただし、時間をかけすぎるとテキストや問題を解く時間が取れなくなるため、注意が必要です。

法改正确策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験において、法改正确策は必須です。理由は、法改正された箇所からの出題が毎年あるためです。さらに、選択式問題においても出題されることがあるため、足切り回避の観点からも重要な講義であると思います。アガルートのテキストには法改正に関する記載がありますが、特に重点的に学習する必要があると感じています。アガルートの法改正テキストは非常に良くまとまっており、理解しやすい内容になっています。私の場合、法改正确策はこの講座のみで行いましたが、それが時間の節約にもつながり、本試験でも良い成績を収められた要因の一つだと思っています。法改正确策講座は、隙間時間を活用して勉強するようにしていました。具体的には、出張の移動中や昼休みの10分間など、短い時間を有効に活用するよう努めました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

社労士試験において、過去問は非常に重要です。合格ラインに達している受験生は、多くの時間を割いて過去問に取り組んでいると思います。ここ数年の社労士試験は難易度が

上がっており、従来のように過去問を解くだけでは合格するのが難しいと考えます。そこで、過去問マスター答練を勉強することで、過去問を通じて各科目の理解が深まり、合格に必要な力を身につけることができると思います。私の場合、勉強時間に制約があったため、1回のみの取り組みとなりました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

ここ数年、社労士試験の択一問題のレベルは上がっています。個人的な感想ですが、5年前と比べて3～4点ほど難易度が上がっているように感じます。以前は、易しいレベルの問題を確実に解答し、普通レベルの問題をある程度取れば合格ラインに達していたと思います。しかし、現在は5年前に普通レベルだった問題を確実に取らないと、合格ラインに達しない状況だと感じています。そのため、過去問だけでなく、その他の問題にも取り組む必要があると思います。実力確認答練は比較的簡単な問題で構成されていますが、このような簡単な問題を多く解答することで実力が向上すると思います。私は1回問題を解いた後、不正解や不明確な問題は繰り返し解答しました。この実力確認答練を通じて、基礎的な力が向上したと感じています。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

毎年、労一と社一の各科目では、各種白書からの出題があります。選択式でも出題されるため、社労士試験の学習において白書対策は必須と言えます。アガルートの白書対策講座はコンパクトにまとめられており、テキストも見やすくなっています。平野先生の声が聴きやすく、内容がどんどん頭に入ってきました。アガルートでの1年目は、直前期に勉強時間を確保できたので、3回視聴しました。しかし、2年目は仕事の関係で7～8月の直前期に勉強時間を確保できず、動画の視聴は1回のみとなりました。今年の本試験では、平野先生の予想がずばり的中していたのですが、早めに視聴したため記憶に残っておらず、大苦戦しました。本試験の唯一の後悔です。もう1回視聴しておけばよかったと思っています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

ここ数年、社労士試験のレベルは上がっています。実務で社労士業務に携わっていない受験生は、過去問10年分を繰り返し解答するだけでは、本試験に太刀打ちできないかもしれません。そこで、初見の問題を多く解くことが必要です。アガルートの模擬試験は良問が多く、よく考えられた問題です。また、本試験のレベルに近いこともあり、取り組む価値があると思います。私の場合は、本番と同様の環境で取り組み、間違えた箇所だけをもう一度解き直しました。模試試験の採点結果が択一57点、選択35点であったため、自信をもって本試験に挑めたことが、合格の要因であったと思います。時間があれば、間違えた箇所を2回復習すれば学力が一層向上すると思います。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

竹田先生、池田先生、平野先生のおかげで、無事に合格することができました。本当に

ありがとうございます！アガルートはテキスト、動画、白書対策など、全ての教材が素晴らしいかったです。アガルートを選んでいなければ、合格できなかったと思っています。アガルート生としての1年目は、老眼の影響で不合格となりましたが、実力が身についていることを実感できました。今年は直前期に1か月勉強できなかったため、不安もありましたが、択一54点で合格することができました。全て先生方のおかげです。改めて感謝申し上げます。

令和6年

社会保険労務士試験合格

マスターすれば合格できる安心感を持てた総合講義

柳田 涼介さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：11 か月

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

最初は自己啓発として何か勉強をしようと考えていました。どうせ勉強するのであれば、ある程度難易度が高く価値のある資格を取得しようと思い、いろいろと調べた結果、社会保険労務士の資格が丁度いいと思い受験しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

最初は書店で参考書を購入し、独学で勉強しましたが全く合格ラインには届かなかったので、翌年は他社の講座を受講しました。結果として労働保険の一般常識で1点足りず不合格だったのですが、正解できなかった3点分の問題がテキストには掲載されておらず、悔しい思いをしたので、テキストのクオリティーが高いと評判のアガルートを受講しました。

合格体験記・学習上の工夫

私が意識し、実行した勉強方法は「毎日必ず勉強する」という方法です。10月から勉強を開始したので8月の試験本番まで約11か月勉強期間がありましたが、その間は元日や体調が悪い日、避けられない仕事の懇親会等の「今日ぐらい勉強しなくてもいいか」と考えてしまうような日であっても毎日勉強をしました。このような日は長時間勉強することはできませんでしたが、それでも平均すると平日で2～3時間、休日で5～10時間程度は毎日勉強していたと思います。毎日勉強をすると勉強をすることが習慣となりますし、「受からなかったらどうしよう」とネガティブな考えをする時間が減り、リラックスした状態で受験本番を迎えられるのでオススメです。勉強内容はテキストの精読を中心に実施しま

した。感覚としては全体の6割程度がテキストによる勉強、3割が過去問集による勉強、残りの1割が各種対策（法改正や選択問題対策等）の勉強をしました。私がアガルートの教材で最も優れていると思ったのはテキストのクオリティーの高さです。他社のテキストと比較して内容が充実しており、このテキストをやり込めばほぼ合格点を取得することができるという印象でした。

基礎講義のご感想・ご利用方法

長い社会保険労務士受験勉強をスタートさせる際の勉強教材としては丁度よいと感じました。いきなり細かい話をされるよりも基礎講義ぐらいの概要を話してもらった方が、全体を把握しやすく、また勉強を継続しやすいと思います。また、講義内容も分かり易く、講師お手製の語呂合わせのビジュアルは試験本番まで非常に役立ちました。この語呂合わせのビジュアルは非常に秀逸で総合講義でも展開して欲しいと思いました（個人的には総合講義でも語呂合わせビジュアルを実施すれば受講生の合格率が上がると思います）。基礎講義は繰り返し読み込むことはありませんでしたが、一読し、総合講義に備えるようにしました（語呂合わせビジュアルは写メをとっておき何度も利用しました）。

総合講義のご感想・ご利用方法

講義動画は分かり易くて良かったのですが、基本的には1回視聴するだけでした。

総合講義のテキストは、私がアガルートを受講しようと思った最大のポイントでした。ボリュームがあり、分かり易く記載されており、これをやり込めば合格できる安心感を持てるような内容でした。とにかくこのテキストを読み込むことを最優先とし、トータルで10回程度は読み込みました。過去問集も並行して勉強していたので、こちらについても10回程度は繰り返し解きました。過去問を疎かにはしておりませんが、やはり同じ問題が出題されるということは無いので、出題実績の無いところも拾えるようにテキストの読み込みを最優先にしました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

他の講座も含めて一番勉強するのが難しかったという印象です。選択肢を見なくても解けるようにするというのは理想ですが、全体的に広く浅く覚えていたのでこの解き方が出来ず、なかなか先に進めなかったのが、かなり読み飛ばして勉強していました（完全に選択肢がない状態で考えるような問題は2回目以降は読み飛ばしていたかと思います）。この選択肢の対策にどれだけ時間をかけてやり込めるかで合格の可能性が大きく変わってくるような気がしましたが、数回程度さらさらと実施した程度です。講師の話す内容はとてもよかったのですが、どうしてもこの深さまで勉強する余裕がなく、他の講義と比較すると後回しになってしまいました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

過去に受験した際も思っていたのですが、私はこの科目横断が一番重要と考えております。これまで自分が覚えた内容は正直言って科目ごとに整理されておらず、自分の得た知

識がどの科目の知識なのかかわからないので実際に問題を解く際に「あれ？ここは祖父母まで含まれていたっけ？」とか「届け出は5日以内だっけ？それとも10日以内だったっけ？」と毎回悩んでしまい「何となく」で解答することが増えてしまい、正解率が低くなります。この科目横断整理でそのような「何となく」を減らし、正解率を上げることができると思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士試験において、法改正があった（もしくは予定している）部分からの出題はよくあるので、外せない講座だと思います。多くの法改正情報はテキストに記載があるので対応可能ではありますが、あらためて法改正対策講座として1つの講座でまとめているのは分かり易く抜け漏れ防止にもなるのでとても助かりました。今年はそんなに法改正が無かったのかボリュームがあまり無かったという印象でしたが、それでも大変役に立ちました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

実際に出題された問題を体験することが出来るのはとても良かったと思います。自分が過去の問題をどの程度解けるのか、どの科目のどのような点で理解が足りていないのかわかりますので、その後の勉強における重点ポイントを認識することができます。新しい問題ほど正解率が高く、古い問題ほど間違えやすいという印象でした。数回は問題を解き、自分の現時点の理解度を図る資料として利用しました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

問題を解く度に自分の力不足を突きつけられるような思いでした。受験期間の後半で実施するものなので、この時点でこんなに間違えてしまって合格できるのだろうかというテンションが一時的に下がりますが、実力が足りていないことは事実なのであらためて点数が伸びない点のテキストを、時間をかけて読み込むことで苦手を克服できるようにし、過去問を解いて問題の解き方について復習をしようという気持ちにもなりましたので、勉強がマンネリ化したところに挑戦すると良いかもしれません。結果としては、ここで良い点が取れなかったのでちゃんと勉強をつづけることができたので良かったと思います。実力確認答練を実施している時期は何もかもが足りていないという気持ちになっていました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

試験を受けた後に一番勉強が足りていなかったと痛感した講座という印象になります。講師が「ここは覚えておきましょう」といった指摘をしてくれた点は頑張っただけでしたが、それ以外のところまでは中々覚えられず、非常に苦労しました。実際に試験に出題された問題は講師が言ったポイントに関連する事項ではありましたが、全く同じでは無かったので解答できませんでした。せっかくテキストに記載がある部分からの出題だったのににもかかわらず、本番で落としてしまうという苦い結果でした。この白書対策講座にどれだけの時間を避けるかが合否を分けるポイントになるかもしれませんが、どうしても数字が覚

えにくく、時間をかけても結果に結びつかないような気がしてしまい、勉強が足りていませんでした。

模擬試験のご感想・ご利用方法

「本番じゃなくて良かった!!」というのが第一印象です。難しくて解けなかったというよりは、基本的なことがおろそかになってしまい、結果として多くの問題を取りこぼすことになりました。細かい所を覚えることに必死になってしまい、テキストに太文字で記載されているような点がうろ覚えになっていました。自分が合格する為にはどのような点を優先して覚える必要があるのかを再確認することができたので、とても助かりました。これが本番だったら不合格という点数でしたが、もう少し頑張れば合格できるという点数でもあったので、あらためてテキストの読み込みからやり直して合格を目指して勉強することができましたので、難易度的には丁度よかったという印象です。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

講師の皆さんの講義は分かり易く、とてもためになりました。今回無事合格できたのはアガルートの講義を受講したからです。本当にありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

解けなくても「今間違えてよかった」と 思うようにした

納富 若菜さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

社労士という名前は知っていたのですが、取得するにも条件があったりと自分には程遠い難しい資格といったイメージしか持っていませんでした。

ですが、職場でお世話になっている方が試験を受けていることを知り、また、おススメされたので自分でも受けることができるんだと興味がわいたのがきっかけです。

試しに市販のテキストを買ってみたところ、健康保険や年金などの知識も深めていくことができるようだったので、社労士試験に挑戦することにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートアカデミーは、実は挑戦を決める前から姉が社労士試験を受けるということで受講していたので知っていました（その時に、合格すると全額返金と聞いて信じられず、何度もHPを見てしまっていました）。

ですが当初はせっかく購入したからと市販のテキストとフリマサイトで購入した5年前の他社講義DVD等で勉強し、全く知識を身に付けられず、アガルートの講座を受講することを決心しました。念のために他社講座の内容も確認しましたが、アガルートにすることを決心しました。

理由としては、

- ①通信講座であること（いつでもどこでも見られること）
- ②比較的安価であること（しかも合格すると全額返金となること）
- ③テキストでできる限り内容を網羅していること
- ④各種テキスト等の見やすさ（ゴチャゴチャしていない）
- ⑤配布・配信スケジュールにあまり無理がないこと

⑥事前の電話での受講スケジュール相談で親身に対応いただいたことの6点です。

合格体験記・学習上の工夫

はじめは働きながらの勉強時間をどうやって確保するのが苦労しました。

試行錯誤しながら最終的に、朝や帰宅後だけでなく、通勤時間などスキマ時間を活用して少しでも情報に触れ続けることを心掛けました。これには職場や家庭など周りの方の理解やサポートのおかげもありました。

また、私の場合は一言でいうと「テキストに始まってテキストに終わった」勉強方法だったと思います。過去問も4月までは常に全科目回転させてテキスト⇔問題集の状態を保っていましたが、最終的には知識がないと問題を解く足掛かりも出てこないと5月よりテキスト重視に変更し、試験前週はほとんどテキスト読みを行っていました。

(問題集も何度も間違えるところに付箋を貼り、全科目のテキスト読みが終わったあとに付箋部分の見直しを定期的に行っていました)

加えて、6月に他社模擬試験を受けているときに、アガルートはwebテキストも見ることができると気づきました。

これで一番感動したのは単語検索ができることです。これを使って「承認」のものを横断的に確認することができ、「認可」と区別することが出来ました。その他にも似たようなフレーズの確認や誤った問題に関する部分の抜き出しができて、大変重宝しました。早くからこれに頼りすぎると部分的にしか覚えなくなる危険もあると思うので、全科目をある程度覚えてから気づけて良かったと思います。

7月からは体調面・メンタル面の不調はモチベーション低下や不合格の時の言い訳になってしまうと思い、補助サプリの摂取や睡眠時間の確保に努め、勉強をクリアな状態で行うよう徹底しました。

基礎講義のご感想・ご利用方法

初めての受講ということで、どんな講義なのか不安な気持ちでいっぱいでしたが、講師の先生のお姿をYouTubeで拝見していたこともあり、また、実体験を含めた講義で社労士試験の全体像をつかめる良い講義でした。教えていただいた語呂合わせも頭に入りやすく、最後まで活用させていただきました。(あの大量の内容を2冊にまとめていらっしゃる教材作成者の皆さまの努力にも頭が上がりません)

重要な論点がコンパクトにまとめられていて、これは総合講義が始まる前に少しでも各科目の大まかな把握をするのに役立ちます。また、年金科目は比較的后から配布されるため、総合講義を受講している途中でも基礎講義を見てある程度内容に慣れておくことができるものでした。

総合講義のご感想・ご利用方法

上記学習上の工夫と重なりますが、通勤時間などのスキマ時間に常に聞き流しました。講義は長くても30分前後であり、ダウンロード後に各科目の各章ごとにフォルダ分けして聞いていました（音声を聞きながら受講していた時の記憶を思い起こすことでアウトプットの一つにもなっていたのかなと思います）。

総合講義自体としては、単なるテキスト読みでなく、講師の方の体験談等も交えてお話しただけだったので、記憶に残りやすくてよかったです。講義音声もはっきりと聞き取りやすく、話すテンポもちょうどよくて何度も聞き流しても苦になりませんでした。

受講の決め手になったテキストですが、姉より2年程前のテキストは見せてもらっていたので、やはり見やすくて内容も詳しいところまで載っており、良かったです。選択式対策を意識するにつれて、テキスト内に条文と判例がまんべんなく入っていることに気づき、出題カバー率90%以上のすごさを実感しました。

また、講義の途中から【KIKERUKUN】というオンライン質問サービスが始まったことも大変助かりました（今まではテキストや問題集に関するお問い合わせをどちらにすればよいのか分からなかったからです）。質問をしてみたところ、当日中に講師の方より回答があり、安心して勉強に集中できました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式集中特訓講座は、自分が曖昧にしか理解できていないことを実感できる講座でした。知っているはずなのに、自分でフレーズとして出すことができず、テキスト読み込み（条文読み込み）の重要性を感じました。

講師の方から「文脈から読み解く」というアドバイスがあったので、前後の文章をよく読んで不自然な文章でないかなど注意するようになったのはこの頃からです。また、このあたりから統計関係の問題も出てきたり、見たこともないような語群も出てきて自信がなくなりかけましたが、本試験でミスしないために「今間違えてよかった」と思うことになりました。

条文のまとめを労働科目と社会保険科目別に記載してあるページがあり、労働一般と社会一般も一緒に載っていたので見直しがしやすい点も良かったです。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

図や表で載っていたため比較がしやすく、本試験対策には抜群の講義だと思います。

社労士試験では似たような論点、数字が出てくるので、全科目勉強していくうちに混同して分からなくなる時があります。私もそれまで科目ごとに勉強していてあまり意識していなかったので、非常にためになる講義でした。特に不支給事由の区別が難しく、色付けやノート作成を行って覚える方法をとっていました。

労働一般と社会一般を含めた条文の横断整理では、その成り立ちや類似点の説明が入っている点も選択式対策の一つとして良かったと思います。

スキマ時間の確認作業で活用しており、試験当日は、白書対策テキストと自作ノートに

加えてこの横断整理テキストを持っていくほど常に確認していたテキストの一つです。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法律の改正は自力では把握が難しいわりに、本試験に出題される可能性は高い重要項目です。昨年、独学で試験勉強した際に市販テキストを活用しましたが、当年度のテキストでも法改正は自力で把握する必要がある、どうやって確認すればいいのか分からなかったのが必須講座の一つだと思います。

改正部分もどこの部分がポイントなのかをメリハリをつけて教えていただけたので、法改正対策は本講座のみで他は全く行っていません。昨年や一昨年の改正部分も本試験の出題科目となる傾向はあるようですが、きちんとテキストに反映されているので、そちらに関してはあまり気にしていませんでした。また、重要度のランク付けがあったので、重点的に覚える項目から確認することもできおすすめです。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去の本試験（5年分）が年度ごとに冊子になって配布されたものです。今までは問題集で一間ずつ解答していましたが、過去の本試験をそのまま解答することができるので、実際にどれくらいの時間配分で解答できるのか確認作業もできます。

問題自体は既に個別に問題集に載っているため見たことがある問題も多いので簡単に解けそうですが、引っ掛かりや文章の読み間違え等5肢択一で見ていると誤った解答をしていることもあったため、文章の読み方や知識の再確認に役立ちました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

各科目で選択式10問、択一式10問の答練でした（マークシート式での解答用紙有）。解説もついていて、本試験感覚で各科目の実力確認ができてやりごたえがあります。特にマークシート方式のため、マークミスの確認とその科目の選択・択一を続けて解くことで集中力が途切れないか確認を行いました。

私は入門総合カリキュラム（フル）で模擬試験が1回ついています（カリキュラムライトでもついているようです）、これは模擬試験の単科目版といった感じで難易度もちょうどよく、誤りが多い箇所も見つけられたので、何回か回転して知識の取得に努めました。

早めのアウトプットでいい機会にもなったので、模擬試験前に一度は試してみるのがいいと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験の中で、個人的に一番苦勞したのがこちらの統計・白書対策です。他科目のようにテキスト読みで理解し覚えるものでなく、単純に覚えることが短期間で多すぎるのが一番の要因でした（私はここのあたりでモチベーションが落ち気味になりましたが、アガルートの合格特典と合格後やりたいことをその都度思い出して維持するようにしました）。

講師の方の「統計等に関して何かしらの感想を持ってメモしておく」というアドバイス

を聞いて、自分なりに結果の上がり下がりや矢印表記と一緒に感想をメモするようにしました。また、統計や白書は受講後、できる限り毎日最低1項目は音読するようにしました（感想も声に出してつづき少しでも思い出すきっかけを作るようにしました）。そうといった意味で、テキストは項目ごとに分かれていて区切りがつけやすく助かりました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験の失敗として、他社のものを含めて10回以上受けてしまった点があります（アウトプットの機会をと思って気付けばそれくらい申し込んでしまっていました）。

自宅受験のものもあったので、自宅受験のものは時間配分を気にせず解きましたが、アガルートの模擬試験は時間配分を確認したく本番と同じ時間帯で行いました（無事時間内で解くことはできました）。

模擬試験はそのほとんどで1科目が選択基準割れで（雇用択一が2点だったものもあります）、アガルートも厚生年金の選択が1点と散々な結果でしたが、不思議なことにあまり結果や順位は気にせず「今間違えてよかった」の気持ちで見直しができていました（これは7月から体調・メンタルの回復策として睡眠時間の確保など対策を行っていたのが良かったのかなと思います）。

アガルートは選択27点（厚生年金1点）、択一51点である程度覚えていたはずの厚生年金が全然できていなかったということで、社労士試験の怖さを実感してより今後の過ごし方について考えさせられる機会となりました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

池田講師、基礎講義での語呂合わせや講義、ありがとうございました。覚えやすく頭に残りやすく、本試験まで利用していました。また、YouTubeでの条文読み上げはポイントを交えつつ分かりやすく読み上げていらっしゃったので、条文対策に利用させていただいておりました。

竹田講師、総合講義で講義いただきありがとうございました。テンポよくかつ読み上げるだけでない講義が分かりやすかったです。また車通勤のため音声のみで聞くことが多い身として、映像を見なくても大丈夫な講義だったので本当に助かりました。時々ご自身の実務や体験を交えて説明されていたので具体的に内容を把握できたのも良かったです。

平野講師、選択式集中特訓講座および白書対策講座での講義ありがとうございました。2つとも難しい内容で範囲も広く、対策も難しい内容でしたが、「文脈から読み解く」「自分なりの感想を持つ」この2つのアドバイスは本当に助かりました。常にそのことを念頭に勉強したおかげで、本試験での選択割れが回避できたと感じています。

また、アガルートスタッフの皆さまも分かりやすいテキスト作成や問い合わせ対応など、本当にありがとうございました。

令和6年

一発

社会保険労務士試験合格

講師が言うことを信じて素直にやってみるのが大事

木戸 奏江さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：1 回目

社労士試験を目指した理由・契機

前職で公的な制度に関係するプロジェクトを任されたときに、制度について学んだり、誰かがその制度を利用できるように支援することが自分は好きなのだと気が付きました。制度や法律の知識を身につけて誰かの役に立つ仕事って何かなんだろうかと探していたときに、社会保険労務士の資格を知り、受験することになりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

オンライン講座を活用したいと思い、いくつかの予備校のテキスト見本を取り寄せました。アガルートのテキストが最も情報が多く、試験には出題されないが背景として知っておくと良い情報なども掲載されていて、知的好奇心を刺激されました。

大学受験のときに、学習があまり進んでいない段階では、重要点をまとめた薄い参考書よりも、分厚いテキストの方が勉強していて楽しく、テストの点数も上がった体験があり、アガルートがどこの予備校よりもテキストが分厚いと聞いたのも選んだ理由の一つです。

合格体験記・学習上の工夫

講座の受講申し込みをしたのは受験する前年度の4月中旬でした。しかし、当時は他の資格取得のために専門学校に通っていて、それが思いのほか忙しく基礎講義の動画をたまに聞くぐらいしかできませんでした。本格的に総合講義の動画視聴を始めたのは11月下旬からです。社労士試験の勉強は全くの初めてで、法律の条文を読んだこともありませんでした。基本的には講師の先生方が言うことを素直にやってみると良いかと思います。以下に工夫していたことを記載してみます。

【A判定が一度もなくとも落ち込まない】

他校の公開模擬試験を2回受験しました。6月中旬に受けた1回目の模擬試験ではD判定、受験者の中では上位27%でした。合格可能性は低かったのですが、むしろ初学で本格的に勉強を始めて半年ちょっとでここまで成績を上げられたのだと自信になりました。アガルトの教材を信じていいこと、今までやり続けたことが間違っていなかったことを実感し、そしてこのまま同じことをブレずに続けようと心に決めました。7月中旬に受けた2回目の模擬試験は上位10%まで成績が上がりました。ただ、それでも基準点割れがあり、C判定でした。

1回目の模擬試験も2回目の模擬試験も、基準点割れがあり、直近で勉強していない科目で落としていました。直近で勉強した科目は高得点を取れるものの、勉強してから1ヶ月半以上経つとすっかり忘れてしまい、基準点を割ったり、点数が低くなるのが分かりました。

【勉強の目標は時間ではなくページ数で決める】

そこで最終的には2週間で全科目を1周できるよう、知識の理解度を上げてテキストを1日200ページのペースでサクサク読める状態に持っていこうと決めました。

実際は、白書対策、選択式対策、実力確認答練、模試の復習などに時間が取られてしまい、当初の予定通りには進みませんでしたが、1日100ページは必ず読むようにしました。

全科目のテキストを4周しようという目標でしたが、実際には3周（労基、労災、雇用は4周）というところで本試験の日を迎えました。

【基本的には講師の言うことを素直に聞く、自己流は覚悟を持って】

3周は少ない方だと思いますが、私は早く読もうとすると頭に入らず、じっくり他の科目の記憶を呼び起こして、自分を試しながら読んだ方が効率の良かったので、かなり勇気が要りましたが作戦を変更しました。

基本的に先生方が講義中やホームルームで言っていたことを素直に取り入れていましたが、テキストを何周するかだけは自分の感覚を優先させました。

【自分に合った勉強方法を】

勉強において、いろんなインプット方法がありますが、自分の特性に合ったものを選ぶと思います。例えば、耳で聞いた情報か、目で見た情報か、どちらが情報を習得する上で得意か、ということです。

講義は音声のみダウンロードできますし、何度も講義を聞いて合格したという方も多くいます。ですが、私は耳から入る情報があまり頭に残らず（ラジオを聴くと疲れる）、一方で目で見た情報は覚えやすいという感覚がありましたので、最初から動画や音声の活用は最低限にして、テキスト読みに重点を置きました。

【社労士試験はマークシート】

また、ノートは作らない、書く勉強をなるべくしない、ということも決めていました。

社労士試験は筆記ではなくマークシートです。自分の中から一から答えを作るのではなく、答えはすべて問題用紙にあります。なるべくたくさんさんの情報を目で繰り返して見て、「どんな問題が来ても見たことある」という状態に持っていくことが先決だと考えました。

基礎講義のご感想・ご利用方法

またもに法律を勉強したことがない、条文を読んだこともない、という状態で学習をスタートしました。

勉強を始めてすぐ「ああ、分からない…難しい…」という気持ちになってしまうと、先に進むモチベーションも消えてしまいます。まず、基礎講義で「なるほど、理解できる、私でも分かる!」といった感覚を持つことができたのは大きいと思いました。

紙での勉強習慣が付いていない中で、なかなかテキストを開く気持ちになれず、結局最後まで動画を視聴するだけで基礎講義は終わりました。気楽な気持ちで「へー! 面白いなー!」と思いながら視聴していました。基礎講義の内容は総合講義でもカバーしていましたので、それでも十分だったと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

竹田先生が講義動画は1～2回の視聴にとどめて、テキストを自分で読み込んでいく段階に早く進んだ方がよいと言っていたため、動画は基本的に1回だけしか聞かないことに決めました。分かりにくかった部分は、その時にその部分だけ戻して聞きましたが、通して視聴したのは1回だけです。1回だけしか聞けないということで、「一語一句聞き漏らさないぞ」という気持ちで集中して聞くことができたので結果として良かったと思います。

アガルートのテキストはまず条文が掲載してあります。1周目は動画を視聴しながら、まずは内容の理解重視で条文は読まずに飛ばして進めることが多かったです。2周目は動画は見ずに、条文を含めたテキストの一語一句を読んでいきました。条文は難解であるものも少なくなく、条文ベースの学習は正直しんどかったです。ですが、条文を理解しているということは後々自信になったと感じています。

また、2周目で読み進めながら行っていたのは、記憶のフックを自分で増設することです。他の科目と照らし合わせて気づいたことや、日常生活との結びつき、感想として思ったことを付箋に書いて貼り付けていきました。

情報は感情を伴うと記憶に残りやすいです。ですので、制度や法律を学んでいく中で、いろんな感情を自分の中で湧き上がらせることを意識していました。「この制度はこういう人にとっては有り難いなあ」とか「理不尽だなあ」といったものです。そういった感想も付箋に書いて貼りました。実務においては外的な感想かもしれませんが、復習のときにその付箋を見るだけで記憶が一気に蘇り、定着しました。この勉強法は1周するのに時間がかかりますが、結果的に3周ほどで合格点に届いたので悪くはなかったかなと思っています。

3周目は忘却との戦いを意識して読みました。本当は4周目も読みたかったのですが、時間が足りずより忘却しやすい科目に絞りました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式集中特訓講座を受けたことで、自分の中での選択式の解法手順が確立されたと思いました。

目的条文が一覧になっているのも使いやすく、暗記用のマーカーでキーワードを隠しながら暗記しました。コンパクトな冊子なので、試験当日の移動の電車の中で最後に見直せたことも良かったと思います。

選択式の基準点割れの恐怖は試験直前になればなるほど身に迫ってきます。そういうときに選択式集中特訓講座を2周したことが心のお守りになったと思います。最後まで不安は尽きなかったですが、本試験では国民年金法以外のすべての科目で4～5点を得点、総得点36点を取ることができました。国民年金法だけ、最後に解いた科目だったので疲労で集中力が切れて、試験後に見直したら簡単に解けるような問題を1点失点してしまったのですが、それでも3点を得点できたので基準点割れを免れました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社労士試験の学習範囲は科目別の類似点が多めに多く、進めれば進めるほど知識がごちゃごちゃしてきて、以前は解けていた問題が直前になると解けなくなるといったことが起こりました。日頃からテキストを読み進める中で、他の科目と似た知識については都度、他の科目のテキストを参照するようにしていたのですが、それもなかなか大変でした。

総合講義の動画の中では「不服申立てについては科目横断整理講座でまとめて学習すると効果的です」などと竹田講師から案内があったため、総合講義での学習ではそこは深掘りせず、さっと眺める程度で一旦飛ばすことにしました。他に理解しなければならない知識に力がかかることができたので効率が良かったと思います。

また、目的条文がなかなか覚えられなくて不安だったのですが、科目横断整理講座で同じキーワードがまとめて整理されていたので、暗記の助けになりました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

動画は1回視聴し、テキストは2周しました。★の数で重要度が分けられているので効率的に学習できました。1つのところも念のため軽く目を通しましたが、労力としてはそれほど大きくはなかったです。また、すでにテキストに反映されている内容が多かったので、良い復習になりました。

情報をテキストに集約したかったので、改正内容をテキストにメモしたり、表などは切り取ってテキストに貼り付けたりしていましたが、直前期にやるには労力をかけすぎだったと後から反省しました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

択一式の問題演習は過去問と他校の2回の模擬試験でしかできておらず不安でしたが、実力確認答練で自分の実力を確認できて少し安心しました。試験直前になると覚えていない事柄ばかりに目が向いてしまい、不安で夜眠れなくなることも多々ありました。ベッド

入っても「あれ、なんだったっけ？」と思いつけないことが頭に浮かんで、ベッドを抜け出しテキストを開く、なんて夜がたくさんありました。実力確認答練は本試験の2週間前に解いたのですが、ほとんど正解できていて、「こんなにいろいろ忘れていても、なんだかんだで頭に残ってるのだな」と自信を持つことができました。

科目ごとに問題冊子が分かれているので、気分転換したいときにササッと取り組むことができてよかったです。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

講義ではテキスト内の重要なポイントに絞ってお話しされていました。飛ばしたページの方が多かったのですが、白書対策は数字の感覚値を付けることが大事だと考えて、最初から最後までしっかり読み込むことにしました。

白書は全体のボリュームに対して問題が少ないので、本試験ではテキストに載っているデータがそのまま出題されるケースは少ないとのこと。身につけた数字の感覚値から正解を導き出す力が必要とされると講師も仰っていたため、ただ数字を暗記するというよりも、およその感覚を広く浅く身につけることを意識しました。

テキストにはグラフがたくさん掲載されていました。自分でグラフを読み込んで理解し、気づいたことを余白に記入するという方法は、大まかな数字が頭に残りやすくて良かったと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は優先度を落としたので、あまり活用しませんでした。本試験と同じ形式の問題用紙をゆっくり解いている余裕がなかったのですが、解説冊子の方で問題と解答が1問ずつセットになって掲載されていて、隙間時間に冊子を開いてササッと解いて、答え合わせまでしやすかったことが助かりました。選択式問題だけを一通り解きました。他校の模擬試験よりも難しかったように思います。恥ずかしながら本試験1週間前に手をつけまして、基準点を上回っていた科目は自信になりましたし、下回った科目を見直すきっかけになりました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

アガルートの教材、先生方のおっしゃることを信じてやってきて良かったです。講座を申し込んだ1年前は今こうして合格しているなんて想像できませんでした…と言いがちなところですが、私は本気で！絶対！今年に！合格する！と心から信じていました（笑）

こう思い続けて、ここまでこれたのも、アガルートの先生方が学習内容のみならず、モチベーション維持の方法なども熱意を持って伝えてくださったからだと感じております。

本当にありがとうございました！

令和6年

社会保険労務士試験合格

一発

「過去問集はもう1冊のテキスト」と別の角度から確認

黛 幸太郎さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：8 か月

社会保険労務士試験の受験回数：1 回目

社労士試験を目指した理由・契機

子どもが生まれたことがきっかけとなり、転職を決意しました。前職の労働環境では子どもに向き合う時間がなかなか取れず、別の道をと考えていた時に社会保険労務士という職業を知りました。労働環境を改善するサポートができる職業という点に強く惹かれ、社労士試験の合格を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

社労士試験の概要を知り、独学では難しいと判断し、通信講座で学習しようと考えました。その際に、合格特典全額返金という文字が目に入ったのがきっかけです。合格特典を必ず勝ち取るということをモチベーションに学習に取り組もうと考えました。また、全国平均と比べ高い合格率とテキストの網羅率が高い点も大きな理由となりました。

合格体験記・学習上の工夫

社労士試験を振り返って、合格できたことの1番の理由は「テキスト」だと言い切れます。講義の中で講師の方々もテキストが大事と何度も仰っていましたがまさにその通りでした。学習の進め方としては、テキスト（講義）・過去問を周回するという基本的な学習をしてきました。最終的には6周か7周したと思いますが、周回ごとにすこしやり方を変えていました。テキスト→過去問の順でやる周、過去問→テキストの順でやる周、章ごとに過去問に取り組む周、一気に全部の過去問に先に取り組む周などです。このように取り組むことでインプット、アウトプットどちらの刺激も加えることができたと感じました。このように学習を進めていくことで、模擬試験でも合格基準点超えの点数を取ることがで

きましたが、常に「選択式」に対する不安がありました。この不安は消えることはありませんでしたが、唯一できることとして、テキストをとにかく隅々まで読み込むことを徹底してきました。オンラインの学習サポートで池田講師からテキストを読み込むことで選択式だけでなく、択一式の点数の向上にも繋がるというお話をしていただきましたが、そのお話の通りでした。本番の試験では、聞いたことが無いような論点の問題もありましたが、そういった問題でも1肢だけテキストに記載されていた内容があるということもあり、テキストの学習を徹底してきたことが大きく合格へ近づいたことを感じました。また、アガルートでは、講義だけでなく、質問制度やオンラインで講師の方と相談することができる点也非常に良かったです。質問制度は想像以上に返答が早く、オンラインでの相談はその時の学習状況に応じてその後どういった取り組みをしていけば良いかという具体的なアドバイスをいただき安心して学習に取り組むことができました。

基礎講義のご感想・ご利用方法

基礎講義では、まず最初に社労士試験の概要についてのお話があったと思います。受講前に少しは調べていましたが、改めて社労士試験の特徴について知ることができ、これから始めていく学習に対しての興味が高まりました。また、学習の進め方についてのお話や、法律の基礎知識といったものもあり、学習のスタートとしてとても入りやすかったです。総合講義は各科目ごとに厚いテキストがありますが、基礎講義は上下巻の2冊となっていて、社労士試験の学習範囲についておおまかに触れることができました。各科目について初めて内容を見るだけでも興味が湧きましたが、その中で池田講師の独特なイラストと語呂合わせが面白く、すんなりと1周することができました。時間にあまり余裕がない方は基礎講義を受講しないという選択もあるとは思いますが、ある程度時間が取れる方、初学者の方はウォーミングアップも兼ねて受講することで社労士試験に対する意欲も上がると思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義（総合講義のテキスト）は学習の中心となるものでした。1周目はまず講義を受けてテキストを読み過去問を解いてみるという流れで取り組みました。テキストを初見で読むと理解が難しい部分も講義を受けることですんなりと理解に繋がりました。映像の講義自体は、どの科目も基本的には1周だけ受けましたが、テキストの周回をしている中で、理解が難しい部分は何度か見返すこともありました。そういった場合は講義を見ることで解決することが多かったのです。また、テキストを読み進めるのが苦しい部分（労働安全衛生法が多かったです）は何回も見ることがもありました。モチベーションが落ちかけてテキストを見たり過去問を解くことに気が進まない時にとりあえず講義を見ることで学習を始めるきっかけに活用することもできると思います。テキストでは「重要ポイント」と「記憶のフック」がとても印象に残っています。過去問や模試で間違えた部分を確認すると、この重要ポイントに記載されているといったことが何度もありました。竹田講師の講義では、その条文の背景や、法律によって少し数字が違う意味など、各法律の特徴を混じえた

お話があり、ただ覚えるのではなく、理解が伴った知識の定着が学習を進める大きな手助けとなっていました。たまに実務であったエピソードなどのお話もあり、とても分かりやすかったです。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

今回社労士試験を受験するにあたって、途中から常に「選択式」への不安がつきまわっていました。選択式集中特訓講座を受講したのは、7月ぐらいでした。ある程度知識が付いてきた中で選択式の問題という目線からのアプローチにとっても役立ちました。各法律の1条の確認を始め、必ずチェックしておかなければならない部分が網羅されていたことに加え、普段あまり気にしていなかった部分についても触れられていたので、選択式に対する意識が変わったことがこの講座を受講して良かった部分でした。受講後はテキストを読む意識にも変化があり、より隅々まで確認するようになりました。当日の試験でも1条の条文からの出題があり、この講座でしっかりと確認していたことで、落ち着いて点数を取ることができました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理講座は、似たような論点を一括で確認できるという点が最大の魅力だと思います。特に同じような仕組みなのに数字だけ違うということが多くあり、その確認としてとても有用でした。利用方法としてはちょっとした時間に見たり、模擬試験の会場に持っていったりして直前に確認するというように使っていました。それぞれの法律でどうなっているかが表で分かりやすくまとめられているので、違いは何なんだろうというところに意識を置いて学習することが理解に繋がりやすいと思いました。また、講座の中で「労働法はこうだから～」というようにそれぞれの法律の特徴や背景について触れながら講義を進めてくださっているのも、頭に残りやすかったということがとても印象的でした。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座は通常のテキストと比べるととても薄いですが、点数につながるという意味では、学習時間に対して効果がとても大きいと感じました。アガルトの法改正対策講座では、多くの改正点の中から特に重要なものが盛り込まれています。さらにその中でも星の数によって重要度が分かりやすく示されているので、めりはりを持って学習に取り組むことができました。利用方法としては実力確認答練や、模擬試験の前に確認するといった感じで使っていました。軽くて持ち歩きもしやすいので、模擬試験の際に持っている隙間の時間に見るということもしていました。本番の試験では法改正対策講座のテキストに記載されていた内容が出題され、正解を絞るのが難しい選択肢の中からピンポイントで選ぶことができました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問は周回の基本的な部分だと思いますが、ただ問題の正誤が分かることが重要なのではないと感じました。もちろん過去問をすらすら解けるようになることは大切ですが、

過去問を解くということに対する捉え方が重要だと思いました。「過去問集はもう1冊のテキスト」と捉えながら問題を解いていました。テキストで得た知識とは別の角度から論点を確認するということを意識すると過去問を繰り返し解いていく中で更に学習が深まると思います。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練は一番有用だったと言っても過言ではありません。利用方法としては、テキスト、過去問の周回の中に混ぜていたという感じです。本番の試験や模擬試験では、問われ方や論点が過去問とは違うことが多くあります。そういった問題に触れる機会として活用することができました。過去問はもちろん何周もしましたが、テキストと過去問の周回だけでは、論点の理解に偏りが出てしまうということを感じました。問われ方によって、また違った角度から理解することが合格に近づいた一番のポイントだったと思います。また、過去問になかった論点があることで、テキストをもっと隅々まで見ないといけないなと思えたことに価値がありました。テキストとリンクして作られているので、ここもしっかり確認しておこうというメッセージを伝えられた気がしました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

選択式、択一式共に最大の不安要素が労一・社一でした。特に白書の問題は知らない内容が問われてしまうと点数を取ることが難しくなってしまいます。白書対策講座の学習で効果的だったことは、ある程度の数字を感覚として覚えるということでした。講座の中で講師の先生もおっしゃっていましたが、大体何十%の後半ぐらいだったかなというように小数点以下まで覚えようとするのではなく、大体の数字を把握しておくことが非常に重要でした。また、問われた数字についてピンポイントで知っていなくても、覚えていることから導き出せることもあります。実際の本番の選択式の問題でも知っている数字から推測して正答を選ぶことができました。アガルトの白書対策講座では、押さえておいた方が良い部分がしっかりと押さえられていたので、短時間で学習することができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルトの模擬試験は、本番前に最後の確認として取り組みました。最終周回の後に取り組み、間違えた問題や不安になった箇所を洗い出し、改めてテキストを確認して本番を迎えました。他校の模擬試験もいくつか受けましたが、模擬試験の活用方法として一番大切だと感じたことは、自分自身の本当の理解力を確認することができるという点でした。過去問にはない問われ方や、論点もあるので今までさらっと流してしまっている箇所に気づくことがあり、テキストと過去問の周回では出てこない課題を見つけることができました。また、模擬試験で選択式の問題に取り組むことで、意外と見落としている言葉に気づくことも多く、その度にテキストをしっかりと確認してきたことが点数アップに繋がったと感じています。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

講師の方々はじめ、テキストを作っている方、サポートしてくださっているの方々のおかげでなんとか無事に目標としていた一発合格をすることができました。合格体験記にも書かせていただきましたが、テキストが一番大切だという言葉の通りに学習を進めることが合格につながったと思っています。

学習サポートでは池田講師に2回お世話になりました。特に1回目の学習サポートが転機となりました。その時に模擬試験を受けたほうが良いとアドバイスをいただき、すぐに申し込みをしました（この日に学習サポートを受けていなかったら申し込みに間に合っていないませんでした）。模擬試験を受けたことで、過去問との大きな違いを感じることができたことがその後の学習に大きな影響を与えてくれました。結果としてアガルートを選んで本当に良かったです。現在、社労士になるために求職活動を行っています。新たな道へのスタートのサポートをしていただきありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

テキストのボリュームは重要範囲をカバーしている証

浅井 烈さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私はFP業をしています、FPとしてクライアント様により正確で高いレベルのアドバイスを行う為には、社会保険の知識は必須であると考え、社労士の資格を取ろうと思いました。また、法人のクライアント様には、経営全体に関わる参謀としてのポジションを取りたいと考えていましたが、その為には、社労士の資格は必須であると考え、資格取得を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

どの予備校を選ぼうかと迷っていたところ、YouTubeでアガルートの講師の方の動画を見ましたが、とても分かりやすく、特に話口調が私には合っていたので受講を決めました。また、本試験の90%以上をカバーしているというテキストの内容にも惹かれました。

合格体験記・学習上の工夫

社労士試験はボリュームが多く、また、馴染みのない法律用語、言い回しも多いので、とにかく回数をこなして「慣れる事」を意識しました。具体的には、講義動画を一通り視聴した後「テキストを読み、問題集をする」というサイクルを全教科、まずは5周しました。用語や言い回しに慣れる事が目的なので、最初の5周はテキストの内容が理解できなくても構わない、という意識で取り組みました。その後6周目、7周目は、内容の理解の為にじっくりと時間をかけて読み、問題集についても、なぜ間違えたのかが理解できるように取り組みました。8周目、9周目は、テキスト読みについては、そのページを読んだ後に、自分なりに要約し、簡単に要点をまとめ説明（独り言で）しながら進めました。

問題集についても、なぜ正解なのか？なぜ誤りなのか？を簡単に説明しながら進めました。本試験対策、特に、択一試験の点数を上げる工夫としては、徴収法に力を入れました。労災、雇用については、それぞれ3問ずつ、合計6問は徴収法から出題されます。労災、雇用は、難化傾向にあります。徴収法は、過去問ベースで取れる可能性が高いと聞いていました。1点が重みが大きい社労士試験において、合格点を取る為の点数の底上げには必須であると考えたからです。

基礎講義のご感想・ご利用方法

基礎講義は、各科目の要点部分がコンパクトにまとめられており、サクサクと学習が進み、社労士試験で学ぶ範囲の全体像を知る事ができました。もちろん、基礎講義の内容だけでは合格できませんが、幹を知る、という感じで、基礎講義の要点部分を深掘りしたものが総合講義、という印象でした。また、基礎講義の講義動画も非常に分かりやすく、楽しく学習する事ができました。全体を俯瞰する事は非常に大切に思います。社労士試験は範囲が膨大であり、また、科目毎に、似たような文言が多く、学習していくと、今どこにいるのか分からなくなる事があります。基礎講義をしっかりと学習することで、全体を俯瞰し、総合講義で迷子になる事を防止できると思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義は、とにかくボリュームが多くて圧倒されますが、テキストの内容は読み進めやすく、本の分厚さの割に、1周するのにそこまで時間はかからないと思いました。私の場合は1時間で20ページから25ページくらいのスピードで読んでいました。テキストの特徴としては、細かく説明してくれているので「非常に理解しやすい」事が挙げられます。社労士試験は暗記勝負とも言われているようですが、個人的には、暗記も重要なのですが、暗記だけでは勝てないと思っています。全てのテキストを一言一句完璧に暗記できる人は別ですが、私も含め、普通の人の記憶力ではそれはできません。暗記と共に重要なのは「理解する事」だと思います。本試験には事例問題が出されますので、暗記のみだと応用が効かず、解答できない箇所が多くなると思います。総合講義のテキストは、その理解する事に重点をおいた内容になっていると思います。理解ができると暗記にも繋がりますので、結果的に習熟度が上がります。テキストと共に、講義動画がかなり良かったと思います。講師の方の話し方や説明が非常に分かりやすく、講義動画を視聴した後にテキストを読むと、理解が進み、学習がかなり捗ります。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

基本的には総合講義のテキストと問題集を繰り返し行っていると、合格点に近づくとは思いますが、どこまでいっても本試験の選択式は「足切りの怖さ」があります。選択式集中特訓講座では、本試験における選択式問題への対応の仕方を学ぶ事ができました。また、膨大なテキストの中から、特に覚えなければならない重要箇所が虫食い形式になっているので、テキストの暗記にも繋がります。択一式もそうですが、テキストを読み込むと

共に、いかに多くの問題に触れるかが重要だと考えます。また、特に選択式は1点の重みがとても大きく、択一式と違い、その問題を知っていなければ基本的に解けませんので、選択式集中特訓講座で選択式試験専用に学習する事は、合格へ近づく大きな一歩となると思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社労士試験の特徴は、科目数が多く、範囲が膨大で、尚且つ「法律毎に似たような文言や決まりがある」「法律毎に提出物等の期限が違う」というように「非常に細かい」事が挙げられます。おそらく多くの人が学習を進める中で、迷子になると思います。科目横断整理講座では、各科目の被っているところ、似たようで違うところが体系的にまとめられているため、迷子になるのを防止することができます。私の場合は、特に「目的条文」「適用範囲」「給付制限」「不服申立て」についての頭の整理が楽になりました。本試験では、10科目全てを同時に問われますので「あれ？この目的条文はこの法律の文言だったか…」というような迷いを防止し、的確に解答する事ができるようになります。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験の特徴として、科目が多い分、法改正される箇所も多くなる、事が挙げられます。今まで散々勉強してきたにも関わらず、直前になって法改正が山のように入るので、少しパニックを起こします。法改正対策講座では、特に重要な法改正がコンパクトにまとめられているので、パニックを起こさず非常に効率的に学習する事ができます。また、講義動画では、講師の先生がさらにコンパクトにまとめて解説されているので、覚える範囲を絞る事ができます。また、法改正自体はそこそこ多いのですが、テキストでは重要度が星の数で示されているため、例えば時間がない方であれば重要箇所絞って学習する事ができる等、効率的に学習を進める事ができると思います。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

社労士試験では、ある程度は過去問に近い問題が出ると聞いていましたので、ひたすら問題に取り組みました。過去問マスター答練の特徴は「解説が充実している事」だと感じます。本試験で過去問に近い問題出るとは言っても、そのものずばりは出ません。従って、ただ問題を解くことではなく、理解しながら解いていく事が重要になります。過去問マスター答練の問題を解いて、正解した問題も、誤った問題も、何度も解説を読むことで理解度を上げる事ができると思います。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

とにかく問題に慣れる事が社労士試験を合格する上で大切だと考えていましたので、アガルトから送られてくる問題は全て学習しました。実力確認答練は、全ての科目の選択式、択一式問題がまとめられており、全科目を一気に復習できる良いツールでした。内容的にはそこまで難しいものではなく、テキストに載っている基本的であり、重要な点がまとめられているように思いました。実力確認答練も同様に、解説が充実しており、その間

題を解くことで周辺論点も押さえる事ができます。これはアガルートの全体の特徴でもあるかもしれませんが、テキストがボリュームはありますが、問題を解き、解説をしっかりと読むことで、テキストに書かれている重要範囲はカバーできるのではないかと感じます。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験で最も厄介だと思っていた箇所は、労働一般の統計、白書対策です。各基礎科目も範囲が膨大なのですが、統計、白書はさらに膨大で、尚且つ、覚えづらい、という特徴があると個人的には思います。面白さにも欠ける印象がありました。しかし、アガルートの白書対策講座では、文字を読んで暗記する、というよりも、大きな流れを理解する形での学習であり、表やグラフも多く、楽しく読み進める事ができました。私は、基本的には講義動画を何度も見る学習方法で進めました。講師の先生の解説を、耳で聞いて表やグラフを見て傾向を掴む、という形です。実際、本試験の労働一般の選択式問題は、範囲は広いものの、傾向さえ掴んでいれば、それぞれの具体的な数字まで覚えていなくても解けると感じます。

模擬試験のご感想・ご利用方法

私が模試試験を行った理由は、内容というよりも、時間配分を知る事を主な目的として行いました。本試験、特に択一式試験は3時間30分と一見すると長いのですが、1問あたり3分で解かないと間に合いません。しかし、1問あたりの問題文がとても長いので、ゆっくり読む時間もなければ、ましてや同じ問題を2回読み直すとなると、全く間に合いません。従って、時間配分はとても重要になると考えています。模擬試験を複数回行うことで分かった事は、例えば、誤りを探す問題で、Cが誤りの場合、設問A、B、Cを読み、Cを誤りだと判断し、D、Eは読まずに次の問題に進める学習レベルでないと厳しい、という事です。個人的には、模擬試験の内容は本試験と同じくらいの難易度に感じました。初めて見る問題も多く過去問等と比較すると難しいので、本試験対策としては有効かと思います。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

テキストも講義もとても充実した内容でした。特に講師の先生方の分かりやすい解説や話し方、話すスピードが心地よく、楽しく学習する事ができました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

テキストの読み込みに力を入れ、2度目の受験で合格

佐藤 孝之さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

給料から税金や社会保険料が天引きされますが、内容が全然わからなかったもので、どういった仕組みのものか理解するために、勉強を開始しました。

また、今後自分が受給するであろう年金についても知識がなかったので、制度の理解をするためにも社労士試験を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

インターネットの口コミを見るとアガルートのテキストは分量が多く、他の予備校よりもカバー範囲が広いことが決め手となりました。

また、通学よりも通信の方が時間的な余裕があることから、通信講座であるアガルートが自分に合っていると考えました。

合格体験記・学習上の工夫

2回目の受験で合格することができました。

不合格となった第55回の試験では厚生年金の選択式で足切りにあい不合格となりました。その原因の一つとしてはテキストの読込み不足が考えられたので、2年目はよりテキスト重視の学習をすることを心掛けました。

模試や過去問で間違った問題についてはテキストの該当箇所に付箋を貼り、すぐに見直せるように学習をしていました。最初は付箋を大量に貼りましたが、試験までにはがすことを目標に学習をし、試験直前には全ての科目の付箋をはがして試験に臨むことができました。

苦手な部分を何度も見直せるという効果もありましたが、ここまでやったので大丈夫という自信にもつながったと思います。

過去問学習については択一式対策をイメージしながら学習しました。初年度で択一式は合格点はクリアしていましたが、択一式の知識は選択式にも影響がでることから、過去問については平均的に7周程度回すことで択一式の知識の整理を行いました。

社労士試験は択一式の実力を合格ラインに持っていき、そこからいかに選択式で足切りに関わらないように学習するかが重要になってくるかと思いますので、まずは択一式を合格ラインに持っていき、その上で個別に選択式対策を行うのが効果的な学習になると思います。

基礎講義のご感想・ご利用方法

既に学習をしていたので、講義については特に視聴していませんでした。初学者で時間がある方は視聴してもいいかと思いますが、直接総合講義を見ても特に問題ないと感じました。

社労士試験は総合講義の深い内容が範囲になってきますので、最終的には総合講義の内容まで理解をしないと合格することができないと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

2年間アガルトを使用しましたので、初年度と2年目に分けて記載したいと思います。

初年度

社労士の基礎知識が全くなかったので、ひとまず講義についていくことを目標に勉強を行いました。社労士学習は範囲も広く長時間の学習となることから、一度遅れるとその遅れを取り戻すことが厳しいと考え、テキストが送付された後1月以内に講義を聞き終わり、次のテキストが来るまではひたすら過去問を解くやり方にしていました。講義は1.5倍速で視聴をしていました。また、講義を全部視聴してからではなく、ある程度の塊を聞いては、直ぐに過去問演習に取り組み、どこが分かって、どこが分かっていないのかを明らかにし、その後の過去問学習に役立てました。ある程度科目数をこなしていくと、各科目について混同してしまう部分もあったため、そこについてはテキストに立ち返り、整理するように心がけていました。

2年目

初年度と学習方法は大きく変わりませんが、視聴スピードは2倍速としていました。2年目でも改めて講義を視聴すると理解できていないところを見つけられました。また、初年度の失敗を生かし、テキストの読み込みも追加で行っていました。

いずれの年度においても竹田先生の説明は非常にわかりやすく、テキストの内容を理解することができました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

直前期であり、竹田先生が必要があれば視聴をオススメするとのことでしたので、特に視聴はしなかったです。

ただ、横断整理のテキストはまとまっていたのでテキストはよく確認しました。

直前期だと各科目の似た箇所間違えることが多かったため、その確認作業として使用していました。

ただ、科目横断整理に入って本格的な整理をするというよりも、総合講義で学習中に他の科目で類似している項目があればその都度確認していく方が記憶にも定着はしますし、直前期に横断学習に時間を取られていると合格はちょっと難しい気がしますので、普段から横断学習を行い各科目の整理を行った上で、補助目的として科目横断整理講座を活用した方がいいと思いました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験では改正項目が頻出であり、選択式では1点で泣く可能性があるため、テキスト及び講義ともに活用させていただきました。

直前期に時間がない中で自分で改正項目を調べようとすると膨大な量となり、またどこが試験に狙われやすいか不明であるため非常に有効でした。

講義を視聴した際には竹田先生が改正の経緯等も併せて教えてくださることから記憶に定着しやすくわかりやすかったです。

法改正は意外に1年遅れて出題されることがあり、実際に初年度に法改正で学習した内容が2年目の試験で聞かれたので、初年度は不合格であったのですが、2年目の合格の助けとなったので、初年度に学習した法改正は無駄ではなかったのだと感じました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書対策は取り組み方が難しかったため、講義を視聴し試験に臨みました。テキストだけでもかなりボリュームが多く普通の科目と変わらないくらいでしたので、平野先生が講義で触れたところを重点的に復習しました。

実際模試や本試験ではテキストに記載がなかったものや、講義では触れていない箇所が出題されることもあり、勉強しようにも難しい科目だったと思います。また、直前期で他のメインの科目の復習もしなければならず、そこまで時間をかけるものでもないため、ある程度の相場観を知る程度の学習が効率的なものだと思います。

一般常識に含まれる白書は対策が難しい科目ではありますが、選択式の足切り対策としては避けて通れないので、講師が触れる箇所は最低限カバーできる程度にする必要があると思いました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルートの模試は他の予備校に比べ基礎的な内容である印象を受けました。

そのため、アガルートの模試で取りこぼしがあると基本項目が抜けていることになるた

め、自分の基礎が分かっていないところを把握するのに最適でした。

社労士試験は難しい問題を解けるよりも、基礎的な問題をいかに落とさないかが重要な試験であるため、基礎的な内容を取りこぼしてしまいますと致命傷になります。試験直前にそういった個所を見つけることができるこの模試は有効であると感じました。

また、復習をする際にもテキストはA 5 サイズなので持ち運びが便利で、問題の後ろに解答がついているため、電車の中の隙間時間で学習も行いやすく、試験直前には数回問題集の解きなおしを行いました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

分かりやすい講義のおかげで無事に試験の合格を勝ち取ることができました。

本当にありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

一発

豊富な情報量が分かりやすくまとめられたテキスト

束前 有一さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：6 か月

社会保険労務士試験の受験回数：1 回目

社労士試験を目指した理由・契機

公務員として、約20年勤務していますが、自動車運転免許以外は何ら資格を有していませんでした。そして、仮に現在の職を辞した場合、自分には何もないことに気づき、何か資格を取得したいと思うようになりました。

現在の仕事が、労働関係法令を取り扱うものであるので、仕事にも役立つと思い、社労士試験を受験することにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

YouTubeで、池田先生や竹田先生の動画を拝見して、アガルートアカデミーの社労士講座のことを知りました。そして、サンプル動画やインターネット上で「アガルートのテキストは網羅性が高く、同テキストを使用していれば安心して合格レベルに到達できる」との感想を見て、受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

講師の方々の話を聞く限り、社労士試験の肝は年金科目であると思いましたので、とにかく年金科目を集中的に勉強しました。

ただ、初め年金科目は、テキストを読んでもよく理解ができませんでした。そこで、とにかく「問題に慣れることから始めよう。」と考え、なるべく早い段階で過去問集に取り掛かることにしました。

1周目と2周目は、「問題を解く」のではなく、「問題と答えを素読」していきました。本格的に問題を解き始めたのは3周目からになります。3周目からは、少しずつ問題が解

けるようになりました。そして、そのまま4周、5周…と繰り返し、計10周は問題集を繰り返し解きました。この段階になると、過去問は、短時間でほぼ100パーセント近い正答率で解けるようになりました。

過去問がひととおり解けるようになると、次はテキストの読み込みを始めました。テキストの読み込みは「苦行」でしたが、初めてテキストを読んだときにはよく分からなかったことが、問題集を10周解いた後に読むと、驚くほどよく理解できました。特に年金科目の理解が進みました。

試験直前は、選択式問題を意識してテキストに記載された条文を注意深く読むことを重視しました。結果だけ見ると、私の勉強法は、講義〈入門＋総合〉→過去問題集〈10周〉→テキスト読み込みだけでした。

基礎講義のご感想・ご利用方法

池田先生の講義は全体的にとっても分かりやすかったです。また、基礎講義用テキストもコンパクトには作られているものの、重要ポイントがうまくまとめられており、とても分かりやすい内容だったと思います。

私自身の勉強方法としては、最終的には、過去問周回→テキスト読み込みに落ち着きましたが、基礎講義がなければ上手くとりかかれなかったと思います。なぜなら、基礎講義を受講することで、その科目の全体像をつかむことができ、その後の総合講義へとスムーズに移行することができたからです。特に年金科目については、とても理解するのに苦戦する科目ですので、まずは基礎講義で全体像を知るとはとても有意義でした。

総合講義のご感想・ご利用方法

今回のコースで一番お世話になった講義になります。

まず、総合講義で使用するテキストに驚きました。基礎講義のテキストもよかったのですが、総合講義のテキストは、市販のテキストと比較して分量が多いですが、読みやすく、分かりやすかったです。総合講義のテキストには受験当日までお世話になりました。

次に、竹田先生の講義ですが、とにかくメリハリがある講義だなと感じました。総合講義のテキストは、相当分量があるので、最初どう読めばいいか分からないのですが、竹田先生が、ある程度、重要ポイントを示してくれるのでとても助かりました。特に竹田先生の言葉で印象に残っているのが「講義を聞いているだけでは勉強していることにはならない。自分で考えて、テキストを読んだり、問題集を解かないと力はない」といった趣旨の言葉です。確かに、総合講義の講義時間はトータルでかなり長くなるので、何となく、勉強しているような気になってしまいますが、竹田先生の言葉で、早く過去問題集に取り組もうという気持ちになりました。

あと、総合講義は、試験直前期の移動時間中などに、復習のために2倍速で視聴していましたが、これが、よい復習になりました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

社労士試験においては、仮に択一試験の点数がどんなに良かったとしても選択式試験でミスすれば、それだけで不合格になってしまうということを、知り合いの社労士の先生からも、受験生のときに選択式試験の1点で不合格になったという話を聞いていたので、選択式試験に関しては、相当な不安を感じていました。そして、具体的な対策もわからず、どのように勉強をすればよいか悩んでいたところ、選択式集中特訓講座とそのテキスト（問題集）は、選択式試験の出題傾向や出題方式をつかむのにとても役に立ちました。選択式試験も最終的には、テキストの読み込みが重要であるとはよく理解していましたが、選択式集中特訓講座を受講することにより、より本試験を意識しながらテキストの読み込みができたと思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社労士試験は、科目別の横断整理がとても重要であると感じています。私の場合は、科目免除の関係もあり、社会保険科目（健康保険法、国民年金法及び厚生年金保険法）の横断整理のために科目横断整理講座を利用しました。社会保険科目の場合、各科目に共通している部分がある一方で、微妙に異なっている部分もあること、アガルートの場合、科目別にテキストが存在しているため、テキストのみで横断整理することは非効率であると感じていたことから、科目横断整理講座のテキスト（表）は、効率的な勉強を行うのにとても役に立ちました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験は科目数も多いことに加え、各科目の法改正も毎年のように行われるため、改正情報を自ら調べていくことは非常に骨の折れる作業であると感じていました（特に、今年度は労基法の改正があり、そちらの対策が重要であると感じていました）。そのため、法改正対策講座の存在は非常に助かりました。元々、アガルートの総合講義テキストは分量も多く、その情報量は他社の追随を許さないものがあるのですが、法改正対策講座のテキストも情報量が豊富で記載内容も分かりやすいことに加え、総合講義テキストの関連ページも記載されていたため、非常に使いやすかったです。主な使い方としては、直前期に総合講義テキストの読み込みに合わせて、並行して使用していました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

私の主な勉強方法は、「肢別過去問題集の回転＋テキストの読み込み」でしたが、試験直前期においては、できる限り本試験の出題形式に慣れておくことと、全科目を横断的に解いていくことも重要であると感じたので、本試験の1か月頃前から、回答練を使用していました。事前に、肢別問題集を何度も解いていたので、正答率は高かったのですが、何問か間違っている箇所があったため、間違った箇所のみをテキストで確認しました。答練自体は時間の関係もあり、1度だけしか使用しませんでした。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練についても、「過去問マスター答練」と同様、実力試しや本試験の問題形式に慣れるため、本試験の1～2か月前から取り掛かりました。私の社労士試験の勉強方針は当初から「肢別過去問題集の回転+テキストの読み込み」と決めていたので、本答練(全8回)については、土曜日と日曜日に1回ずつ消化し、1か月ですべて消化していくことにしました。間違った箇所や知識があいまいだと感じた箇所については、テキストの該当箇所を読み込んだ上で、必要な書き込みを行いました。そのため、実力確認答練の問題集自体を復習するというのではなく、本試験の直前期のテキストの読み込み時に、「ここは実力確認答練で間違った箇所」であると意識して読むようにしていました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

選択式試験と並び、個人的に、社労士試験における「鬼門」の一つであったのが白書対策でした。厚生労働白書や労働経済白書は分厚く、読む気にもなりませんし、だからといって、本試験問題を「勘」で解くことはリスクが高すぎると思っていました。そこで、本白書対策講座が役に立ちました。白書対策講座で使用するテキストは、膨大な白書の情報がコンパクトに一元化されており、とても使いやすいものでした。具体的には、白書対策のみを集中的に行うようなことはせず、テキストが届いた日から、勉強の隙間時間などに、少しずつ読み進めるようにしていました。正直、白書対策については、このテキスト以外何も使用しませんでした。「このテキストに記載されていない問題が出たらしょうがない」と割り切っていました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

今回、初めての社労士試験であったので、本試験の問題形式に慣れるということを第一の目的にして、模擬試験を使用しました。自宅では集中できないので、図書館に行き、時間を計りながら解答するようにしました。あくまで本試験の予想問題という位置づけで解き、採点結果に関しては、あまり気にしないようにしました。「実力確認答練」と同様、「模擬試験」で間違えた問題や知識があいまいだと感じた問題については、総合講義テキストの該当部分を読み込み、余白に必要な注意事項等を書き込んで、知識の一元化を図るようにしました。それまで、「肢別過去問題集」ばかり解いていたので、「実力確認答練」と同様、「模擬試験」についても、本試験を意識した問題に触れるという意味においてとても役に立ちました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

学習を通して、将来のありたい姿が明確に

城戸 舞さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

結婚、退職、転職、出産を経験し、2年ほど子育てに専念する日々を過ごしてきました。その間、将来への自分のキャリアに漠然と不安を抱えておりました。以前から自分の武器になる資格を持ちたいと思っていたこと、会計事務所の総務で働いていた経験があり社労士の仕事内容を身近に感じていたこと、義父が社労士として実際に開業しており、様々な話を聞く中でイメージが膨んだことがきっかけで、取るなら比較的時間のある今しかないと思い、受験することを決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

受験勉強を始めた初年度は4か月ほどの勉強期間しかなく、市販で買ったテキストと問題集を使って何とか一通り終わらせて受験しました。案の定、初年度の点数は基準点に遠く及ばない点数で終わりました。初受験の学習の仕方と試験の結果を分析し、2年目は独学ではなく、予備校の必要性を感じました。また子育て期間中でも自分のペースで進められる通信での学習と試験範囲を十分にカバーしているテキストを選ぶことを軸として、アガルートの講座を受講することにしました。

合格体験記・学習上の工夫

2度目の受験だったため、試験範囲の全体像は何となく把握できていました。そのため、申し込みを8月末にして、初めてのテキストが送られてきた9月の段階で、まずどの科目の講義の視聴と過去問をいつまでに終わらせるか、あらかじめ本試験の日までのスケジュールを決めました。そして、そのスケジュール感を常に意識し、学習を進めていまし

た。

また初年度の反省を活かし、インプットよりアウトプットの量を増やすことがこの試験に合格する一番の早道だと感じたので、いかに講義の視聴を早く終わらせ、過去問や問題集に取り組む期間を充てられるかを意識しました。

幸い、仕事は在宅で短時間のパート勤務のため、子供を保育園に預け、平日の午後から保育園の迎えの時間まで勉強時間に充てることができ、平日一日4時間、週末は子供がいるため一日2時間のペースで進めることができ、12か月の勉強時間は1000時間ほどを費やすことができました。

テキストが送られてきたときは、やはり一科目のテキストが分厚いと感じましたが、その分このテキストに試験範囲の90%が載せられているのだと視覚的に試験の内容量を理解できたのは、紙のテキストのいいところだと思いました。講義のチャプターも細分化されていたため進めやすく、モチベーションにもなりました。

基礎講義のご感想・ご利用方法

基礎講義に関しては2度目だったこともあり、先生のアドバイスを受け、基礎講義は全部見ることなく労基法のみを少し視聴し、その後、すぐに総合講義に時間を充てました。そのため全部を視聴したわけではありませんが、基礎講義を視聴した範囲の感想では、池田講師のゴロのビジュアル暗記法や時々池田講師が着ているわんちゃんのTシャツは雰囲気と合わせてくれ、印象的で面白かったです（笑）

総合講義のご感想・ご利用方法

12か月の勉強期間にインプット学習として視聴していたのは、総合講義がほとんどでした。そのため、総合講義を担当してくださっていた竹田講師は、寝るときに目を瞑っていても竹田講師の顔が浮かんでくるほど、長い期間視聴しており馴染みのある先生となりました。先述した通り、いかにインプットを早く終わらせて問題集に取り掛かれるかと考えていたため、講義は1.5倍速を基本に視聴し、理解できなかったときにだけ何回か戻って視聴しました。講義内容も条文を中心に分かりやすく解説してくださり、テキストに書かれていない部分も口頭で教えてくださっていたので、テキストにたくさんメモしました。竹田講師の穏やかでクリアな話し方は、聴いていて苦になりませんでした。また個人的には、竹田講師が時折、話してくださる自分の事務所で働いていた時の体験談や、先生の受験時代の話、受験生を鼓舞してくださるお話はとても参考になりましたし、通信を一人で受講している身としてはとても励みになりました。テキストに関しては、中身はフルカラーで目に優しい色使いで施されており、重要箇所も枠でわかりやすく示されていました。学習が進んでくると似たような内容がたくさん出てくるため混乱してしまうところを、重要箇所を確認することでポイントを押さえることができ、復習する時にとても役に立ちました。表紙のテーマの色も科目ごとに分かれていますので、目にしただけで何の科目のテキストを使っているのかわかるのがよかったです。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

この科目横断整理講座は5月下旬～6月上旬に取り組みました。受験生は皆さん同じように感じられるかもしれませんが、その頃になると一通りの学習が終わったものの、大量にインプットした情報が、頭の中で錯綜している段階に陥ります。このようなときに科目横断整理講座は、そのような知識の曖昧さを整理整頓してくれるような講座だと感じました。今までの講座のテキストは科目ごとに分かれていましたが、初めてその全ての科目が一つに集約され、比較できるようになることで、今まで見過ごしていた条文の必要な保険給付と保険給付の違いだったり、遺族の範囲の違いだったり丁寧に理解し、覚えることができました。条文のような長い文章ではなく、一目でぱっと違いがわかるような比較表が受験生の一助になりました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正のところは毎年試験に必ず出題されると聞いていたので、試験直前期はかなり注意してじっくりやらなければと思っていました。この法改正対策講座の良かったところは、個人的には星で重要度がわかることでした。今年の法改正はそこまで多くなかったとはいえ、細かく見ていくと特に安衛法のところなど改正点がいくつもあり、ただでさえ直前期で他に覚えなければならないことが多い中、はじめてテキストが届いたときは正直改正点の多さに唖然としました。しかし星で重要度が示されていることで、強弱をつけて学習することができ、試験前には何度も見返して確認することができました。法改正対策講座は私が特におすすめするマストな講座だと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験の一番の難所といっても過言ではないのが一般常識です。毎年この一般常識で涙を飲む受験生が多いことを聞いていたので、法改正同様、白書対策には時間をかけようと考えていました。この講座では、初めて平野講師が担当くださり、丁寧に解説してくださいました。正直、テキストを見るだけではどこを覚えておかなければならないのかよくわからないほど、グラフや数字が多かったのですが、平野講師がポイントとなることを教えてくださり、それらを中心に学習しました。この白書対策は一般常識ということもあり、ただ社労士試験の勉強としてだけでなく、自分の教養として社会の色んな割合を知ることができるので、個人的にはかなり興味を持って聞くことができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

初年度は4か月ほどの学習期間だったため、模擬試験を受けず本試験に臨みました。その時の反省から2度目の今回は、先生のアドバイスなどを参考に他社を含め、3社9回模試を受けました。模試によっては易しめのものもあれば、かなり難しいものもありましたが、アガルートの模試は比較的難しめに感じました。7月にアガルートの模試を受けたときにはある程度学習が進んでいる段階でしたが、思ったより手ごたえはなく、点数もよくなかったので、正直直前期に模試を受けたときは心が折れそうでした。しかし先生方が

常々、復習が大事だと仰っていたことを思い出し、できなかった問題は次にやるときには正解できるようにと理解できるまで徹底して復習しました。その結果、模試で実力を大きく伸ばすことができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

私は特に才能や学力がずば抜けてよいわけではありません。2回目の受験で合格することができたのは、アガルートの講師の方々、充実したテキスト教材、そして家族の協力のおかげだと思っています。長い受験勉強期間、時にはなぜこんな難しい資格に挑戦してしまったのだろうと引き返したくなるときもありました。そんなときは初心に戻り、どうしてもこの資格を取りたかったのだろうと何度も振り返りました。そうした自問自答の中で日々資格に対する思いが強くなり、将来のありたい姿が明確になり、どうしても合格したいという気持ちになりました。私の社労士としての道はこれからがスタートです。私はこの社労士試験を通して合格を勝ち取っただけなく、人生の大切なことを学ぶことができました。そんな素晴らしさをぜひほかの受験生の方々にも味わっていただきたいと思います。これから受験される受験生みなさまを心から応援しています！そしてアガルートアカデミーの講師、スタッフの皆さま、これまで本当に有難うございました！！

令和6年

社会保険労務士試験合格

一発

膨大な範囲をテンポよく学習することができた

末富 太一さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：10 か月

社会保険労務士試験の受験回数：1 回目

社労士試験を目指した理由・契機

現在の会社で法務系の部署に所属しており、実際に労基法や安衛法にかかわる問い合わせ等を受けることがあるため、社労士試験の学習内容が参考になるかと思い受けることにしました。専門性を高めて今後のスキルアップの一助になればと考えました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

いくつかの予備校のサンプルテキストを取り寄せて見比べたときに、アガルートのテキストがカラフルかつ詳細な内容で、最も見やすく勉強になりそうと感じたのが一番の理由です。また、講義のサンプル動画にて竹田先生の授業を拝見し、この先生の講義であれば一年間問題なく見続けられそうだと感じました。

合格体験記・学習上の工夫

特に意識したことを挙げると、①とにかく毎日少しでも勉強に触れる、②午前中の勉強を最も大事にする、③愚直に講師の言うことを実行する、の3点です。

①について、社労士試験勉強という長丁場を乗り切るためにはとにかく「勉強の習慣化」がテーマになると思い、特に最初の1、2カ月はどんなに仕事等が忙しい時でも一日15分でもいいから勉強に触れ、毎日の習慣とすることを意識しました。

②について、個人的に「一日のクオリティは朝の過ごし方のクオリティで決まる」というポリシーがあるため、朝一の学習をいかに集中して確実にこなすかに注力しました。朝一にしっかりと集中して学習できれば午後以降も午前の貯金があるような気持ちで気分よく学習できるため、結果一日全体のクオリティが上がると思います。

③について、社労士試験は膨大な範囲を学習する必要があるため、学習時間の確保はもちろん、いかに時間内の学習効率を上げるかも重要だと思います。私が最も効率的な学習方法だと思うことは、「とにかく受験のプロである講師の言うことを愚直に信じて実行し続ける」ことでした。もちろん数カ月と学習が進んでいく中で少しずつ自分なりのやり方が生まれてくることはありましたが、今振り返っても基本方針としては間違っていなかったと思います。

基礎講義のご感想・ご利用方法

社労士試験全体の内容を広く浅く学習することができ、全体像をイメージすることに役立ちました。

今までこういった資格試験のオンライン予備校のようなものを利用したことがなかったため最初は少し不安もありましたが、池田先生の柔らかかつ時にユーモラスな語り口により「自分でもやっていけそうだ」と感じたことを覚えています。また、池田先生の語呂合わせ暗記法は個人的にかなり参考になり、この後の総合講義でも暗記しづらい部分については自分なりの語呂合わせを作成して覚えた部分もありました。

基礎講義のテキストについては各教科のエッセンスがまとまった内容ということで、総合講義に進んだ後もたまにパラパラと見直すことができました。

総合講義のご感想・ご利用方法

感想としては、竹田先生の歯切れよくポイントを絞った解説により、社労士試験の膨大な学習範囲をテンポよく学習することができとても参考になりました。

利用方法としては、トータルでテキスト・過去問を8周ほどしました。

【1～3周目】

オソドックスに講義動画視聴・テキスト読み⇒該当範囲の過去問を解くことを愚直に繰り返しました。3周目くらいになると内容によっては動画を見なくても理解している部分も増えてくるため、そういった部分は倍速視聴やチャプターごと飛ばすことで対応しました。また、過去問で間違えた部分は周回ごとに記録していました。

【4、5周目】

このあたりでは内容自体はほとんど理解しているため、テキスト読み⇒過去問を基本サイクルとして、理解しきれていない部分のみ動画で講師の解説を見ていました。

【6～8周目】

ここまでくると範囲の大半は理解・記憶できているため、過去問を解きつつ記憶の緩い部分のみテキストを見て確認していました。また、3回連続で解けた問題は以降解けないこととして、徐々に過去問数を削っていき、最終的には10科目すべての過去問を一通り解ける状態までもっていきました（その時点で試験5日前ほどになっていました…）。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

試験10日前くらいの超直前期で最も役に立ったのがこの講座（テキスト）でした。正直科目横断整理講座の1周目の視聴をしたときはそこまで学習が進み切っていなかったため「なんとなく直前期に見たら便利そうだな」くらいの感想でしたが、学習がほぼ完成した超直前期を見ると、重要な内容が適度にポイントを絞って集約されており舌を巻きました。このテキストと後述の法改正対策講座内に記載のある内容だけは試験に出たら必ず正答できるようにしようと思い、試験直前の3日前くらいから試験当日の朝まではその2つのテキストを中心に最終仕上げをしていました。結果として選択式の目的条文の問題等でまさに学習した内容が出て、その後もいいテンポで試験を解き進めることができました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

試験の直前期で前述の科目横断整理講座に次いで役に立ったのがこの講座でした。社労士試験の重要学習事項として法改正部分が挙げられることは学習初期からわかっていたため、直前期にはそのインプットを重点的に行うことは当初から予定していました。

実際には全体の学習進捗等により少し講座学習タイミングが当初の想定より遅れましたが、試験直前のひと月前くらいから計3回ほど周回し、当講座内に書いてある内容は試験に出たら必ず解けるようにしようと思い、試験直前までテキストを見ていました。

実際の試験でも選択式の序盤の労基法の問題内で当講座のテキストの内容が出てきたりと、当講座のおかげで合格に間違いなく近づいたと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書は社労士試験全体の中でも最も対策の立て方が難しい分野だと思うので、当講座の内容が非常に役立ちました。社労士試験の膨大な試験範囲の中での白書対策の立ち位置を考えると、ある程度割り切りながら勉強をする必要があると思ったため、講座内で講師が重要だと強調したポイントを意識し、データや統計からわかる大まかなメッセージは何か、ということを中心に押さえることに努めました。

実際には本講座は動画を見ながらテキスト読みを1周、試験1週間前の超直前期にテキストをもう1周程度と最低限しか触れられませんでした。上記のようにポイントを絞ることで他の科目の学習時間を確保しつつ、本番でも白書範囲から最低限得点することができたので、アプローチとして悪くなかったと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

私は模擬試験を1回分しか購入していなかったため、ある程度学習が進んだ時点で受講したいと思い、試験本番の約1か月前に解きました。その時点の点数を率直に述べるとあまりよくはなく、選択式・択一式ともに基準点割れ複数科目、択一式については合計点でもおそらく合格点を下回るような状況でした。採点した直後は少し落ち込みましたが、すぐさま「ここで点が悪かったということは、それだけ自分の弱点が明確になったということだ」と思い直し、むしろ模試の復習とラスト1か月の学習のモチベーションが（半ば無

理やりですが) 上がりました。度々言われることですが、模試の結果が悪いことはその時点での自分の弱点を多く知れるということで、むしろメリットだと思いなおして学習いただきたいです。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

当講座のおかげで社労士試験に一発合格することができ感謝もしきれません。今後とも今回の試験勉強で得た学習経験を活かしていきたいと思います。

令和6年

社会保険労務士試験合格

アガルートのテキストだけを信じて何周も復習した

西澤 大樹さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

会社員をしていましたが、持病と過労が重なり病状が悪化したために退職を余儀なくされました。長期の療養生活を送っている中、職場で社会保険労務士にお世話になり、自身でも職業安定所や年金事務所で手続きを行ったことがありました。また自分自身が利用できる年金・健康保険等の制度があるかどうかについて興味を持ったことがきっかけで目指すことになりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

通信講座のサンプル教材を取り寄せて、見比べてみました。その中でアガルートのテキストは目に優しい配色で字も見やすく、疲れにくく読めると感じました。また、ホームページで掲載されている合格率が高く、テキスト掲載率も高かったため、こちらを受講することに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

講座の開講からほどなく利用を始めたため、基礎講義から受講しました。総合講義まで期間があったため、それまで主要科目の労働保険と社会保険を6回ほど通読しました。これにより、これから学ぶ概要を掴むことができましたと思います。

労働・社会保険の一般常識が難しいと社労士受験のサイトでよく言われていたので、時間に余裕があるこの時期に当該科目の市販のテキストを購入し繰り返し学習しました。

本講義が始まると、次の科目の講義が始まるまでに少なくともテキストと過去問を3周ほど回しました。学習時間は、長時間学習していると身体症状が強くなるため、体調に合

わせて少なくとも平日には、3～5時間、土日には6時間程学習しました。午前に講義を視聴し、夜間は復習し、過去問に取り組んでいました。翌日は、はじめに軽く前日の学習内容を復習して、次の学習を始めました。なお、過去問は3周ほど回し、何度も間違えた問題のみ2カ月ほどの期間を置いて解き直しました。

私は地方に在住しており、受験会場までが遠いため、労働基準法・安衛法が終わったくらいの時点で昨年に記念受験をしています。これにより、試験当日の公共交通の混雑状況や会場の雰囲気をつかむことができたので良かったと思います。ちなみに労基・安衛の択一は5点しか取れてなく、頑張っているつもりでも頭に入っていないことを痛感しました。私は記念受験をしているのであえて予備校の模擬試験を受ける必要がないと思ったため、他社の模擬試験は受けていません。

社会保険科目の学習は、年明けからの開始で学習期間も短くなるので、年が変わってから労働保険4社会保険6ほどのウエイトを置いて、ひたすら付箋・マーカーを使いながらテキスト・過去問を本試験まで回していました。

基礎講義のご感想・ご利用方法

学習を始めたのが昨年の基礎講義開講とほぼ同時だったため、基礎講義から受講しました。社会保険労務士受験の主要科目であり労働保険・社会保険の制度の太い幹部分だけがコンパクトにまとめられていて、入門編としては非常に分かりやすかったです。このため何度も復習し、余裕をもって総合講義を迎えることができました。

池田先生の講義は様々な語呂合わせを紹介してくださり、労働基準法の「割増賃金の算定から除かれるもの」の語呂等は今でもすぐに思い出せるくらい印象に残っています。また、自分で考えた語呂を駆使して暗記することができました。

例えば、雇用保険の保険給付の種類について、基礎講義を受講せずにいきなり総合講義で、太い幹以外の枝葉の部分まで学習していたら、今どの給付について学習しているのかすぐに迷子になってしまったのかなと感じました。また、基礎講義を受講することによって総合講義に入るまでに、勉強時間や余暇時間の活用の仕方など自分の学習スタイルを確立できたのも大きかったと思います。

総合講義のご感想・ご利用方法

労働基準法のテキストが届いた時の印象は、「分厚いなあ」でした。事前にボリュームがあることはある程度覚悟はしていましたが、実際見ると、これだけマスターしないと合格はできないと腹を括りました。

1日3～5チャプターのペースで講義を視聴しました。基礎講義で学習リズムは身に付いていたので、同じ分量を毎日続けることは苦ではなかったのですが、頑張りすぎると疲労がたまって後々リズムが崩れることが多々ありましたので、学習時間の管理には気を付けました。

私は、何度も視聴せず済むように集中して視聴しました。講義では、試験に問われる論点や、条文、数字、通達、判例など、学習内容が膨大になるため、試験に問われやすい部

分とそうでない部分とをメリハリをつけて講義をしてくださいました。講義が終わると過去問に取り組み、試験での問われ方と深度をつかみ、復習に繋げています。寝る前に覚えることが暗記に効果的なので、午前・朝に講義を聞いて夜に再度の復習するのがオススメです。

スマホでの視聴は画面が小さいので、パソコンでのみ視聴しました。

総合講義でのポイントはその都度テキストにマーカーや書き込みを行って、復習はアガルトの総合講義のテキストだけをひたすら繰り返していました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

学習して覚えたつもりだったものが、選択式の問題文で空白を埋めるとなると、選択肢の残り2つで迷ったり、条文問題の空欄問題が意外とできていなかったり自身の詰めの甘さを実感しました。

また、はじめて学ぶ点が多々あり、最新の判例や統計問題はとても難しく初見は分かりませんでしたが、平野先生の解説により、問題文の前後の文脈から埋まりそうなワードを推測すること、微妙なニュアンスの違いによる言葉の選択のテクニックを学ぶことができました。

条文や統計の数字、アンケートの集計結果や判例等の様々な問題が収録されていたので、これらの問題に慣れてさえいれば本試験のどんな奇問難問にも適応しやすくなるのかなと感じました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

学習する科目数が多くなるにつれて、共通の事項でも細かい仕組みの違いが出てきます。保険の種類によって不服申し立ての審査請求先や保険の適用対象や除外対象者の違い等は、その都度覚えても混乱しやすいです。この講義は、本試験前の確認チェックとして利用しました。

何度も間違える部分は、テキストの該当部分にマーキングをして、復習の時に意識して読むようにしていました。給付制限は本試験で頻出なので、例えば健康保険法のテキストの給付制限の空白部分にも他の法律での給付制限の内容をメモして、いちいち他のテキストを読み返して比べる必要のないように工夫していました。

どれだけ目に触れる回数を多くするかが暗記には不可欠なので、勉強時間以外にも例えば夕食前に、ふと横断整理の冊子をペラペラ開いて、読み返して暗記ができているかを確認するのに活用していました。それでも間違える場合は、付箋を貼りその部分だけを復習するようにしました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

総合講義のテキストに改正済みの事項もありますが、それ以降に変更になった事項は、テキストに記載はされていないので必ず目を通す必要があります。

項目ごとに重要度が記されていますが、私の場合重要度が低くても学習してなくて試

験に出題されて解けなかった時の後悔をしなくなかったので、すべて覚えました。

試験では改正2、3年後に出題されやすいとよく言われますが、関係なく暗記するだけです。テキストには、太字のペンで目立つように訂正していました。

独学では法改正の情報収集や取捨選択は大変で限界もあると思いますので、覚えるべきものだけがピックアップされた本講義は不可欠でした。

総合講義では、年度ごとに変更される数値等のものに関しては、前もって教えてくださったので、その時には無駄に覚える必要はなく改正講座でまとめて暗記することで対応できます。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

一通り全科目の総合講義が終わり、3周ほど復習が終わった時点で過去問の答練を行いました。この時点では、まだまだ頭に入っていないので合格点を目指すというよりは、肢別問題集の内容が、実際の問題形式で5肢になって出てきても、正しく正解を選択できるのか、時間内に問題を解き終えられるか、どの科目に時間が掛かりやすいのか、を把握することに重点を置いていました。

私の場合は、社会保険科目の問題文の理解に時間が掛かる傾向があると自覚できたので、なるべく社会保険科目の問題文に慣れ、労働科目より長めに解答時間を取ることを意識付けました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

過去問とテキストの内容をある程度の回数を繰り返した時点で、模擬試験のつもりで答練の問題に取り組みました。

過去問マスター答練で、ある程度の点数は取れたので、実力確認答練では、科目ごとの制限時間を意識して、初見の問題に対応できるかどうかの確認を目的に解答しました。過去問マスター答練で私は年金科目に時間が掛かると分かったので、年金科目の解答時間は33分以内という時間設定をして、自信がある一般教養科目で、回収するよう戦略を立てていと思います。解答順は、国民年金法から遡るように解答していきました。

労働系科目が難しく合計基準点は難しかったですが、これにより暗記があやふやな部分や弱点の分野があぶりだされ、本試験までのテキストの復習のきっかけになったと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

講座の前に一般常識の白書や統計問題の過去問を見ていると、「こんなの分かるわけがない」と思い不安でしたが、講義では、あまり目を通さなくて良い部分としっかり覚えておく部分を伝えてもらえたため、メリハリをつけて学習することができました。白書は毎年何百ページもあると聞いていましたが、テキストは自分が思ったより分量は少なかったもので、覚える内容だけに集中して学習し、時間を削減することができたと思います。

7月後半からはテキストを2日に1週のペースで、毎日各種統計の数字を強く意識して

何度も通読しました。

余談になりますが、この講座を学ぶと少子高齢化や労働者の状況など現在社会が抱えている社会的問題が把握でき、視野が広がったように思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、本番形式の問題文に慣れること、科目ごとの必要な時間、見直しの時間は取れそうかを把握することを目的に、1日1科目だけ時間を測定して解きました。そのようにすることで、国民年金と厚生年金科目は、どうしても1科目30分で解くのは難しく、自分の科目ごとの解答の得意不得意を知ることができました。これで、年金科目は1科目30分で解くことができないため、33分に解答時間を配分すること、比較的時間に余裕があった一般科目や労働科目でその遅れ分を回収して帳尻を合わせるという本試験の時間配分の戦略を立てることができました。

少しでも時間を削減するため、マークシートのマーキング専用の芯が太いペンシルを使用しました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

昨年は記念受験をしています、実質1回目の受験で合格することができました。直前期はアガルトのテキストだけを信じて何周も復習しました。大学受験でも1年でこれほど勉強したことがなく、仮に不合格の場合もう1年この学習を繰り返せる自信はなかったので、どれだけモチベーションと危機感を持って勉強できるかが一番大事なことだったと今では思います。

ご指導ありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

一発

行政書士に続いて社労士でもアガルートでの受験を決意

檀上 泰史さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：1 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私が社労士試験を目指した理由は、仕事で労働法に関する知識が求められる機会が増え、しっかりとした法律知識を持つ必要を感じたからです。資格試験を通じて体系的かつパッケージ化された知識を身につけ、実務に活かすとともに、自分の理解をさらに深めることができると考えました。また、将来的に独立やキャリアの幅を広げるうえでも社労士資格が役立つと考えていたためでした。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートの講座を受講しようと思ったきっかけは、以前、行政書士講座をアガルートで受講していた経験があり、その質の高さを実感したからです。また、合格後にキャッシュバックがある点も魅力的でした。さらに、他社と比べて講義がスピーディーに進むスケジュール感があり、自分のペースで効率よく学習できると感じたことも大きな理由です。こうした利点が揃っていたため、社会保険労務士試験についても、アガルートでの受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

私が社会保険労務士試験に合格するために意識したのは、特に選択式の対策を重視することでした。選択式は合否を左右しやすい形式であり、思わぬ足切りリスクがあるため、早期から問題集を繰り返し解いて感覚を養いました。また、特定の得意科目を作ることを目指すよりも、苦手意識を払拭することを優先しました。選択式問題では苦手分野を集中的に演習し、少しでも苦手を減らすことで選択式での不安を軽減しました。さらに、択一

式に関しても安定した得点が必要です。特に健康保険、厚生年金、国民年金などの社会保険分野では何度も（10回転以上は行ったかと思います）学習を繰り返し、理解を深めました。これにより基礎的なミスが減り、安定した得点が得られるようになりました。ほかには、特に雇用保険などについては、内容を頭の中で整理し、目次をただで制度の概要が思い出せるよう工夫しました。こうすることで、試験中もスムーズに解答できる力を養いました。常識科目の対策としては、法制度や統計の中でも特に優先度が高い分野を絞り込み、最新の統計や法改正情報を暗記しました。

社労士試験は長期的な勉強が必要になる試験ですので、モチベーション維持が重要になります。好きなコーヒーや甘味などで、勉強を続けるための工夫をしていました。

基礎講義のご感想・ご利用方法

正直なところ、基礎講義については、あまり活用できなかったと感じています。社労士試験は、必ずしも前段知識が必要とされる試験ではなく、基礎を一通り押さえなくても合格を目指せる部分があるため、特に時間がない方にとっては早めに総合講義へ進むほうが効率的です。私自身も総合講義に早く着手し、試験対策の進捗を意識して学習を進めることで合格可能性が高まると感じました。とはいえ、基礎講義の魅力もあり、異なる講師の視点で学べることは理解を深める上で効果的です。異なる講師がどのように解説するのかを聞くことで、難解な部分の理解や新しい視点を得られることがあり、定着に繋がることもあります。そのため、学習に少し余裕がある方や理解をさらに補強したい方には、基礎講義は視点を広げる手段として有用だと感じます。

総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義については、基本的に何度も繰り返し聞くスタイルで学習しました。講義を聞くことは視覚的な負担が少なく、気分転換や隙間時間の学習として活用しやすいため、通勤時間やあまり勉強をする気が湧かないときでも無理なく進められました。特に社会保険と労働保険は膨大な知識を要する分野であり、知識の定着を図るためには頻繁に触れることが効果的です。そうした分野の理解を深めるため、講義を流し聞きして知識を少しずつ記憶に定着させることを意識しました。また、講義を周回することで徐々に理解が深まり、知識の抜けや曖昧さに気づく機会も増えました。分かりにくい箇所はメモを取りつつ重点的に聞き直すことで、学習効率が上がったと感じています。インプットよりもアウトプットを多くして、定着を確かめることを意識していました。

普段の学習から横断的に網羅することを意識することで、知識の整理と自信が一層深まりましたので、これから受験される方も横断的に学習することをおすすめします。

最初の方に学習する労働基準法や労災法については、復習をしないと、年金などの社会保険科目に入った年明けのタイミングなどで忘れてしまいがちなので、勉強した科目についても復習を定期的にすることをおすすめします。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

社労士試験において、選択式は合格を左右する重要な要素です。特に、所定の文言や特定の条文が抜粋されることが多く、特徴的な単語が出題されるため、確実な暗記と理解が求められます。選択式については、人によって2パターンの勉強方法があると思います、テキストを読んで暗記する方法と、選択式の問題集や特訓講座を活用する方法のどちらかになると思います。自分の学習スタイルに合わせて、好みの方法を選び活用することが重要です。特に常識科目は範囲が広く、単純な暗記だけではカバーしきれない部分が多いため、特訓講座や過去問などを用いて幅広い対策を講じることをおすすめします。選択式集中特訓講座は、こうした対策に特化しており、出題傾向や重要項目に絞って効率的に学べるのが特徴です。この講座を通じて、試験本番に向けた集中力と理解力を大きく高められると感じました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社労士試験における科目横断整理講座は、非常に有益だと思います。特に、社会保険科目や不服申し立てといった科目間で関連性が高い内容を横ぐして整理しながら学べる点が大きなメリットです。これにより、各科目のつながりや共通するポイントが自然と理解しやすくなり、知識の定着がより深まります。さらに、国民年金と厚生年金（健康保険の一部）は内容が類似しており混同しやすいですが、横断学習を通じて比較や整理がしやすくなり、必須の学習方法だと感じました。こうした横断整理によって、科目の細かな違いと共通点を明確に把握できるため、試験本番の混乱を避けられる大きな助けとなりました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座を利用して感じた感想ですが、今年については法改正の少なさもあり学習量が控えめであったので、ほかの年よりも負担が少なく感じられました。しかし、例年の社労士試験では毎年法改正に関する問題が出題されやすいため、改正内容はしっかりと重点的に学ぶことが重要です。特に、今後改正のある雇用保険については、注意が必要だと感じています。法改正の内容は新しい知識の吸収だけでなく、既存の知識との整合性を確認する意味でも、講座での丁寧な解説は非常に役立ちました。また、改正内容が整理されているため効率的に学習が進み、試験本番に自信を持って臨む準備が整いました。法改正は今後の社労士試験の合否に影響する重要なポイントなので、引き続きこうした対策講座を活用し、改正内容を押さえつつ学習を進めていくことが重要だと思います。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練は、社労士試験合格を目指す上で非常に有用なツールです。まず、社労士試験の特性上、細かい論点やピンポイントの知識が問われるため、過去問の周回学習は必須です。過去問を繰り返し解くことで、よく問われるポイントや重要な論点を自然と把握することができます。また、過去問を解くことで、自分が苦手とする分野や理解が

不十分な点も明確になり、重点的に復習ができます。特に、早めに取り組むことで知識の定着が図れ、実践力も向上するため、早期から計画的に過去問答練を進めることが大切です。個人的には、講義を受けたのちにすぐ過去問を受けていくというルーチンを作ることが重要だと思っています。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練は、自分の知識や理解度をチェックする上で非常に役に立つと思います。特に本試験に備えて、過去問と同様に早めの取り組みをおすすめします。答練を通じて、自身の実力や理解が足りない分野が明確になるため、弱点を把握しやすく、効率的な学習計画を立てる一助となります。しかし、個人的には過去問の完成度を高めることを優先すべきだと考えます。理由として、過去問は試験委員が実際に作成した問題であり、合格のために押さえるべき重要な論点や傾向が詰まっているからです。したがって、まずは過去問で基礎力を徹底的に強化し、その後に答練で知識の定着度や実力を確認する流れが理想的です。このように過去問と答練を上手く活用し、理解の質と本番での対応力を高めることで、合格への道がさらに開けるとしています。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書対策講座は、特に社労士試験の合格を占う選択式の中でも特に重要な常識科目において、足切りを防ぐために欠かせない学習ツールです。選択式試験では、基本的な知識だけでなく、白書に基づく最新の傾向や時事的なデータに関する理解も求められます。そのため、白書対策講座を利用することで、こうしたポイントを効率的に押さえることができ、合格の可能性を高めることができます。

個人的には、少子高齢化、女性の社会進出、精神疾患などの社会問題になっているテーマは重点的に押さえようと思っていました。

ただ、白書は出題されない可能性もあり、運の要素も強いので、完璧を求めるよりは過去の出題実績や社会での注目度に応じて力を入れる配分を決めるのが良いと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、本試験前に実力を試すための有効なツールですが、私自身、複数の予備校の模試を経験して感じたことは、必ずしも多くの模試を受ける必要はないということです。予備校ごとに模試の難易度が異なり、特にアガルートの模試は難易度が高めの傾向にあります。そのため、アガルートの模試で点数が伸びなかったとしても、あまり気にせず、落ち込むことなく本試験へ臨むことをおすすめします。模試の問題は本試験よりも難しい場合が多く、各予備校で出題方針も異なるため、模試の結果に一喜一憂するのではなく、模試で発見した自分の弱点を克服することに重点を置くべきです。本試験の傾向や出題ポイントを掴むには、過去問の分析や復習が最も重要です。模試はあくまで本番に向けた練習として位置づけ、自分の実力を確認するための一環と捉えるのが良いかと思います。

中上級カリキュラム

アガルートアカデミー合格体験記 社会保険労務士試験

令和6年

社会保険労務士試験合格

ポイントを押さえた教材で効率的に合格を勝ち取った

加藤 亮さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

現在私が勤めている会社は、サービス業ということもあって、個人的に過度では？と思うってしまうような顧客からの請求や、労働時間においても遅い時には22時を超えるということが多々あったりと色々な点で疑問に持つことが多かったのですが、一般的に労働基準法やカスハラなどの名前は知ってるものの、定義などについてはわからず、きちんと知っておきたいという気持ちから、労働関係の資格＝社労士ということで取得を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

以前、他の資格試験の講座をアガルートで受けていたからです。

テキストの網羅性が高い、費用も安い、講師の先生もわかりやすい、さらにこのような合格特典もある。至れり尽くせりなので、他の会社さんは選択肢に有りませんでした。

合格体験記・学習上の工夫

2回目の受験で合格しまして、1回合格という箔が付くような合格は出来なかったのですが、その失敗談からお話します。

1回目は選択式の雇用保険で2点を取ってしまい、他は合格ラインだったのですがそれで不合格となってしまいました。

原因は1つ1つの用語をなんとなく意味としては分かっていたものの、言葉として押さえていなかったことで、似たような言葉が出てきてしまったときに、「あれどっちだったかな？」と思うってしまうような、正確性のなさでした。例に出しますと、雇用保険における技能習得手当について、現法では受講手当&通所手当+で寄宿手当の組み合わせが正解で

すが、私は技能習得手当とは受講手当&通所手当「&」寄宿手当、のような3セットで1つとらえてしまい、本試験で、技能習得手当とは受講手当+「何か」という問いが出た際に、1つしか選択肢はないのに、通所手当ないしは寄宿手当かどちらだ?という風に混乱してしまい、失点しました。

このようなとても苦い経験を得て、社労士試験とは面でもとらえることも大事であるが、点でもとらえることも選択式対策としては必須であると理解し、用語を押さえていきました。

また、正直テキストはアガルートは網羅性がすごい為、逆に言うとうろくなくいいです。持ち運ぶには適していないので、小さな過去問題集の方に、テキストのほとんどを書き写して、オリジナルテキストを作成し、それを移動時間などに見ていました。書くという勉強は書き写した後はほぼせず、ひたすら読んでいましたね。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

1つ1つのチャプターが10分、長くても30分なので、お昼時間などに見ていました。

また私が2回目受験ということもあり、ある程度知識は学習当初よりはあったので、倍速機能も備わっているのも、それを利用して隙間時間勉強を心がけました。竹田先生の講義は非常に素晴らしいです。抑揚も付けて、どこがポイントかわかりやすいですし、具体例も出てくれます。

また、私個人的に語呂合わせというものが、社労士試験をより暗記色に染めてしまう悪いものと考えており、理解してから勉強したい私にとってはあまり好きではなかったのですが、竹田先生も語呂合わせが好きじゃないということを講義の上でおっしゃっていました。上記のように、単純な勉強だけでなく講義の中で、講師の方の感想などを言っていたのだけと、淡々とした授業ではなく、人間味があって面白いので、語呂合わせが苦手な人は、ぜひ竹田先生の授業はおすすめしたいです。ほとんど語呂合わせ出てきません。逆に一部割りきって暗記として覚えてください（例えば雇用保険の基本手当受給日数）と、講義の中でお伝えしてくださるので、竹田先生がおっしゃるならというふうになんて受け入れられました。テキストの中でアドバンスマークがつくような難しい、ただ単純にテキストを読んだだけでは理解できないような点についても、かなりわかりやすく説明してくれたり、ときには余裕があれば覚えてください、余裕がないなら覚えなくてもOKということもあり、どこで手を抜くべきか、それも教えてくれる大変よい講義です。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

上記より、以前私が不合格だったのが、選択式によるものだったので、こちらの講義は紙に穴があくんじゃないか?というくらいテキストを熟読しました。

平野先生の講義は1つ1つがかなり短く5~10分程度です。これもまた隙間時間を活かして見れますし、目的条文などの頻出かつ、テキストだけだと、いろんな冊子をペラペラめくらないといけないものが1つにまとまっており重宝しました。

社労士試験はほぼ100%と言っていいほど、選択式のどこかで目的条文が出題されます。今回も社一で出題されました。この講座がなければ社一で足切りを受けていたと思います。

その他にも白書からもすこし選択式対策を出してくれていたり、過去問にないような論点から出題している選択式対策問題は、非常にありがたかったです。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社労士の試験は似たような言葉で違う意味の言葉だったり、同じ処理（例えば不服申し立てとか）なのに、科目によって請求先や、期間、数字などが、微妙に変わるという試験です。

当然この勉強量ですから、慣れてきたころにどっちがどっちか混乱します。その時にこの科目横断の講座を見ていました。1冊でその辺のややこしいところを集約して、ポイントとなる差分だけ書いてありますから、わかりやすいです。また思い出をするときにこの教材は非常に使えました。一覧表になっているので、どこが違うのかというものを図で理解することができます。この講座は直前の知識が溢れそうなときのまとめ用に、テキストは試験前本番に持ち込みたくなるそんなテキストです。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験は法改正からの出題が大好きな傾向にあります。特に私のような複数回受験者になると、以前の知識と新しく改正された知識、これが同じ肢に発生した際にどっちになるか混乱してしまいがちです。なかでもよかったのが、法改正自体は社労士試験はかなり多いですが、全部覚えていたらキリがないので重要論点だけ押さえておきたいと思っていましたが、流石アガルート、重要度を☆1～☆3までで分けてくれていました。☆3と☆2まで私は押さえるようにして、☆1はなんとなくで押さえることで、ちょっとだけ楽できて感謝です。☆1だし自分が覚えてないんだから、他の受験者さんも覚えてないだろうし、出題されたら捨て問だという思いを止めつつ、これも本試験に持って行きました。択一式が始まる前に軽く読んでおくお守りみたいな位置づけでした。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

1肢1肢単位では理解出来ていても、5肢でくるとどれが正解かわからない。ましてや過去問題集と違って、隣のページに解説もないので、本番のような雰囲気です。ここで間違えた場合、それが自分の弱点論点であるということが浮かび上がってきます。このような使い方をしていました。そのため、本試験直前期になってくると、知識がしっかり固められているため、この答練は使わないようにしましたが、あやふやな中盤くらいには活躍してくれました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

教材通りの使い方をしました。到着するのが直前期の少し前くらいの時期になりますので、そのころに利用しました。アガルートの実力確認答練は基本的なことを押さえていることが多いそうです。解説の講師の先生がそうおっしゃっていました。ここでは選択式も含めてある程度点がとれたので、自分の実力が付いてる！という自信に繋がりました。

それと同時に解けない問題もいくつかあったので、基本的な論点でしたから、そこはしっ

かりと再度復習をしていくという意味でのツールとなりました。またある意味難度のやや低めな模試としての位置づけと感じておりますので、直前期になっても過去問→模試→過去問と回すときに、模試の範囲として入れておりました。選択式問題が2つずつあるのもうれしいポイントでした。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

まず白書というのはものすごく量があるので、これを1冊にまとめてくれているだけで、この講座だけでも利用価値があるものと思います。またあまりに範囲が広すぎて正直本試験で出題されなくても、講師の先生が悪いとは全く思いませんでした。私は恥ずかしいですが、選択式に出てくる程度の白書なら太字だけ押さえていればOKだろうと思っており、そのやり方でなんとか本年度の選択式を突破できました。補正の入っていた労一も4点だったので、そういった意味でもこの講座は良いです。あとは太字さえ覚えていれば、ちょっとだけ全体から割合を算出して計算するような問題でも、なんとなく選択肢の中から、答えをピックできるとおもいます。

一方択一の白書系からの出題は私は全敗でした、、それでも他でなんとかなります！

白書については、本当に重要なところだけ押さえて、他は軽くでもOKだと合格した今となっては他の方にもよく言えます。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模試については他の会社さんの市販のモノも利用していました。結果はアガルートの以外は全部、足切りありでした、、（選択式のみ）正直やばいかもと思っていましたが、ここでも竹田先生。模試は模試というありがたいお言葉を言っておりました。またその受講している模試が当然取れやすくて、他の会社の模試は取りづらいということを仰っておりました。そのためそこまで自信は喪失しませんでしたし、むしろアガルートの模試だけでも合格ラインだっただけで良いと思いました。

そしてこちらの模試ですが、過去問にない論点から選択式も択一式も出題してくれるので、過去問からは出来ない知識のアウトプットに繋がります。また他社と違って解説テキストもコンパクトサイズで非常に使いやすいです。持ち運びできる問題集ってなかなかないですから、模擬試験含めてアガルートの教材は隙間時間を活かせる仕様になっています。こちらの模試もこれ単品だけでもかなり価値のある有意義な講義&教材でした。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

竹田先生ありがとうございました。2回で合格できたのは、竹田先生のおかげです。

いままで社労士試験以外にも他試験で他学校の講師などの授業をオンラインで受けてきましたが、ダントツでわかりやすかったです！！！！

令和6年

社会保険労務士試験合格

合格へ導いたのは、無駄のない講義と“最強”テキスト

呉山 聖雄さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

現在、急性期病院で人事の仕事をしているため社労士資格には興味がありました。役職が上がるにつれ経営について学びたいと考え中小企業診断士の資格を取得しましたが、診断士×社労士のダブルライセンスで活躍されている知人からのススめもあり社労士取得を決めました。

労働人口が急減する社会において最も大切な経営資源であるヒトに関するプロフェッショナルでありたいと考えています。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

直接の動機は同僚に別の資格をアガルートで学んでいる者がおり、「合格したら特典でキャッシュバックがあるよ」と教えてもらったことです。また知人の士業からも「法律資格に強い」と聞きましたので、単に合格するのではなくしっかり学びたいと思いアガルートに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

一度目は独学5ヶ月の学習期間でまったく歯が立ちませんでした。正直独学でも勝負にはなると自信があったのですがその自信は完全に過信でした。「こんなに難しい択一試験があるのか」と呆然とした記憶があります。

そして二度目は他社の通学を活用しました。テキストも分かりやすく、先生の生の講義も印象に残りやすかったです。ただ仕事の都合で通学が叶わないことが多く結局、WEB講義を視聴するということが多くありました。通学が理想であるとは思いますが社会人に

はなかなか厳しい面もあるなと痛感しました。

2 年目の試験結果は択一は合格基準点をゆうに超えることができたのですが雇用保険法の選択式が一点足らず涙を飲みました。この試験の難しさ、怖さを改めて実感し精神的にもかなり落ち込みました。ただここまで時間を投資してきて諦められるはずありません。あと一点で涙を飲んだとはいえ独学で太刀打ちできるとは思えなかったので前述の経緯もありWEBで学べるアガルートを選びました。休日にWEB講義を視聴し、平日の朝にテキスト読みと過去問学習をするというルーティンでなんとか一周やりきりました。そして直前期には充実した対策講座とテキスト詰め込みで選択式はほぼ満点を取ることができ合格を勝ち取りました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

とにかくテキストとそれを支える竹田先生の講義がわかりやすいです。

テキストは初めて手に取られた方はその厚みに驚くかも知れません。事実私がそうでした。しかし中を読むともっと驚きますよ。完璧な構成でストレスなく読み進めることができ、丁寧な記述と図表を用いた説明で理解が深まり、記憶のフックや重要ポイントといった工夫で記憶に残りやすく、フルカラーかつ文字の大きさや行間などもちょうどよく、全てにおいてユーザーフレンドリーなテキストでした。

そしてそのテキストをベースに竹田先生の出る出ないに基づく強弱をつけた無駄のない講義と合わされば理解できないまま丸暗記するというストレスのない完璧な学習が実現します。

私の学習方法は講義を聞きテキストに説明があった箇所をメモする、当該箇所の過去問学習をする、テキストを読むということを小パートに分割して進めるというものでした。何周も勉強するほど時間は取れなかったのですが、しっかり理解できているので忘却しづらく、また直前期に詰め込む際にもスムーズに記憶できました。丸暗記は苦手だから理解ベースの暗記をしたい、細かな点まで問われる最近の試験傾向に対応したいという方には特におすすめです。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

テキストと過去問中心の学習を直前まで続けていました。一方で昨年度選択式一問で不合格となったため選択式に対する不安は常にありました。そこで8月上旬に選択式集中特訓講座のテキストをざっと一回転し、試験直前にもう一度通読しました。選択で狙われやすいところを基に作成いただいているためこちらの教材を使用することでもし類似する問題が出ればという期待感とともに全科目を短時間で復習できる安心感がありました。とはいえ広範な試験範囲のうちどこが選択式で出るのかなんて予測不可能ですからあくまで全体を網羅しているテキスト学習を中心に知識の整理や確認といった位置付けで使用されることをお勧めいたします。直前期の確認用教材として有用です。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

こちら8月の直前期に知識の確認に二周しました。テキストや過去問学習を順次進めていくとどうしても以前に学んだ科目の知識が抜けていってしまうのと、審査請求や延滞利息の知識など覚えつつも別の法律と混ざってしまって間違えてしまうということが起こってしまいます。テキストでの理解しながらの全体学習が基礎にはなるのですが、そうしたこんがらがってしまう論点を横並びに整理して分かりやすくまとめてくれるとても便利な教材です。全体を一周したタイミングや直前期の知識の整理や確認に重宝します。択一对策だけでなく選択式で万一抜かれたときにも他の法律と知識が混在してしまわないよう整理しておくことはとても重要です。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

今年も選択式で産後パ育休が出たように社労士試験において法改正学習は欠かすことはできないものです。数年前の労災の複数業務災害に関するものなど選択式で抜かれることもあるので絶対に落とすことはできません。しかし法改正はたくさんありますしそれにかける時間も限られている受験生がほとんどだと思います。その分、この法改正対策講座が分かりやすく全科目の法改正をまとめていただき、かつ重要度も示してくださっているので強弱をつけて学習することができました。テキストにも法改正点は明示していましたが改めて知識を整理するのに役立ちました。8月に二周することで試験までバッチリ記憶に残っており法改正問題もしっかり取ることができました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問は本試験と同じ5択で解くこと。これは年々難化する社労士試験の択一对策に不可欠だと思います。今年の択一はとんでもなく難しかったです。私も去年より6点も低下しました。

はじめて見るような知識やあやふやになってしまうような細かい知識を問う問題を長文で出題されますので一問一問丁寧に読み込んで答えを出すというやり方では時間オーバーのリスクがあります。5択のうち、知識を再動員しもっとも可能性が高い問いを選ぶ相対的に答えを選ぶスキルを磨くのに最適な教材です。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

私の場合は答練を解いて答え合わせをするというアウトプット教材ではなく、問題形式で知識を再補充するインプット教材として使用しました。問題を見て解説を読むという方法で一つずつ解いていきました。単にテキストを読むだけでなく答練は出題される可能性が高いものがセレクトされているだろうし問題形式で復習することで記憶に残り易いという利点もあるかと思います。

ある科目のパートごとにテキストと一問一答の過去問で勉強して来ましたが昨今の択一式の難易度上昇を考えますと過去問だけでは不十分かも知れません。予備校オリジナルの答練も学んでおくことで本試験で難しい問題が出た際に何とか相対的に答えを選び出され

るよう問題を解くスキル向上は大切です。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模試についても答練と同じく問題を解いて答え合わせをするという方法を取らず、冊子になっている解説集をもとに問題を見てすぐに解説を読んできました。模試の難易度は高いのですが、解説をしっかりと書いていただいているので知識の整理や補充にとっても役に立ちました。

本来的には本試験の模擬試験ですから時間を決めて問題を解いて答え合わせと復習をするのがセオリーだと思いますが、正直時間もあまりなく私は3度目の受験であるため問題を解くことよりも効率的に知識の補充や整理ができればと思いこのような方法を取りました。

択一試験も年々難しくなっていることを痛感していますので、過去問のみならず答練や模試で難しい問題に慣れておくのも大切だと後になって思いました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

竹田先生をはじめとして講師の皆さんのおかげで合格できました。アガルートのテキスト最強でした。ありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

継続は力！学習ルーティンを確立し、問題集を6周した

今末 美滯さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

新卒で入社した化粧品会社で営業をしていましたが、コロナにより暫く全店舗休業することになりました。休業を機に興味があった行政書士を目指すべく、行政書士・社労士事務所に転職をしました。行政書士の資格を取得後、社労士の資格を取得し独立するために今回試験に挑みました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

行政書士試験の際にアガルートを利用し合格したので、社労士試験を受ける際も利用すると決めていました。テキストや問題集のボリュームも丁度よく、自分に合っていると思いました。また、行政書士試験の際に、合格特典で全額返金してもらえるのが自分のモチベーションに繋がったのも理由の一つです。

合格体験記・学習上の工夫

まず初めにテキストから取り組みました。平日は1日5講義以上、休日は10講義を倍速で視聴し、大枠を掴むことを意識しました。その後すぐ過去問問題集を解き、間違えた問題や正解はしたものの知識が曖昧な箇所をテキストで確認することを繰り返しました。

最終的に問題集は6周しました。基本的なことではありますが、問題集を繰り返し解き覚えるだけでなく、周辺知識をテキストで確認し一緒に覚えることが一番大事だと思います。

次に、選択式対策として条文の重要箇所の暗記に取り組みました。方法としては、単語帳アプリに覚えたい条文を入力し、テキストの条文に赤文字や太字で書かれている箇所を

抜き出し暗記するという方法です。単語帳アプリを利用することで、通勤やスキマ時間にもいつでも解くことができるのでおすすめです。

条文は全部完璧に覚えるのは途方もないので、テキストの赤字や太字の箇所につけて暗記しましたが、家で問題を解くときは、条文を音読しながら解いていたので、赤字・太字の箇所以外も頭の片隅に残っていました。なので、模試や試験で赤字・太字以外の箇所を問われた際も、選択肢を見れば思い出すことが出来ました。

条文を暗記する際はぜひ音読しながら覚えることをおすすめします。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

総合講義は1教科1ヶ月以内に視聴し終えることを目標にし、平日は5動画以上、休日は10動画以上視聴しました。

初回は倍速で視聴し大枠を掴むことを意識しました。視聴中は先生の発言（重要ポイントや語呂合わせ）をテキストに書き込んでいきました。また、もしこの分野から問題が出されるならどこからか？を考えながら受講していました。ただ聴いているだけでは聞き流してしまうので、試験問題を意識しながら取り組むことで身を引き締めて受講することができました。

講義を受講した後に問題集を解き、間違えた箇所や理解が浅い部分をもう一度聞き直していました。過去問や模試に掲載されているがテキストには載っていない条文や事項があれば、テキストに書き足して都度補強していました。

広く浅くを意識して大枠を短期間で掴んだ後は、ゆっくり丁寧にテキストを読み込みました。大枠を掴んだ後はつい問題集ばかりやっついまいがちですが、そうすると問題集にでてくる部分しか覚えられません。テキストを読み返すと忘れていたことが必ず出てくるので、定期的に読み返すことをおすすめします。

また、社労士試験では細かい数字が多々できます。数字問題は覚えるだけで点数が確実に取れるので、数字は確実に覚えるようにしていました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式集中特訓講座はとにかく何周もしました。特に序盤にでてくる条文の穴埋めは覚えるまで解くことをおすすめします。序盤に出てくる条文の穴埋めは、目的条文だったり基本的な条文なので、もし試験に出たら必ず取る！と意気込んで取り組みました。

もちろんここに記載されている条文以外も覚える必要はありますが、選択式集中特訓講座に記載されている条文は必ず覚えておきたいです。

選択式集中特訓講座では、こんなことまで問われるのか？と思うくらい細かい問題も出てきますが、その分やれば確実に自分の力になりました。ボリュームはそこまでないので負担にならず、周回しやすかったです。また、選択式と書いてありますが、選択だけでなく択一対策にも使えました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

特に直前期に重宝しました。このテキストを使えば、混ざりやすい知識を1冊でサッと復習できるので有難かったです。例えば、健保、国民年金、厚生年金において、どのような場合に差し止めになるのか、といった科目によって微妙に違うことをまとめて復習することが出来るので、すごくよく出来たテキストだと思います。また、それぞれの科目における最も重い罰則等が記載されていたり、忘れがちな項目も記載されており、記憶の抜け防止にも役立ちました。

健保、厚生年金、国民年金では、共通している事項が多い分、知識が混ざりやすいので、それぞれの異なる事項を如何にしっかり覚えているかが肝になると思います。労働科目でも役に立ちましたが、特に保険科目の復習、記憶の整理に役立ちました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験では法改正は問題に出されやすいので、特に役立ちました。また重要度が★で記載されており、パッと見で重要度が分かりやすく有難かったです。

総合講義のテキストが送られてきた際は法改正に対応していないこともありますので、法改正対策講座のテキストと、それぞれの科目のテキストを見比べて、改正に対応していない部分があれば、テキストに書き込んでいました。

法改正が問題に出されやすいとは言えど、法改正以外の方が範囲が広いので、テキストに書き込んだあとは、そこまで使用する機会はありませんでした。しかし、発送されてくるのが直前期なので、記憶に残りやすかったのもよかったです。ボリュームも少ないので、時間がない時は、法改正対策講座のテキストを読むだけでも力になると思います。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練は2周ほど行いました。この問題集のメリットは、本試験に慣れるということもありますが、解説がしっかりしていることだと思います。問題は正解していても、解説を読むと自分の知識の浅さを痛感させられます。判例を元に作られた問題であれば、判例名も解説に記載されていますので、判例も併せて確認するようにしていました。

1、2年前の問題がそのまま本試験にでることは少ないと思いますが、切り口を変えて出題されることはあるので、問題の正誤よりも解説を読み込むことが大切だと思います。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

この答練では1回目は本試験のつもりで挑みました。この答練では、自分の覚えていないことや知らなかったことを知ることができました。名前の通り、実力が確認できます。解いたあとはまたテキストを読み、書いてない事項であればテキストに解説を書き込みました。

この実力確認答練では、特に一般知識の対策に役立ちました。過去問マスター答練や過去問テキストにも一般知識は掲載されていますが、一般知識は鮮度が重要だと思いますので、実力確認答練で解けてよかったと思います。また予想問題集の側面も持っていると思

うので、どれだけ時間がなくともこちらの答練はやって損はないと思います。実際に試験で出題された問題もあったので嬉しかったです。

最終的にこの答練は3周ほど解きました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

一般知識は法令科目と違い色々な統計や白書から出題されるので、いかにポイントを押さえていくかが重要だと思います。

この白書対策講座では、様々な統計から重要な部分が選抜されているので、時間が無い直前期に役に立ちました。また、図も多く入っているので見やすく、隙間時間に読むようにしていました。白書対策は細かい数値に目がいきがちですが、統計名が選択式で問われることもあるので、テキストを読む際に、今読んでいる統計名称と概要を意識して取り組んでいました。

白書対策には記載されていない統計もあったので、過去問で問われた統計の最新版を調べ、テキストに書き込むようにしていました。白書対策は直前期に送られてくるので中々時間の余裕がありませんでしたが、今年を選択式では統計がメインで出題されたので、やってよかったなと実感しました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験を受けた結果、選択式で社一が足切りになり青ざめました。見覚えもなければ、考えても覚えてなければ解けない問題でしたので、そこから火がつき、社一のテキストと白書講座のテキストをとにかく読みました。

また、労基法や労一では判例から出されることも多いので、問題集やテキストで出てきた判例を読み直し、問題に出しやすそうな箇所を覚えました。

選択式では、①〇〇及び××、②〇〇及び△△等、肢を見ても、意識して覚えていなければ間違えるような細かい問題も出てくるので、正確に覚えるよう注意して覚えました。

模擬試験は6月後半頃に解きました。私は模擬試験の結果で焦り、やる気に火がついたので、早めに取り掛かることをおすすめします。模擬試験は3回ほど周回しました。

令和6年 社会保険労務士試験合格

過去問とテキスト確認の繰り返し合格への近道

今福 竜悟さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：7 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

法律系の資格とは関連性はないですが、建設業、不動産業にかかわる資格(宅地建物取引士、1級建築士、1級建築施工管理技師)を取得しており、建設業関連の資格と社労士、来年に行政書士を受験し、取得すれば独立開業後の強みになるのではと考え、今回、社労士資格取得を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

昨年、他社の通信講座で4～5ヶ月期間の勉強期間で受験し、選択式の足切りで不合格となりました。ある程度合格レベルに達していると考え、御社での通信講座環境で合格できると確信し、合格特典にも魅力を感じ受講しようと思ったのがきっかけとなります。

合格体験記・学習上の工夫

基本的には過去問を何度も解き、過去問テキストの答え部分に情報を集約させました。昔から自宅での勉強の習慣があまりなく、勉強する時は友人宅や予備校の食堂などで勉強していたので、今回は喫茶店や図書室等を利用しておりました。勉強場所の工夫は色々としておりましたが、勉強内容については、私のような凡人は問題を繰り返し、脳に定着させるのが基本となるので、忘れるのが当たり前と割り切り、過去問やテキストにあたっていました。過去問は今回(受験は2回目となります)の勉強期間で5周程度はしております。講義を2周できていない教科もあったので、2周できればよかったかなと感じております。自分の能力を過信せず、ただ過去問を繰り返す、テキストに戻り確認をする。テキスト確認時には確認部分と周辺の内容も確認する。これ以上でも以下でもないかと思いま

す。社労士の勉強内容は日常生活でも使える知識が豊富にあります。日常生活で人に説明することで知識の整理にも役立つことと思います。私も知人にたまたま出産手当金の話や傷病手当金の話をする機会があり知識の定着に繋がりましたので、日常生活で試験範囲の会話ができる機会があれば積極的に活用されると良いかと思います。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

その他の講義は他社でしか受講していないので、御社の講義の中で比べることはできないですが、他社と比べるとテキストのボリュームは異なっており、御社の方がボリュームが多いです。知識の基礎は他社で培っておりますが、知識の穴埋め理解度という意味では御社の講義を受講しそれぞれが意味している内容がより鮮明になったので、理解力、応用力は確実に身についたと考えております。

独立開業後にこのテキスト内容がどこまで利用価値があるかはわかりませんが、御社のテキストが活用できなければ、おそらく他社のテキストは使用できないものと考えます。それほど情報量が掲載されているテキストですので、多数回受験者は一見の価値ありと思います。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

直前の時期の講義ですので、私は1回の確認でした。社労士の試験は選択式の足切りが鬼門かと思うので、多数回受験者は比重が高いと思います。今、気付いたのですが、選択式については過去問は一度もしていません。一般市販品の選択式問題集と今回の講義、模試での選択式問題で対応しておりました。択一の知識が選択式の知識に反映されるので、それでも問題ないかと思いますが、今回不合格であれば、勉強方法を変更したかと思います。講義の感想ですが、ほとんど覚えていないというのが率直な感想となりますが、一極集中の講義を受講しているというだけで、知識の確認、整理、安心感に繋がっているのは間違いなく、直前期の受験生にとっては有難い講義かと思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

各科目横断で覚えれば、知識の定着に繋がる、よく理解できる、勉強時間の短縮に繋がる講座かと思います。直前期の時期にある講座なので、1回のみの受講となりましたが、いい時期に知識の整理ができたのを覚えております。過去問、テキストの繰り返し作業の中で少し角度を変えた講義を受講する事で、記憶にも残りやすい工夫されている講義かと思います。繰り返し受講するような講義内容ではないかと思いますが、受講することである意味気分転換にもなるかと思うので、直前期の受験生にとっては心強い講義にあたると思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正は毎年試験で問われる内容となるので、重要な位置付けにあたる講義かと思っております。メインの本講義で改正に対応している内容が多かったと感じておりますので、法改正対策講義は確認の内容という認識で受講しておりました。受講回数は1回だけだっ

たと思います。法改正のみに特化しているので、知識の整理に役立つのは勿論のこと、知識の定着にも繋がる講義であったと思っております。直前期の講義全てに共通することですが、直前期の特化講義までに、ある程度本講義の内容を理解、把握していないと新しく覚える内容が増えるという感覚になるのかもしれませんが。直前期の講義が知識の整理、確認という位置付けで受講できるようになれば、合格は目前に迫っているかと思います。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

直前期の講義かと思います。直前期の講義については他の感想で述べたように、私は知識の整理、確認という位置付けで受講しておりました。簡単な問題構成についての講義であったかと記憶しております。直前期に勉強が停滞することはよくあることかと思います。現時点での理解度、勉強の進捗によって直前期の講義の捉え方がそれぞれ異なると思いますが、何も特別な講義ではないので、勉強が停滞している人は気分転換という認識で受講してみても良いかと思います。講義の文字通り実力確認となっているので、テキストに掲載されていることを問題形式にして、知識の定着をはかった講義となっております。テキストを読み込むよりもはやく知識の定着がはかれるかと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書統計は受講していないかと思います。受講しても数分から数十分かと思います。試験では一般常識で問われますが、限りある勉強時間で勉強のウエイトについてある程度の割り切りは重要かと思っておりましたので、おそらく多数の方が選択されているであろう、捨問ぐらいの感覚で白書統計問題はとらえておりました。利用方法については、受講せず他の科目での勉強時間に費やすことを優先して今回は試験に臨んだ状況です。一般科目については択一式で足切りにならないことを目標に置いていたので、この考え方も試験攻略においては戦略の一つかと思っております。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験については、他社も含めて6回自宅で自由時間で受験しました。昨年に取得した模擬試験から更新せず、今年分は御社のみとなります。模擬試験は文字通り時間配分等も含めて本番を想定して臨むのが本来の用途かと思いますが、模擬試験で体現することは昨年でも今年もできていないのが現状となります。昨年受験したので、本番の雰囲気、時間配分、どの科目から問題を解くかは自分なりに決めておりました。私の場合は資格を何個か取得しておりますので、ある程度の経験があるが故に上記のように模擬試験を有効活用できていないですが、社労士が初資格、2個目の資格ぐらいなのであれば、可能であれば、会場で模擬試験を受講し、本番さながらの準備、問題対応するのが理想と思います。

令和6年

社会保険労務士試験合格

学習の習慣化に成功！講座活用のコツ

森川 喜文さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

社労士試験を目指した理由は、将来の生活や仕事に対する漠然とした不安があり、難易度の高い資格をとることで1つ人生の武器を得たいと思ったからです。また、身内に身体障害のある者がおり、社労士さんに障害年金の申請をしてもらった経験から自分も社労士の仕事に興味が湧き、目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

勉強1年目の時は別の予備校さんを利用して1年間勉強しましたが、試験本番では見た事もない論点が数多く問われ択一全体の合格点に届かず不合格となりました。そこで2年目は知らない論点を少しでも減らしたいと思い、テキストのカバー率が高く、平均合格率も高いアガルートに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

勉強する上では、テキストを読んで問題を解くというパターンを繰り返し勉強していました。仕事をしながらの勉強だったので、勉強時間の確保に苦労しました。仕事終わりで疲れて集中出来ないで、朝方に切り替えて出勤前の2時間を勉強に当てていました。苦手な年金科目は毎日毎日触れる事で苦手意識を克服することに繋がったと思います。

社労士試験では各科目に基準点があるので苦手科目は作れません。ただ得意科目は作って問題ないと思います。

自分は主に労働法は得意だったので、疲れた時やモチベーションが低下した時に労働法、朝の集中出来る時や体力がある日に複雑な社会保険法と分けて勉強もしていました。10科目の中で得意科目(自分はお褒美科目と呼んでました)があれば、苦手な年金科目をなんと

か2時間勉強できたら、その後に得意で好きな徴収法や安全衛生法をご褒美として1時間勉強する。みたいに科目ごとに切り替えることで休みの日は長時間勉強することが出来たと思っています。

通勤時間の往復約1時間は、YouTubeの目的条文を聞き流しすることが多かったです。合格した年はまさに選択式試験のとある科目で5点中3点が条文から出題されて、聞き流したおかげでなんとか条文の部分の3点を確保出来て基準点割れを回避できました。

勉強が辛く苦しい時はアガルトの公式YouTubeで、合格者インタビューや合格体験記を読み、自分の合格後の姿を想像してやる気を出していました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

1年目に他の予備校さんで10科目のある程度の基礎は固めてもらっていたので2年目は全科目をもっと広く、そして深く勉強したいと思いつつ中上級コースにしました。講義はスピーディーかつ深く教えていただきまして、テキストの知識のインプットも過去問などのアウトプットも満遍なく勉強することができたと思います。基礎の固め直しから応用問題、発展問題まで対応することが出来る力をアガルトで身につけることができたと思います。竹田講師が講義される中でテキストの内容の話だけではなく、ご自身がこれまでに働いてこられた経験や体験を講義の中で混ぜて話してくださることにより飽きることなく講義視聴ができました。テキストの中にはアドバンスマークや過去に試験で出題された部分にチェックがありしっかりと勉強すべき所、軽く目を通しておけば良いところなど判断ができました。分厚いテキストで、全部覚えることはかなり難しいのでインプットの際のメリハリになりました。テキストの中の重要ポイントや記憶のフックも暗記に大活躍でした。やる気がどうしても起きない時は、テキストの重要ポイントだけに絞って読むだけでも知識の忘却を防ぐことや理解に繋がると思いました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士試験の選択式試験は基準点があるため、1点がとても重いと身をもって実感しました。その1点で合格する人もいれば不合格になってしまう人もいます。

だからこそ1点を全力で取りに行くための選択式集中特訓講座は本当にありがたかったです。目的条文を理解してしっかりと覚える重要性から、判例問題が出題された時の前後の文脈から選択式を絞って答えを出す方法まで全部が選択式試験突破の為になっていたと、合格して改めて実感しました。また、選択式集中特訓講座のテキスト自体もかなり分厚く問題数が多いため、この1冊を信じて勉強を継続すれば選択式は大丈夫だという実感もありました。選択式試験は基準点割れが怖いので不安からつい色々な教材に手を出したくなりますが、この講座を信じることも大事だと思いました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士試験は科目が多く、届出の日数や専任人数など細かい数字も多いため、勉強すればするほど他の科目とこんがらがってしまうと思います。だからと言って、自分

で10科目のテキストを全部見比べて横断整理するには多大な時間と労力が必要なためアガルートで分かりやすくまとめていただいていた科目横断整理講座も社労士試験の合格には必要不可欠だと思いました。

科目横断整理講座は新しい知識のインプットという訳ではなく、今までインプットしてきた知識の再確認と整理が目的なので、長時間勉強して頭が疲れた時にも、軽く読むだけでも十分な復習になりました。夜寝る前に毎日10分間の勉強をするだけでも各科目の知識が整理されて全体の得点アップに繋がったと思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士試験は法律を主に勉強する試験なので法改正は避けることができません。独学の場合は自分で法改正の情報を調べなければならず莫大な時間と労力が必要になると思います。アガルートで専門の方々がここだけは押さえていて欲しい法改正をコンパクトにまとめてくださっているのが時間があまりない仕事をしている社会人にとってもおすすめです。また、法改正と聞くと難しい印象でしたがテキストも講義も分かりやすく解説されていました。勉強方法としては、自分は法改正だけの勉強を長時間することはできない性格だったので、スキマ時間や昼休み中の10分間など短時間でかつ毎日、目に入るように細分化して知識が定着するように工夫して勉強をしていました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

インプットを一通り終えたあとの過去問の反復学習は合格に不可欠だと今回の受験勉強で実感しました。答練と聞くとすごくハードルが高く難しいイメージだったのですが、過去問もかなりの量が記載されていて解説も丁寧に自分の得意とする部分、逆に弱点が明確に区別できました。自分にとっての社労士試験の問題は、文字数が多くて、集中して取り組まないと読み飛ばしてしまったり論点を把握出来ない事がよくありました。その為、過去問は勉強する時間帯を朝起きてから出勤までの時間と決めていました。一番頭が冴えている朝にアウトプットとして過去問をといて、仕事終わりの疲れている時はインプットとしてテキストを読むという習慣化がいつの間にかできていました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

多くの人が限られた時間の中で勉強をしている社労士試験において、現在の自分の立ち位置はすごく大切だと思います。実力確認答練は今の自分の実力や、科目ごとの苦手な分野を把握するためにすごく役に立ちました。10科目ある中で、苦手意識がどうしてもある科目でも、その科目の中を細かく見るとしっかりと理解している論点と、理解が曖昧な論点、細かい数字を暗記すればとれるが暗記できていない論点など様々だと思います。理解出来ている論点も沢山あるのにその科目自体に苦手意識を持ってしまうのはもったいないです。実力確認答練を通して自分の弱いところを明確にすることが出来て、今の実力と点数アップのために何をすべきか、答練の復習の中で気付くことができたと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書を個人で勉強しようとする、量も多く情報の正確な取捨選択が必要になるため自分には出来ないと思いました。

ただ、労一、社一では選択式・択一式どちらでも白書の内容が出題されることがあり、全く勉強しないで試験に挑むことは怖いのでアガルートでまとめている白書対策講座は重宝しました。白書対策は机に向かって丁寧にインプットするというよりは、寝る前に毎日、短時間でも良いので触れることを意識して勉強していました。白書対策は「今の世の中はこんな感じなんだな～」と軽く目を通す感じで勉強していました。意識していたことは、細かい数字まで覚えるのではなく、大雑把に広く浅く勉強することです。試験日までに3周ほどしたと記憶しています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

実際の試験時間は午前・午後を合わせてものすごく長丁場になります。自宅でそれだけの時間を席に着いて勉強するだけでもすごく疲労するのに、それが1年に1回しか無い本番で、かつ周りも受験生が多い空間で行うとなるとすごいプレッシャーです。

模擬試験は本番となるべく同じ時間帯で予習をしておきたくて、日曜日の午前中に選択式・午後には択一式を本番と同じ時間で計って勉強しました。試験時間内の時間配分やマークシートに塗る練習、見直しなど試験本番さながらの状態ですぐに1度経験したことが良かったと思います。

また、解いた結果点数が思ったよりもとれていなくても、ケアレスミスをしていても「練習の段階でミスしてラッキー」と思うようにして切り替えて模試の復習をしました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

試験中も試験後も全く出来た！という手応えがなくて、またあと1年か…と思っていましたが、帰って自己採点をするとう合格点が取れていました。未だに、なんとも不思議な試験だったなと思います。

社労士受験期間中は本当に苦しい時も辞めたいと思うことも多々ありましたが、諦めずに続けて本当に良かったと思います。講義動画だけでなく、竹田講師や池田講師のYouTubeの動画も勉強のモチベーション維持にすごく役に立ちました。

1年間サポートいただきましてありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

出題カバー率90%のテキストを信じ、合格まで完走！

黒木 伊織さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：8 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

ずっと夫の扶養の範囲内でパートの仕事をしていましたが、夫に何かあったときに家計を支えられるような身を立てるすべを得たいと思い立ち、資格試験の勉強をしようと考えました。

色々な国家資格がある中で年金や健康保険が生活に密着していて勉強するのが面白そうだったため、社労士試験を受けようと決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

家事の合間や自分の都合の良い時間帯に勉強したいと考えており社労士予備校に通うことは現実的でなかったため、通信講座を選びました。アガルートの他にもう一社、メジャーな通信講座の無料体験を申し込み比較しました。受講の決め手はアガルートのテキストの情報量の多さでした。

合格体験記・学習上の工夫

私が一度目に社労士試験を受験した昨年は、市販のテキストを購入し独学で約半年間勉強しました。昨年の本試験ではそのテキストに載っていない論点が複数出題されて解けず、悔しい思いをしました。本気で合格を目指すならテキストにこだわらなくては駄目だと痛感しました。

アガルートのテキストは出題カバー率90%を謳っておられるだけあって、勉強し始めは分厚いテキストに尻込みしましたが、これさえやっていれば他の教材に手を出さなくて良いという安心感がありました。

私が勉強する上で心がけていたことは2つありました。1つはどんなに疲れている日でも毎日必ずテキストを開き、一問でも過去問に触れることです。本試験までは長丁場なので、たとえ一日だけでも勉強しない日を作ってしまうと絶対に中だるみして「今日はもう勉強なくていいか」と自分を甘やかしてしまうと思ったからです。毎日継続すると決めて取り組みました。もう1つはしっかりと睡眠をとることです。脳は寝ている間に記憶を整理して定着させてくれますし、睡眠時間が短いと免疫力が低下して風邪をひきやすくなってしまいますからです。一度体調を崩すと何日も勉強できなくなってしまう恐れがあるので、体調管理には勉強を続けることと同じくらい気をつけていました。勉強も体調管理も最善を尽くすことで、「やれることはやった」という平常心をもって今年の本試験に臨むことができたと思います。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

中上級カリキュラムライトを受講しました。「ライト」となっていますが充実した内容で大変助かりました。

竹田先生の講義はスピーディなのにとっても分かりやすかったです。大事なところはしっかりと解説してくださいますし、出題頻度の少ないところはサクサク進めてくださり、学習にメリハリがありました。論点の重要なポイントや実際の試験ではどのように出題されるかなども教えてくださり、理解を深めつつ「合格するための学習」ができて非常に有意義だったと思います。

私が学習を進めていくに当たりまして、竹田先生の講義自体は全て一度だけ視聴し、自分が後で振り返ったときに思い出せるように先生が講義でおっしゃった内容をテキストに書き込みました。(ボールペンで書いてしまうと消せなくなりますしマーカーを引いてしまうと私はその部分しか見なくなってしまうそうだったので、鉛筆のみで書き込むことにこだわりました。)

一通り講義を視聴した後は、過去問を解いてはその都度テキストに立ち返るというワンセットを全科目ぐるぐる、直前期まで繰り返しました。

質問システム「KIKERUKUN」は残念ながら利用する機会がなかったのですが、いざとなったら不明点を質問できるというのも心強かったです。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理のテキストは、薄い冊子ながらよくまとめてくださっていて重宝しました。特に目的条文の比較ページはほぼ毎日眺めるようにしていました。アガルートのYouTubeチャンネルか月に一度のホームルームどちらか(うろ覚えですみません)で池田先生が「合格する受験生は目的条文を必ず押さえてくるので取りこぼさないようにしましょう」とおっしゃっていたので、アガルートのYouTube動画「元アナウンサーが読む目的条文聞き流し」も並行して毎日聞いていました。実際に今年の本試験の選択式社一で目的条文が出題されましたが、選択肢を見なくても埋められるくらい毎日見ておりましたので、全て得点することができてとても嬉しかったです。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

毎年数ある法改正を自分の力でピックアップすることはとても不可能なので、社労士試験を知り尽くしたプロの先生方がまとめてくださった法改正対策講座は非常に助かりました。

私には法改正事項の全てを完璧に覚えることは無理だったので情報を取捨選択する必要がありましたが、内容の重要度を★の数で表記してくださっていたので、残り時間が限られる直前期に優先順位をつけて学習することができて良かったです。

こちらも講義動画は一度だけ視聴し、テキストに補足事項を鉛筆で書き足して、すきま時間に見返すようにしていました。★3と★2表記の法改正事項にウェイトを置き繰り返し見るようにして、★1のものはサラッと流す程度に見ていました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書対策講座も一度だけ講義動画を視聴し、印象に残ったことをテキストに書き込みました。過去の出題実績を参考に、自分なりに「ここは出そうかな？」というページにふせんを貼り、おおまかな数字を見るようにしていました。

受験後に思い返してみると、自分にできることとして講座を受講することに加えて、厚生労働省のホームページにあるパンフレットやリーフレットの情報を積極的に覗いてみるようにすればよかったと思いました。パンフレットやリーフレットの情報は一般の方向けに分かりやすく載せられており、かつ重要な内容が多いからです。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、アガルートのものの他に社労士予備校2社に申し込み、トータル6回分を解きました。昨年独学で勉強していた時には模試は1社しか受けなかったのですが、ホームルームで池田先生が「模試は可能な限り受けてください」とおっしゃっていたので、模試の復習に割ける時間を考えて、無理のないスケジュールで受けられるものを可能な限り受けることにしました。

私は地方に住んでおり他社予備校様の試験会場まで足を運ぶ時間が惜しかったので、全て自宅受験をしました。

私が模試で選択式・択一式ともに合格圏内に達したのは1～2回しかなかったと記憶しています。全体順位を見ても落ち込むだけだったので、間違った箇所を復習することに重きを置いていました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

このたびアガルートのお陰様で合格することができました。心から感謝しております。たくさんの社労士予備校がありますが、最初からアガルートを選んで本当に良かったと思っています。

池田先生と竹田先生のホームルームも毎月楽しみにしておりました。他の受験生の方々の進捗を伺うことができてモチベーションが上がり、とても良かったです。

講師の先生が「テキストと過去問は車の両輪でどちらも大事。試験直前の最後の最後はテキスト」とおっしゃっていた言葉は本当にその通りでした。

ありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

定期カウンセリングが大正解！多忙な中、掴んだ合格

鈴木 理菜さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

理由は二つあります。

一つ目は、現在事業会社の管理部門に所属しておりますが、時短、育休などをとりながら専門的スキルを身につけ、子供を育てる上で、より有利な労働条件で働くにはどうすればいいのか考えた時に真っ先に思い浮かんだのが国家資格である社会保険労務士だったからです。

二つ目は、将来は日本以外の国で暮らしたい、と漠然と考えており、会社に頼らず手に職をつけたかったからです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

3回受験のうち、2回は某有名通信講座を受講していましたが択一の点数が伸びず、他の通信講座を探していた時に出会ったのがアガルートでした。決め手は圧倒的な合格率。それにしました。

また、アガルートのテキストはとても細かく、このテキストを押さえれば合格できるという口コミをみて、これだ、と思い受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

3回目の受験で、2人目の子供の育休中に合格することができました。1、2回目の受験では、他通信講座の教材で会社のお昼休みはテキスト片手にずっと自席で勉強、帰って子供の夕食の支度、寝かしつけをして一緒に20時に就寝、朝は3時に起きて毎日最低4時間は勉強しました。これを2年間続けていたのですがなかなか択一が伸びず合格には届き

ませんでした。

3回目の受験で今度は絶対合格したいと思い、圧倒的な合格率を公表しているアガルートを選びました。まず何がいけなかったのか分析してからスタートしたいと思い、定期カウンセリングを申し込んだのですが、それが大正解。先生からのアドバイスは目から鱗でした。

今までの私は過去問を中心に勉強をしていましたが、「テキストを何回も読むことが一番大事。過去問を100%解けるようになってでも合格はできない」と。それからはテキスト中心の勉強にシフト。毎月の定期カウンセリングで目標設定をし、いつまでにこの科目を何周読み込む、など決め、それ通りに実行していきました。

アガルートのテキストはカラフルでもなく、図解がふんだんにあるわけでもなく、ぱっと見とつきにくいですが、本当にこの一冊があれば合格できるというのが納得できる素晴らしい教材です。一文ずつ読んでいくと今まで点でしかなかった知識が線になって、細かい知識までどんどん覚えることができました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

社会保険労務士の試験では、とにかくたくさんの暗記が必要になります。しかし、科目数が多いため、次の科目に移ると以前やった科目の内容を忘れてしまいがちです。アガルートでは各科目において、各種制度が生まれた歴史的背景、なぜこのような仕組みになっているのかの解説があり、断片的な知識を「記憶」するのではなく、「理解」することで知識の定着がグンと上がるように感じました。私の場合、テキストを読んでその単元の問題集を解く、この作業をテキストと問題集を共に5周しました。講義は、とにかく時間がなかったので全て1.5倍速で聴き、先生の解説でさらに理解を深めました。学習計画については、一番初めに試験当日までに何周するかを目標をたて、逆算してスケジュールに落とし込んでいきました。具体的には、テキストは徐々に届きますが、次のテキストが来るまで1周はすることを目標にし、テキストが全部揃った時点で4つのグループに科目をわけ、毎日満遍なく勉強をしました。人間の記憶は、時間を置くほど低下してしまう為、この方法をとることで忘却を防ぎました。息抜きについては、土日は子供との時間を確保したかった為、勉強は早朝の3時から7時までの4時間のみと決め、他の時間を子供と外に出かけたりしてリフレッシュしました。勉強しない時間を作ることで、無理なく勉強することができたと思います。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式集中特訓講座は、直前にこの講座が設けられていることがとても良かったです。社会保険労務士の試験範囲は非常に広く、しかも細かい。選択式問題は基礎的な知識が比較的出題されやすいのですが、細かい知識を詰め込んでいると、直前に意外と基礎知識が抜けてしまっている場合が多いです。そのため、基礎知識で抜けているところはないか、総復習の意味でこの講座を利用しました。また、似たような制度でも数字が少しずつ違ったり、基礎的だけれど引っかけやすい部分が網羅されており、知識の整理もすることが

できました。選択式問題の足切りは合否を分けると言っても過言ではないため、選択式集中講座を受講してとても良かったと思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社労士試験は科目が多い為、例えば同じ「使用者」でも科目ごとにその意味が違います。直前期では、たくさんの知識を覚えるため、とにかく知識が混乱しがちです。その時に科目横断整理が役に立ちました。表で比較がされていたり、なぜ同じ文言でも違う意味なのか解説があったりして、科目ごとの知識が他の教科と比較することで、横のつながりが見え、知識の定着に繋がりました。また、択一では、各科目の第一条がたまに出題されることがあるのですが、それもまとめて掲載されており、試験2週間前くらいから条文を徹底的に暗記しました。似たような条文が多い中で、なぜこの法律にはこの文言なのかも講義で解説してくれていたおかげで完璧に覚えることができました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士試験の法改正事項は、毎年試験で狙われやすいため、法改正対策講座で一気に学習することができてとても便利でした。私の場合、まずは講義を受けて、追加ポイントや出題されやすい部分についてテキストに書き込みました。テキストは何度も読んでいますが、それでも見落としている点はあったのでこの講座で改正ポイントの再確認を行いました。ほとんどはテキストに既に法改正事項として記載されておりましたが、直前の改正はこの対策講座で網羅されており圧倒的なカバー力でありがたいなと思いました。試験1週間前には法改正対策講座のテキストをざっと一周読み直しました。そのおかげで法改正については迷いなく試験で解答することができました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

私の場合、時間が足りなかったことに加えて、過去問は別の問題集で網羅されているため使用しませんでした。(定期カウンセリングを申し込んでいた為、時間が無い旨を先生に相談したところその方向性にしました。)その代わりに過去問問題集は間違った部分についてはチェックをつけ完全に解けるようになるまで何度もやり直しました。社労士試験はとにかく時間が無いので、時間がある方は、模試のように時間を計って使用するのにも有効かと思います。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

模試と同様に時間を計って行いました。アガルトの模試よりもやや基礎的な問題も多かったので、記憶の整理用として重宝しました。また、実力確認答練の解説では条項が記載されているので、間違ったところは条文とその周辺の条文を読み直し、さらにテキストを読み込みました。社労士試験は、一点で泣く試験だと思っているので、基礎的な問題は絶対に落とせません。最終的に実力確認答練は2周行いました。

過去問を何度もやることは大事ですが、新しい見たこともない問題を解くことが本番の試験対策にはとても有効だと思います。(試験には出たことはないが、今後論点にされや

すいポイントを網羅出来るので)その点で、直前期に模試やオリジナル問題集以外に新しい問題が載っている実力確認答練はとても良かったです。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書は膨大な量で、自力で対策をするのは不可能に近いと思います。直前期にはとにかく時間がなく、白書対策講義をうけた後、自分でテキストをざっと一周読みました。(試験当日の朝の電車の中でやっと読み終わりました)

講義で「たくさん数字が出てくるので、イメージを掴むことが大事。イメージをテキストに書き込んでおくと記憶しやすい」とおっしゃっていたので、講義の際、数字の脇に〇〇の数字の約〇倍などと書き込んでいきました。それがよかったのか、当日の労一の択一問題で、数字の問題が出た時に迷いなく正解に辿り着くことができました。労一の択一は足切りの点数ギリギリだったので、先生のおっしゃるやり方をしたおかげで合格することができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

子供がいる為、模試の時間を一括して取ることができなかったのも、科目ごとに分割して2、3日かけて模擬試験を受けました。本番の試験まで一括して試験を行う時間はありませんでした。本番で集中力が切れることはありませんでした。一番大事なものは、各科目ごとに時間を計りペースを掴むこと、模擬試験後の復習だと思います。間違えたところはテキストに書き込んで、出題箇所のテキストを読み込みました。そして間違えた部分だけ、1ヶ月後にまた解き直しを行いました。また、アガルートの模試以外には外部の模試を3回受けました。それもアガルートの模擬試験同様、復習、解き直しをし、試験直前1ヶ月前程に全ての模試を一気に解き直しました。

定期カウンセリングオプションの受講有無

あり

定期カウンセリングのご感想・ご利用方法

私の場合、アガルートで一番よかったのは、定期カウンセリングでした。1、2回と試験に落ち続けていたので、今度こそ受かりたいと思った時に学習方法で迷いがある方にはおすすめです。初回のカウンセリングで、今までの私の学習の何がいけなかったのかを先生が徹底的に分析してくれたお陰で、合格することができたと言っても過言ではないくらいです。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

アガルートのテキストは細かいです。

基礎を押さえれば社労士試験は合格できる、などのネット情報もありますが、私はそう思いません。近年は選択式問題が難化傾向で基礎知識のみでは戦えないと思います。今年度の選択式問題は特に健康保険が難化したと言われていますが、アガルートのテキストで

見たことあるなという問題が多く、10点中7点を確保することができました。今回合格できたのは、アガルートに出会えたおかげです。本当にありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

弱点の補強と知識の整理で、着実に実力がつく

高根 緑さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

「社会保険労務士」という職業の存在については、父が開業社労士であったため、幼い頃から知ってはいましたが、その具体的な業務内容についてはよく知らず、特に興味も持たないまま大学を出て、一旦は全く無関係の業界で就職をしました。

しかし、いざ自分が社会の一員として、企業に所属して働き、お金を稼いで保険料や年金を支払い…という一連の行為を行なってみると、それまで漠然としていた父の仕事が、グッと身近に感じられるようになりました。特に、煩雑な手続の処理や就業規則の作成など、使用者側のバックアップが主業務であるという点で、労災事故や手続漏れにより労働者が受ける不利益を未然に防ぐことができるということにも魅力を感じました。

新卒で勤めていた会社での業務も順調ではありましたが、そのまま安定的に過ごすよりも「何か大きなことに挑戦したい」「専門的な知識を活かし、社会に貢献したい」という思いも芽生えてきており、社労士試験の受験を決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

わたしの場合は3回目の受験で合格できたのですが、1回目と2回目については独学で勉強していました。2回目の不合格は選択式での足切り点に届かなかったという惜しい結果ではあったものの、次こそ絶対に合格しなければという強い思いと、闇雲な独学に限界を感じたため予備校探しを始めました。すでに2年間勉強してきた実績があったため、学習経験者向けのコースがあったこと、演習問題によるアウトプットが充実していたこと、そして何よりも「合格すれば受講料返金」という特典に魅力を感じ、アガルートを選びました。

合格体験記・学習上の工夫

「動画講義の視聴→演習問題」のサイクルを本番直前までひたすら何周も繰り返しました。苦手な科目や、分かりにくいと感じた部分については重点的に講義を聞き直し、テキストには注意事項などのメモを毎度新しく書き入れ、とにかく記憶に焼き付けるイメージで勉強しました。演習問題に取り組む際は、間違えた箇所についてはテキストを読み直し、何をどう間違えたのか、正答とその理由とを自ら説明できるようにしました。

テキストと問題集はデータ版と紙版を併用し、データ版はスマホやタブレットで外出先でも隙あらば開いて読み込み、紙版については重要な用語を一度塗りつぶして再度書き入れるなどして、選択式対策に役立てました。また、苦手な部分については演習問題を参考にしたオリジナルの問題を作成して解いてみたりもしました。

試験日間近となると、講義を倍速視聴すること等によって、インプット→アウトプットの周回数を増やすことにより、一つの科目に重点的に取り組むというよりは全体的な知識の定着を意識しました。社労士試験においては、1科目でも最低点を下回ってしまうと不合格になってしまうからです。一つの苦手分野に手をかけすぎることにより他の部分が疎かになる、ということの無いように気をつけました。また、過去問や模擬試験など、本番形式の問題を本番と同じ時間配分で解くということを毎日行うことによって、本番に向けて頭と体を慣らしていきました。日頃から負荷の高いトレーニングを行うことで、本番にも気持ちに余裕を持って臨むことができました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

講義の中では、テキストに書いてある内容に関し、なぜそうなのかといった理屈の説明や、他の科目と関連付けた解説も行われており、独学では闇雲に暗記するしかなかった部分について、しっかりとした知識が入っていく感覚がありました。例えば、「罰則規定については労働者に課されるものより使用者に課されるものの方が重い＝労働者に優しい、使用者に厳しい」「毎月保険料を納める必要のある社会保険の方が労働保険よりも手続きが煩雑」といったような、大まかな特徴やイメージを捉えることができました。それにより、演習問題を解く際にも答えだけを覚えることにより、きちんと考えて答えを導き出すことができ、出題パターンが変わっても正答率が上がっていきました。そのためには繰り返し動画講義を視聴したことが有効であったように感じられます。

テキストについては、一見すると各科目ともかなり厚みがありボリュームがありますが、図解や条文の一覧など勉強の上で役立つ造りになっており、非常に使いやすいものでした。特に図について言えば、わたしの場合は雇用保険の各種給付の種類・名称がなかなか覚えられずにいたため、これを樹形図にしたものを記憶がややふやになる度に何度も見返すことにより大変重宝しました。巻末の条文についても、社労士試験の勉強においては条文上の書きぶりと実務上の扱いとで異なるという落とし穴も多いため、辞書代わりのように活用できました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

過去二回の受験では選択式の足切りに関わかってしまっていたため、この講座は非常に役に立ちました。択一式では消去法などでも攻略できるのに対し、選択式では問題の難易度こそ低めではあるものの、条文の細かい文言まで一言一句間違えずに覚えているか問われるような問題もあります。特に目的条文の文言については、雇用保険法の条文等でよく見る「職業の安定」と「就職の安定」など、似ているけれど違う文言によるミスリードに苦しめられることが多かったため、これを本番のように穴埋め形式で繰り返し確認することで記憶に定着させることができました。各種給付額などの細かい数字についても、テキストに図で整理されていたため、それをそのまま頭の中に貼り付けるようなイメージで覚え込みました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

一つの科目に集中しすぎてしまい他の科目の知識や記憶が弱まってしまうのが自分の弱点であったため、この講座ではそれを補うことができました。この講座を受講したことで、横断的に考える癖が身につく、例えば一つの科目のテキストを読んだり、問題を解いたりしているときでも、「他の法律ではどうだったっけ」と思い出し、分からなければすぐに科目横断整理講座のテキストを開いて確認するようにしていました。また、こちらも科目間の比較が図により分かりやすく整理されていたため、試験本番の会場内で直前の確認をするのにも大変役立ちました。特に内容量のボリュームが多い罰則規定の部分では、「まず各法律で最重のものを覚える」というコツを教えていただいたり、「人の身体などを直接傷つけるような行為については罰が重め」というような、全科目に共通するイメージを掴めたことで、問題を解いてみても正答率が上がりました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正と白書については自分だけで調べるのには限界があるため、試験に出やすい箇所絞って要点を整理することができ、効率よく学習できました。法改正については何がどう変わったかというばかりでなく、経緯や背景なども併せて解説されていたため、基礎的な知識の定着にもより役立てることができました。また、法律の改正は社会状況の変化を反映しているものであるため、それを踏まえて出題側がどういうことを問うてくるかということ予測するのにも効果的でした。特に一般常識については膨大な内容の中から何が出題されるか分からないという不安が常にあったため、様々な出題パターンを予測しながら勉強することでその軽減に繋がったと感じています。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問のやりこみは独学時代から行なっていたのですが、市販のテキストでは解説文に不十分なところがあったりして、いまいち消化不良になっていることがありました。アガルトの答練の解説文は納得できるようしっかりと書かれており、総合講義のテキストとも併用することで間違えた箇所を適切に復習することができました。ただ答えだけを覚え

だけでなく、解説とセットで理解しながら繰り返し解くことで、満点またはそれに近い点数を取ることができるようになり、大きな自信に繋がりました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

本番形式で問題が作成されているのはもちろん、難易度についても基礎的知識を問うものから、いわゆる「ひっかけ問題」や記憶の穴をついてくるようなものもあり、演習問題として大変有効活用させていただきました。一通り講義を聞き終わり、知識に自信がついたところに1回目の演習をしたときは思ったよりも点数が取れず焦りました。しかしそこで自分の知識のあやふやであった部分に気づくことができ、そういう弱点を潰していくことが効果的であったように感じます。また、講義動画ではイラストや語呂合わせを多用して解説をしていただき、自分はあまり語呂合わせは用いなかったのですが、「そういう覚え方もあるんだな」と面白く思いながら学習することができました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書対策については、要点を絞ってあるとはいえやはり内容量が膨大であり、受講した時期も本番直前であったことから、なかなかしっかりと取り組むことはできませんでした。しかしここでも「女性と高齢者の社会進出が進んでいる」とか、「コロナウイルスが収束し外国人労働者数も回復している」というようなイメージを押さえることで試験対策に繋げることができました。しかし間違ったイメージや先入観に頼りすぎると誤答にも繋がるため、ある程度の暗記は必要になりますが、テキストも図やグラフが多用されており、暗記のため読み込むのにも苦ではない設計になっていました。そして何よりも、白書や統計資料の読み込みは試験対策だけでなく実務に役に立つものであるように感じました。業種別の労働時間や賃金の実態など、初めて知る内容も多く、講義を聞いたりしている中では最も興味を持っていた部分だと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験があったことは、アガルートを選んだ理由の一つです。他社の模擬試験も受けてはいたのですが、そちらと比較すると問題の難易度は高めであるような印象を受けました。最初に解いたときは思った以上に点数が取れませんでしたでしたが、そこで危機感を持って最後の追い込みに力を入れることができたことで合格に繋がったように感じています。実力確認答練と同じく、こちらもトリッキーな内容の出題がされており、本番の出題予想に役立ちました。本番直前は、とにかく模擬試験と過去問を解きまくることで知識の穴埋めをすること、様々な出題パターンに慣れることにより「どこに球が飛んできても受け取れる」という状態に持っていくことに尽力しました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

どの講師の先生方も素晴らしかったのですが、皆さん共通して、ご自身が受験生であったときや、社労士として実務に携わった経験などをお話されており、とても身近に感じられ、モチベーションの向上にも繋がりました。お陰さまで無事合格でき、とにかく今は喜

びと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

本試験はアガルートの模試より簡単に感じられた

石川 彩香さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

勤務先で給与計算や労務を担当しており、仕事に役に立つ資格を取りたいと思ったことがきっかけでした。会社の先輩の中に社労士の資格を持っている方がおり、社労士という資格があることを知りました。仕事をしていく上でも役立つと思い、社労士試験を目指すことにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

テキストの情報量が多く仕事にも役立ちそうなことや、デジタルブックで検索機能を使うことができる場所がいいなと思い受講しようと思いました。また、合格特典があることで、勉強を続けるモチベーションにもなるなと思いました。

合格体験記・学習上の工夫

令和5年度の社労士試験を独学で勉強しましたが、全体的に点数が届かず独学のままで合格は難しいことを感じ、令和6年度はアガルートの教材を使用し11月から勉強を始めることにしました。勉強を開始した時点で2～3科目のテキストが同時に届いたため、テキストの多さに「この量のテキストを消化できるのだろうか」と最初は少し不安に思ったことを覚えています。

勉強を始めてみると、たしかにテキストの情報量は多かったですが、今まで独学で暗記していたところを論理的に理解してインプットできるため、テキストの量の多さは気にならなくなっていました。自分には、アガルートの勉強方法があっているのだなと感じ、試験まで勉強を続けることができました。

私が行った学習上の工夫としては、問題集を繰り返し繰り返し解くことを意識して勉強しました。試験までには、過去問集を4回程度、テキスト読みを3回程度行ないました。繰り返し同じ問題を解いたり、読んだりすることで、自分が理解できていない部分を把握することができ、他の科目とのつながりや違いを意識して勉強できたことが良かったのだと思います。

また、移動中の隙間時間や机に向かわないタイミングでも、気軽に動画を視聴して勉強時間を確保することができたことも合格につながったのだと思います。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

講義が10～30分程度ごとで分けられていることで気軽に視聴することができたことで、ストレスを感じることなく、勉強を継続していくことができました。講義を終えるごとに問題集を解くことで、講義の内容を理解できたかを問題で確認し、より理解を深められたと思います。また、デジタルブックの検索機能を使用することで、同じような内容が他の科目でもなかったか検索確認できたことも勉強を続けるうえでとても役に立ちました。気になったときに簡単に検索できることで、隙間時間にも勉強をすることができました。途中から紙のテキストで該当箇所を探す時間をもったいないと感じるようになったため、デジタルブックで該当箇所を検索し、自分のメモが書いてある紙のテキストを確認するようにしました。また、検索したときは、検索箇所だけでなく、周囲の数ページも一緒に読むようにしていました。そうすることで、知識が足りていないところをより補えたように思います。

5月以降からは、過去問題集を繰り返し解くことで、自分の足りない部分を把握し、テキストの読み込みを繰り返すようにして基礎を固めるようにしました。そのルーティンのおかげで、試験のときは、落ち着いて試験に臨むことができたように思います。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式集中特訓講座については、講義も問題集も取り組むことができませんでした。時間に余裕がなく、選択式対策よりも他の講義や問題集を解く時間を作っていました。結果的には、選択式集中特訓講座を受講せずに合格することはできましたが、講座や問題集に取り組めていたらもっと楽に試験に合格できたのではないかなと思っています。私は選択劣一で2点をとってしまっており、試験後になぜ選択式をもっと勉強しなかったのかと、かなり後悔していました。試験後に選択式の問題集を開いてみると、劣一以外の科目でも、実際に私が解けなかったところが記載してあったこともあり、もっと時間に余裕があれば、選択式対策に時間を割いていたと思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

試験の直前期に講座を一度聞き、試験会場には科目横断整理講座のテキストを持参しました。

講座では、科目で似通った内容が簡潔に整理されており、こちらの講座を視聴すること

で、今までこんがらがっていた内容を整理することができました。

また、試験会場に何のテキストを持っていか直前まで悩んでいたのですが、試験会場で細かい内容のテキストを持って行ったとしても、確認できる時間が足りず焦ってしまうかなと思い、科目横断テキストを持っていくことにしました。実際、テキストの内容はすっきりとまとまっているため、試験の休憩時間で数回見直しをすることができました。そのおかげで落ち着いて試験に臨むことができたのではないかとと思っています。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座は、一度視聴しました。

労務に関わる仕事をしているため、仕事で扱う法改正については大方把握しているつもりでしたが、仕事では扱わない部分がかなり多く、改めて法改正の内容を知ることができました。

また、直前期の7月頃に法改正対策講座を受けたため、自分の中で全科目を通じて基礎知識は把握しているつもりでいましたが、頭に残っていなかった部分を発見でき、併せて確認することができました。法改正対策講座を視聴してよかったと思いました。法改正対策講座を受講するまでは、時間がなかったら他の講義（白書等）も飛ばしてしまおうと思っていたのですが、できるだけ広い範囲を直前に触ることの大切さに気付くことができました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練は、2回程度問題を解きました。

各科目の過去問題集を解いていたこともあり、問題を見ればほぼ解答がわかるような状態で答練に取り組んだつもりでしたが、実際に試験の形式での問題を解いてみると、想像以上に解けないことに気が付きました。

そのため、直前期では、各科目の過去問題集ではなく、過去問マスター答練で実際の試験をする気持ちで問題集を解くようにしていました。実際に試験では、答練をしていたおかげもあり、集中力を切らさず最後まで試験を終えることができました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練は2回程度問題を解きました。

過去問題集とは違い、今まで解いていない問題ということもあり、自分の中で整理できていない知識や理解できていなかった部分を知ることができました。私は実力確認答練を、1度目は解答を見ずに解き、2回目は解答と問題を交互に読む形にして時間を短縮するようにしました。実力確認答練に取り組んだ時期が7月末から8月にかけてだったため、少しでも多くの問題を繰り返し解いたほうが、試験につながると感じたためです。間違えた問題の内容はテキストで確認することを意識し、答練だけで終わらせるのではなく、その周辺の情報も一緒に確認する形で勉強をしていました。答練とテキストを一緒に確認することで、一つの知識だけでなくまとめて確認することができたため、やってよかった勉強

法だと思っています。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

講義を一度視聴し、テキストは利用しませんでした。

白書対策については、講座を視聴したのが7月末頃ということもあり、私は時間をあまり割くことができませんでした。せめて一度は講義を聞いておこうという気持ちで講義を視聴しました。講義を視聴したことで、範囲の広さを改めて感じ、もっと前から対策をしておけばよかったと、少し後悔のような気持ちがありました。そのため試験前、もし私にもう少し時間に余裕があれば、白書対策に取り組んでいたと思います。

実際に、試験では選択劣一が2点となってしまいました。講座やテキストで白書対策ができていれば、実際の試験の点数をもう少し積み上げることができたのではないかなと思っています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

6月頃に模擬試験を受けました。結果は、選択式・択一式のどちらも基準点割れや総得点も全く合格点に届かないような点数を取ってしまい、このまま受験をしても合格できないだろうと感じました。

模擬試験を受けて、基礎的な知識が抜けていた部分があることを実感したため、6月下旬から過去問題集の解きなおしとテキスト読みを繰り返すように心がけました。各科目の過去問題集を解き終わったら、模擬試験の内容を再度確認する作業をし、受験までに3回程度解説を読み直しました。

私は、他の教材での模擬試験を受けていないため、アガルートの模擬試験のみを受けて試験に臨みましたが、実際の試験はアガルートの模試の内容より簡単に感じ落ち着いて試験に臨むことができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

テキストの内容が細かいところまで記載されており、仕事でも知識として役に立つ場面がありました。ありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

最後までコツコツと積み上げることが大事

日原 潤一さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私は国家公務員として労働行政に携わっています。労働行政のプロとして専門性を高めたいという思いがあります。また、公務員退職後は組織から離れて仕事をしたいと考えており、そのために資格の取得が必要と感じていたため、社労士試験の勉強に取り組むことにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

「出題カバー率」です。昨年（R 5）の試験は独学（5 ヶ月）で臨みました。択一が1点足りずに不合格。非常に悔しい思いをし、「絶対に来年は合格する。」と心に誓いました。

もう1年独学で勉強することも考えましたが、少しでも合格の確率を高めるために通信講座を利用することにし、いくつかの予備校を検討しました。

とにかく満点を目指す勢いで徹底的に勉強しようと考えていたので、「出題カバー率90%以上」で網羅性が高そうなアガルートを選びました。

合格体験記・学習上の工夫

昨年は、市販の過去問と問題集を中心に勉強をしていました。試験前から薄々気づいていたのですが、テキストの読み込みが不十分だったために、問題の正解肢となっている部分以外の知識などがきちんと身につけていませんでした。

この反省を踏まえ、今回はテキストをきちんと読み込むことを重視しました。具体的には、チャプターごとに、①総合講義を受講する（先生の補足説明などをメモしながら）、②受講した部分のテキストを読む、③過去問集・中上級オリジナル問題集を解く

全科目終了したら、また最初からチャプターごとに、①総合講義を再度受講、②受講した部分のテキストを読む

これも全科目終了したら、更に科目ごとにテキスト読みと過去問集・中上級オリジナル問題集を並行して行っていました。

最終的には、テキストは全科目6周、過去問集・中上級オリジナル問題集は3周しました。労一・社一は選択式の足切りが心配だったのでテキストを+3周しました。これによって、偏ることなく満遍なく実力をつけることができましたと思います。

公務員としてフルタイム勤務しながらでしたが、10月中旬に勉強開始以降は、朝1時間、昼休み30分、夜2時間を最低ノルマとして最後まで継続して勉強に取り組むことができました。やはりコツコツと積み上げることが大事だと感じました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

<テキストについて>

もともと「分厚いテキスト」を望んでアガルートを選んだのですが、科目ごとに300～400ページにも及ぶテキストが10冊も届いた時には「こんなにあるの…」と憂鬱になってしまいました。ですが、読んでみると、背景や経緯、関連する判例、コラムなど興味を持って読むことができる部分も多く、繰り返し読み込むことがそれほど苦ではありませんでした。必要な知識だけがコンパクトに整理されたテキストも良いと思いますが、暗記が苦手な私にはアガルートのテキストが合っていたように思います。

<講義について>

講義は適度にチャプターで区切られていました。長すぎると集中力が低下してきてしまうのですが、低下する前に区切ってもらえる感じで、集中して取り組むことができました。1回目はメモを取りながら丁寧に受講し、2回目は時間節約のために倍速で、理解しきれない部分は戻って通常の速度に落として聞き直したりしながら受講しました。

竹田先生は、制度の内容だけでなく、背景や経緯、記憶の定着につながる補足情報なども丁寧に説明されていました。おかげで、理解が深まり、重要な知識を定着させることができました。また、記憶を引っ張り出す手がかりのようなものも多くいただいた気がします。独学でなく講座を受講するメリットの大きさを感じました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式の足切りが不安だったので、重要な講座だと考えていました。最初に選択式のコツのようなお話しがあり参考になりました。例えば、紛らわしい誤りの選択肢に引っ張られないように、まずは選択肢を見ないで考えたほうが良いと言うようなお話しがあったので、実際に取り入れました。

問題集はオリジナルの問題で構成されていて、繰り返し解くことで確実に力がつくと思います。ですが、私は、選択肢なしで空欄（多い問題では10カ所以上）を埋める問題が多く、2周目の途中で挫折しました…。結果的に足切りは回避できましたが、根気強く取り

組んでいたら、もっと点数がとれたのかも知れません…。目的条文が整理されたページはチェックペンで活用し、暗記に役立てました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

「支給制限」や「審査請求」「遅延利息」など科目ごとに微妙に違う制度を整理することに役立ちました。

テキストは、問題を解いていて間違ったときの確認もしやすく使い勝手が良かったです。

講義では、微妙に違う部分を「なぜそうなっているのか」の理屈をつけて説明していただいていました。理屈が分からないことを暗記するのは難しいですが、説明していただいた理屈とセットにすることで記憶しやすかった部分が多々あります。また、テキストで扱われていなかったけど横断的に整理したかったこと（法律ごとの財源の割合（国庫負担、地方負担、保険料）など）は、テキストの最後の余白のページに手書きで整理しました。

テキストは本番当日に会場に持ち込んで、直前まで確認していました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

改正点ごとに簡潔に整理されていて、重要度が1～3でランク付けされていました。細かい改正も多く全てを完璧に頭に入れることは難しかったですが、★の数によってメリハリをつけて勉強することができたと思います。改正点は、できるだけ総合講義のテキストの関連する部分にメモしていきました。

すでに総合講義で説明していただいていた内容も多かったですが、改正点は重要なので、重要ポイントとして復習することにもなり、記憶の定着につながりました。テキストは直前期の復習もしやすく使い勝手が良かったです。試験前日には、★3つのものに再度目をとおして最終確認しました。実際にテキストに記載されていた改正点からの出題もあったと思います。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練の問題集は、一問一答方式ではなく実際の試験問題と同じ形式になっていました。本番の試験は、選択式は時間に余裕がありますが、択一式は210分で70問を解く必要があり、ペース配分も重要になってきます。

本番では、マークミスのチェックや、もう少し時間をかけて考えたい問題のために、180分までで一旦一通り終わらせてしまいたいと考えていました。そのためのペース配分を意識するトレーニングにもなったと思います。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練の問題は、過去問ではないオリジナルの問題で構成されていました。過去問と模試だけでは不安だったのでオリジナルの問題がありがたかったです。

解説講義では、独特のタッチで描かれたイラストで語呂合わせが紹介されていました。紹介された語呂合わせを採用することはなかったですが、ちょっとした息抜きになっていた気がします。

私は、暗記が必要なものは、語呂合わせではなく、意味のない文字の羅列を呪文のように頭の中で繰り返し唱え続けることで暗記していました。例えば、職長教育が必要な業種は「ケセデガジキ」(建設、製造、電気、ガス、自動車整備、機械修理)のような感じです。他人が考えた語呂合わせは覚えにくく、自分で意味のある語呂合わせを考える時間ももたないと思って、たどり着いた記憶法です。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書・統計については、講座は受講しましたが、あまり勉強に時間は使いませんでした。

特に、統計はいくら勉強をしたところで確実に得点できる気が全くしなかったので、統計対策に時間を使うくらいなら、労一・社一の頻出の法令をしっかりと勉強することに時間を使うべきと考えていました。

講義を1回受講したあとは、テキストにさらっと目をとおす程度で深入りしませんでした。講義でお話いただいたことが記憶に残った部分はいくつかあったので、そこがピンポイントで出題されていたら得点につながったと思います。

また、過去問はやりませんでした。古いデータが印象に残ってしまうのが良くないと思ったからです。そのかわりに模試で出たものだけはしっかり覚えるようにしました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験のみ、他の予備校も利用し、アガルートの1回も含め5回実施しました。全て自宅で実施しましたが、時間は本番と同じ時間にスタートして正確に時間を計って行いました。

5回のうち、択一式はアガルートの1回が最低点で、例年の基準点を少し上回るくらいでした。模試の難易度は予備校によって差があるようですが、アガルートは私が利用した他の予備校よりは、やや高めかなと感じました。

解説講義では、自分が間違えた問題を「基本的な知識かと思います。」とコメントされていて焦ったりもしましたが、重要ポイントの確認などに役立ったと思います。

最後に受けた模試がアガルートで、結果がイマイチだったので、ラストスパートに向けて改めて気が引き締まりました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

科目横断整理講座は合格のためには必須

吉安 正太さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：10 か月

社会保険労務士試験の受験回数：4 回目

社労士試験を目指した理由・契機

5年ほど前、何か資格を取得したいと思い立ち、資格を紹介する本を見て挑戦する資格を検討しました。元々、法学部出身ということもあり法律系資格に興味があったので、社会保険労務士に取り組むことにしました。その時は、別の予備校の通信講座を受講して受験をしましたが、軽い気持ちで取り組んでいたため、2回受験しましたが残念ながら不合格でした。その後、会社内で異動があったことをきっかけに、気持ち新たにあらためて挑戦することになりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

過去2回受験した後、数年のブランクを経て再度挑戦することを決めた際、まずは以前使用していた予備校の通信講座に申し込むことにしました。この通信講座はポイントが絞ってあり学習しやすいタイプでしたが、結果的に合格できませんでした。4回目の受験にあたり、絶対に合格するためには予備校含めて見直す必要を感じ、テキストの情報量が多く、カバー範囲の広いアグルートの講座を受講することになりました。

合格体験記・学習上の工夫

過去何度か受験を経験していたものの、合格のために本当に必要な要素が何なのかをあらためて検討しました。当たり前のことですが、社労士試験は各科目に足切りがあり、とりわけ選択式において3点を死守することの重要性を意識し、正確な用語・表現を覚えることに注力することになりました。これを実現するには、やはりテキストを読み込むことが最も大切だと感じ、テキストを毎日少しずつ読み進めました。テキストへのマーカーの引き方は人それぞれだと思いますが、私の場合は、気になったところはためらいなくマーカー

を引き、それにより自分の学習が確実に進んでいることを確認することができ、安心感に繋がりました。テキストの通読は1回しかしていませんが、かなり丁寧に読み込みました。その後はひたすら過去問集・中上級オリジナル問題集でアウトプットを行い、そこでテキストに立ち返り、通読した時とは違う色のマーカーを使用し、学習の進捗がテキスト上で見えるようにしました。択一式については、過去問・問題集でアウトプットに取り組むことできつと乗り越えられるという自信があったので、とにかく選択式を優先しました。

4回目の受験に向けた約10か月は、これまでの受験とは異なる覚悟を持ち、絶対に合格を勝ち取るという強い決意で取り組みました。通勤中・仕事終わりなど、たとえ短時間であっても極力毎日学習に取り組みました。週末も可能な限り学習を優先しました。妻・子どもには、そのような生活スタイルを理解してもらい、協力してもらったことに感謝しています。家族に合格を伝えられたこと、そして週末に家族と過ごす時間が増えたことが最大の喜びです。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

アガルートを選択したきっかけが、テキストの情報量が多く、カバー範囲が広いことでした。実際にテキストを読み進めるにつれて、それを強く実感しました。以前受講した通信講座には全く触れられていないことが丁寧に記載されており、理解を深めることにとっても役立ちました。単純に、他の受験生がケアできていない可能性のある情報に触れることによる安心感、自信も得られました。また、労働科目については、判例も充実していたことや、巻末に法令が掲載されていたことも非常に有益でした。社会保険科目は、そもそも理解が難しい面もあるなか、ここもかなりの情報量があったため苦労しましたが、最終的には合格のために必要な情報であったと感じています。過去3回受験し、表面的な理解ではこの試験を乗り越えられなかったので、あらためてアガルートの強みだと感じています。過去問集・中上級オリジナル問題集についても、オーソドックスな問題から難易度が高いと感じる問題までバランスよく配分されていた印象です。過去の受験である程度基礎知識は身に付いていたため、全体を通じて動画ではなくテキストでの学習がメインでした。テキストだけでは分かりにくいときは動画も参照しましたが、学習時間確保の観点からテキストでの学習を優先しました。自分に合ったスタイルでの学習をやり通せてよかったと感じています。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理講座は、合格のためには必須だと感じています。どれだけ各科目の学習を丁寧に進めても、全体として膨大な情報量があるので、科目をまたいで同一のこと、微妙に違うこと、全く違うことなどを自然体で覚えることは非常に困難だと思います。したがって、科目横断で理解するという「訓練」が必須です。そして、この訓練を重ねることで、理解度が徐々に高くなったと考えています。試験本番における精神的プレッシャー、時間ギリギリの戦いの中で、記憶を正確に呼び起こし、類似項目との混同を避けるためにも、十分に科目横断の対策はしておくべきだと思います。これができていれば、試験問題が試

そうとしている論点も掴みやすくなると思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験の科目には頻繁に法改正があることは周知の事実ですので、当たり前であるがゆえに、法改正対策の重要性について過去の受験では十分に認識できていませんでした。しかしながら、丁寧に学習を進めるにつれて、法改正が試験問題に本当によく出ていることを理解し、法改正対策の重要性を認識しました。ある意味、法改正対策をしっかりとやっていることは、他の受験生より優位に立つチャンスとも考えられます。ただ、法改正対策に割り当てる時間は十分に確保できなかったのが実態です。ただ、テキストに目を通すだけでもやっておいてよかったと思います。直近の改正だけでなく、前年度の改正が出题されることもあり、社労士試験において法改正という視点は意識することが大切だと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験の最大の難関であると感じている選択式試験の足切り回避に向けて、避けては通れないのが白書・統計対策だと思います。そしてこの難易度が非常に高く、多くの受験生が苦勞する分野だと思います。当初は、厚生年金保険等の社会保険科目の難しさに困惑していましたが、本当の難関はこの分野なのだと気づきました。私は細かい統計の数値まで覚える余力がなく、試験直前まで不安・焦りが消えることはありませんでした。ただ、白書・統計対策についても、しっかりとテキストは読みこんでいるからと自分に言い聞かせて、あまり深く入り込み過ぎないように気を付けました。一定の対策をしたのに対応できない問題は、きっと他の受験生も対応できないと思いますので、しっかりと講座をやり切れば問題ないと感じています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験の使い方として、とりえず解いてみるというやり方もあれば、本番同様の時間帯・環境でやる方法もあり、人によって違うと思いますが、やはり模擬試験は極力本番に近い状況でやるのがおすすめです。私は、8月上旬に、着席時間、試験開始時間、昼食休憩、トイレの使用など、完全に本番環境を意識して実施しました。これにより、あらためて試験本番の過酷さ、とりわけ時間が足りないことを痛感することができました。模擬試験では、問題を解く順番、マークや見直しの仕方等を確かめる非常に有意義な機会でした。なお、今回の模擬試験については、選択式の足切りにかかり、確実に不合格という結果でした。もちろんショックではあったのですが、まだ時間はあると前向きに捉え、気持ちを引き締めて学習を継続しました。模擬試験が不合格であったことは、今振り返るとむしろよかったかもしれません。いずれにしても、模擬試験は本番環境を想定して受けることを強くおすすめします。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

質問への回答が非常に迅速なのが大変ありがたかったです。

令和6年

社会保険労務士試験合格

試験開始の1秒前まで知識を増やして点数を伸ばす

高橋 東樹さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

大学を卒業後社会に出て働き、学生の頃よりもお金と時間を自由に使えるようになり、漠然と「何かに全力で挑戦して、自分がどこまでいけるのか試してみたい」と思っていました。

どうせやるなら人生の選択肢を増やせるようなことに挑戦したかったので、難関資格の取得を目指し、計算よりは暗記の方が好き（得意とまではいえませんが…）だったので、社労士試験を受けることに決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

主に2つあります。

1つ目は、他の通信講座と比べてテキストが最も分厚いと聞いたからです。私は社労士試験を2回受け、1回目は独学で挑み不合格でした。不合格な理由は明白で「知識不足」でした。独学では、法改正や白書などを自分で調べる必要がある為、効率が悪くなってしまい、得られる知識にも限りがありました。社労士試験は、知識の多いものが勝つ。1回目の不合格からそれを学び、2回目の試験はテキストが最も厚いと評判だったアガルートを受講して挑むことに決めました。

2つ目は、合格特典です。合格すればお祝い金もしくは全額返金ということで、合格すればご褒美のボーナスが貰える！という気持ちで頑張りました笑

合格体験記・学習上の工夫

学習をする上で、適度に休憩を取ることを心がけていました。本来であれば、空いた時間は全て勉強に費やすのが合格への一番の近道だと思うのですが、私は何時間も集中力が続くようなタイプではなかったので、25分勉強⇒5分休憩⇒25分勉強⇒5分休憩…というサイクルを繰り返していました。25分は全力で勉強し、5分間はスマホを見たり本を読んだりして全力で休む。私の場合はこんな感じで、適度に休憩しながら勉強していました。

また、原則として勉強しない日を作らないようにしました。これには2つ理由があって、1つは、単純ですが忘れてしまうからです。1回目の試験から1週間何も勉強しなかったのですが、感覚としてはその1週間で全体の30%くらい忘れてしまった気がします。やっぱり、毎日淡々と積み重ねていくことが重要なんだと思います。

2つ目の理由としては、モチベーションややる気が不要になるからです。勉強が習慣化されていない場合、勉強を始める際に毎回「頑張るぞっ」という意思が必要になると思いますが、毎日毎日やる気に満ちている人なんてきっとかなりの少数派です。結果としてやる気がなくて勉強しない日が続き、気づけば1か月以上社労士の教科書を開いていない…そんなことになりかねません。ではどうすればいいのかというと、私の場合は毎日勉強することを習慣化することで、モチベーションややる気に頼らないようにしていました。「習慣」とカッコよく書きましたが、言い方をかえれば「惰性」です。見たい番組があるわけでもないのになんとなくテレビをつける。そんなふうに毎日惰性で勉強し、でもたまに本当にやる気が湧く。惰性ってあまり聞こえはよくないですが、社労士の勉強に関しては追い風になってくれました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

<学習の流れ>

講義動画を見ながらテキストを1周した後、その科目の中上級オリジナル問題集と過去問集を1周させました。

中上級オリジナル問題集と過去問集で間違えたところは再度テキスト確認・講義動画の再視聴をしました。なるべく早めにテキストを1周したかったので、講義動画は基本的に1.5倍や2倍で視聴しました。

<テキストの活用方法>

重要な内容や数字には、ラインを引いたりするほか、自分なりのコメントを記載するようにしました。例えば、労働者災害補償保険法に「給付基礎日額に1円未満の端数があるときは、これを1円に切り上げるものとする」という記載がありますが、「切り上げてくれるなんて、労災法は労働者に優しい！」などと吹き出しをつけ、記憶に残りやすいようにしました。

＜テキストの感想＞

まず第一に声を大にして言いたいのは、このテキストの圧倒的情報量です。このテキストに必要な情報は全て揃っている。講義の最初の方で、竹田先生がそんなことをおっしゃっていたような気がします、紛れもない事実でした。社労士試験は知識の多さで決まる。そう考えていたので、細かい通達等も網羅されているこのテキストで勉強して本当に良かったです。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

最も役に立ったのは目的条文の穴埋め問題です。選択式集中特訓講座のテキストが家に届き、目的条文の穴埋め問題を一通りやってみたのですが、あまりのできなさに驚きました…。条文をなんとなくで覚えていて、理解したつもりになっていたのです。

社労士試験に出てくる法律の条文はどれも同じような言葉が並ぶので、法律ごとの趣旨を理解しただけでは、いろいろな法律の条文がごちゃごちゃになってしまいます。そこで、条文を一字一句しっかりと覚える（というか、脳に叩き込む）つもりで、何周も目的条文の穴埋め問題を解きました。どうしても覚えられない条文に関しては、写経のようにノートに何回も写すことで、なんとか強引に覚ええました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

個人的には最も役に立ちました。社労士試験は科目ごとに似た内容のものが多く、区別がつかなくて混乱する受験生の方が多いと思います（私もその中の一人です）。

社労士試験はそういった区別のしづらい問題（例えば、年金の端数処理など）が多く出題されますが、逆に言えば、しっかり区別をつけて覚えることができれば、圧倒的な得意分野にすることができます。

科目横断整理講座は、科目ごとと区別がつきやすいよう分かりやすくまとめられています。それだけではなく、講義動画で竹田先生が覚えるべきポイントを教えて下さるので、効率よく覚えられました。全体の科目の復習にもなり、薄いテキストなので、試験会場に持ち込み最終確認に使いました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験において、独学ではなく通信講座を受ける一番のメリットは、法改正の情報を効率よく確認できる点にあると思います。独学時代は、ネットで法改正の情報を調べていましたが、そもそも法改正が多く、なにより内容も複雑なので、効率は悪くなっています。

一方で、法改正対策講座は、改正の情報が細かいところまで網羅されていることに加えて、重要度が載っているので、重要度の低いところは一度読むだけで終わりにして、重要なものだけ何度も読みました。全体の復習にもなるので、総合講義のテキストと照らし合わせて勉強しました。「社労士になったら、こんな量の法改正を速やかに把握する必要があるんだな、すごいな」とワクワクしながら勉強しました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練を通して、本番の試験で解く科目の順番を決めました。社労士試験は時間がとても長いですが、同じくらい問題数も多いです。時間配分を気にせずに解き進めると、タイムオーバーになりかねません。そこで、過去問をやることで、どの科目がどの程度の時間を要するのか、おおよその傾向を把握するようにしました。私の場合、労働基準法が苦手で長時間悩んでしまうことが多かったので、本番では労基を最後にやると決めて臨みました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

竹田先生が、実力確認答練は基礎的なものだから難易度はそこまで高くはないとおっしゃっていて、確かに過去問と比べると易しめでしたが、解けない問題も多くありました。

解けない問題は「今間違えておいて良かった」とだけ思うようにして、付箋を貼って繰り返し解きました。逆に一度で解けた問題は、それっきりで終わりにして、なるべく効率よくたくさんの知識を吸収できるよう心がけました。

実力確認答練は、時期的に全体の内容を一通り学習してからやることになるので、最初に学習した頃とは違う視点で基礎をおさらいでき、それまではあやふやに覚えていたことを、しっかりとした根拠を持って理解できるようになりました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

独学ではなく通信講座を選んだメリットの一つが、白書対策です。独学時代は、厚生労働省のホームページに載っているたくさんの白書を、どこが重要かも分からないまま読んでいたので、正直あまり意味がなかったと思います。

しかし、白書対策講座は、重要な箇所がまとめてあり、平野先生がポイントを説明して下さるので、効率性が桁違いでした。テキスト自体もそこまで厚くないので、毎日少しずつ読み進めるようにしました。個人的に、色々な統計データを分析するのが以前から好きだったので、趣味の延長のような形で白書対策講座は楽しく勉強させて頂きました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

ちょうど試験の一週間前に、模擬試験を受けました。結果はというと…選択29点、択一35点。絶望しました。この点数では100%受からないからです。ただ、絶対に受かりたかったので、復習を徹底的に行いました。分からない点は些細なことでもKIKERUKUNで質問し、もう一度全ての科目の問題集を1周しました。

「本番の試験までに少しでも多く勉強しないと、確実に落ちる」。模擬試験を受けたことで、そんな緊張感を持って試験直前を全力で走り抜けることができました。

結果として合格できたのは、運が良かったのも大いにありますが、諦めなかったからというものだと思います。社労士試験は暗記の試験なので、試験開始の1秒前まで知識を増やして点数を伸ばすことができます。

最後まで自分を信じて良かったです。

令和6年

社会保険労務士試験合格

一番大切なことは勉強を続けること

松倉 誠さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

13年前、今の家内と結婚した際、家内の父が社会保険労務士の仕事をしているのを知って元々興味がありました。その当時は、家内の兄が社会保険労務士の試験勉強を予備校に通いながらされており、丸2年間、毎日仕事が終わってから5時間以上勉強していたようです。それにもかかわらず、残念ながら合格できず、2回のトライであきらめてしまったようです。3年ほど前に、家内の父から、後継ぎがいないので、試験の受験を勧められ、今の顧客を安心させてほしいとお願いをされました。家内の兄が2年間勉強して諦めた社労士試験、ダメもとの気持ちで試験合格を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

1年目は他社の通信講座を活用して、ギリギリで合格ラインを狙うという方針に納得したうえで勉強をしました。その結果、前回の本試験では、未知の問題により、試験中に焦ってしまい、残念ながら結果は、選択厚年で基準点割れ、択一でも合格基準点に未達でした。自己採点で、選択の基準点割れは判明し、救済は難しいこともわかっていたので、合格発表を待たずに、すぐに次年度の各通信講座を徹底的に比較することにしました。その通信講座の中で、強く私の興味を引いたのは、テキストで試験範囲を90%以上網羅されているテキストを特徴としているアガルートでした。早速資料を請求し、サンプル講義を視聴させていただいた結果、中上級カリキュラム／フルを申し込むことに致しました。特に前回の選択で基準点割れだったので、選択式集中特訓講座があるのも決断の後押しになりました。

合格体験記・学習上の工夫

勉強時間は、毎朝4:00に起きて、朝の2時間を必ず確保するように心がけました。仕事は研究職だったので、夜遅くになることもあり、夜は勉強できない時もありました。それから長い期間、勉強することになるので、睡眠時間も確保するようにしました。土日祝日では5時間は勉強するようにしておりました。ただし、月の半分の週末は、家族サービス等で勉強時間が減ってしまうこともありモヤモヤしましたが、それでも平日同様、朝の2時間だけは確保するように努めました。

その他の勉強時間としては、通勤時に講義音声、昼の休憩時間は択一の問題を解いていました。問題を解く速度は遅くなりますが、とにかく論点を理解することに重点を置いて学習を進めました。間違いやすく論点を忘れやすい問題は、テキスト（過去問集、中上級オリジナル問題集）のページに付箋を貼って、繰り返し問題を解きました。

ラストスパートである最後の2週間は、択一等の問題演習はせず、テキストの細かいところも含めて、通して熟読しました。朝の通勤時の音声も目的条文の読み上げ音声に変更し、さらに自分で目的条文に合わせて、一緒に読み上げをしていました。昼の休憩時間も択一問題演習から選択式に変更し、選択式集中特訓講座のテキストを流し読みし、わからなければすぐに答えを見て、時間を無駄にしないことを心掛けました。

学習には、スマホだけではなくiPadも活用しました。電子ブックのスクショを活用して、問題に線を引きながら問題演習を行いました。注釈等も一緒に記入したりしていたので、記憶に残りやすかったかもしれません。また、選択式集中特訓講座のテキストでは、暗記したい箇所を「暗記マーカー」というソフトを利用して、正解率をわかりやすくし、ゲーム感覚で勉強できるようにしました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

テキストは本当に良かったです。評判通りでした。出題されそうな通達関連がきちんと書かれており、前回は他社でしたが、そのテキストに掲載されていない内容もあり、とても勉強になりました。

通してテキストを熟読したのは5月のゴールデンウィーク時期に1回、本試験2週間前のお盆休みに1回で、合計2回熟読をしました。お盆前のテキスト熟読では、なんと誤解して覚えていた箇所が各科目に2か所以上あり、慌てて該当の箇所の講義動画を確認して、すぐに知識を補いました。

講義動画の配信スケジュールにあわせて、各法律を勉強していきました。講義動画を観ながら、講師の話で気になるところ、注意すべき部分をテキストに書き込むようにしていました。過去問は、章ごとの講義動画を見終わった後に解くようにしていました。中上級オリジナル問題集ですが、箇ごたえがあり非常に難しかったです。間違いやすい論点を中心に選出されており、同じ論点でも違った表現で作成されている問題もあったりして、論点を中心に理解するように努めました。過去問でよく間違う論点の問題と似た問題が中上級オリジナル問題集にもあり付箋を貼り、繰り返し解くようにしておりました。おかげ

で本試験に出題される問題にも応用できる力がついたと感じました。

また、総合講義テキストの訂正が少なかったのも非常に助かりました。年齢が高いと新しいものに覚え直すことはすごく大変なことなので、初版から非常にクオリティーの高いアグルートのテキストで本当に良かったです。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

2年目でしたので、絶対に選択で基準点割れしたくなかったので、選択集中特訓講座の配信日が待ち遠しかったです。動画講義を聴きながら、答えを導くための考え方や、背景にある法律用語を黒板で説明して頂けたことで、記憶に残りやすかったと思います。

今回の本試験の選択の労いでは、最初の2問を見たときに、これはダメだと思ったところ、3、4問目が目的条文の穴抜きだったので、思わず心の中でガッツポーズをとりました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

各法律間で記憶が混同しやすく、かつ狙われやすい箇所を簡潔に整理してまとめてあって良かったです。科目別横断については、このぐらいの内容、ページ数で良いかと思いました。市販の科目横断だと300ページを超えるもので、すぐに見直すことも難しいのですが、アグルートの科目横断整理講座のテキストは、混同しやすい箇所もすぐに確認できたり、何周も回すことも容易に行うこともできました。不服申し立ての章では、各法律では類似の部分、異なる部分があり、なかなか記憶が混乱しやすい箇所ですが、まとめて図示してあり、記憶の混乱が緩和されました。軽い冊子なので、本試験会場にも持ち込み、試験の直前まで見直しておりました。

また、選択式の対策についても「はじめに」に記載があったことが私には嬉しい誤算でした。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

星印が多い箇所を中心に、直前期間にさらっと流し読みを1回しました。テキストにも法改正が反映されていることもあり、テキストと過去問復習のほうに重点を置いた勉強を行いました。講義動画でも、講師の先生が、「選択講座は、個人が必要と思うものをやってください」と言われたこともあり、肩の力が抜けて、良い感じで取り組むことができました。

本年度は、法改正は少ないとの情報も聞いておりましたが、総合講義テキストに記載のない法改正も記載も多くあり大変驚きました。講師の先生方々は、数年前の法改正事項の中から、一つ一つの法改正事項を総合講義テキストへ取り込んでいただき、学習に助けになると感じました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

結構、直前期ともなると各選択講座もあり、総合講義テキスト、過去問集、中上級オリジナル問題集を含めて、どれに重点を置いて勉強をしていくか、時間は限られているので、

過去問マスター答練にどれだけ比重を置くかは、私にとってもかなり難しい選択でした。過去問マスター答練は、過去4年分を本試験形式の5肢形式で演習ができるテキストであり、過去問集では1肢だけなので、本番前に取り組むのは有効と理解しておりました。結局のところ、私には送られてきた全てのマスター答練をやりきる時間はなく、年金科目に限り問題演習を1回やりました。その1回も、○×の選択の問題では、正解の肢を見ついたら、他の肢を見ずに、次の問題に進む練習をしていました。時には、○×がはっきりしない場合には、全選択肢を見なければなりません、どのような判断で全選択肢を見なければならないかを考えながら解いておりました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練と同じで、直前期はどれに重点を置いて勉強をしていくか、時間は限られているので、実力確認答練にどれだけ比重を置くかは、私にとってもかなり難しい選択でした。

実際には、一通り問題を解いてから答え合わせと解説動画を聞いた1回きりとなりました。過去問マスター答練でも書きましたが、択一に関しては5肢から正解を選ばなければならないため、1問の択一では得られない練習ができました。前年度の試験では、すべての肢を見て正解を確認していたため、本当に時間が足りなくなっていました。今回の実力確認答練では、自分の理解不足もわかり、解いてみて本当に良かったです。それから、講義動画のなかでは、組み合わせ問題についての解き方について教えていただきました。また、個数問題は無視することというのも知らなくて、試験についてのテクニックについて教えてもらえる講義であり、勉強時間が足りなく、講義動画を見るか迷っていたのですが、講義動画を視聴して本当に良かったです。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

直前期の各選択講座は、いっぺんに送られてくることもあり、どれから着手するか本当に迷うところです。私は、白書対策は早めに対策して、コツコツやるべきと決めていたので、数ある各選択講座の中でも重点的に勉強を行いました。

講義動画の講師のコメントにもありましたが、「グラフに自分の感想を書く」ことが結構大切なことだと思います。普通は講師の言葉で注意すべき点をテキストの脇に書き込むだけですが、自分の感想を書き込むというアイデアはありませんでした。そのことにより、確かに自分の記憶に残りやすかったです。

それから、平野講師の声が聞きやすかったです。なかなかテキストを読む時間が取れなかったので、通勤時間などで講義音声聞きまくりました。声がよくないと繰り返し聞くのは苦痛になるので、繰り返し聞くにあたり声は重要と考えます。

模擬試験のご感想・ご利用方法

田舎のほうに住んでいるので、大手予備校が開催するような直接会場に行くような模試は、時間やコストの関係から、最初から考えておりませんでした。アガルートの模試の他、

大手2社から市販されている書籍の模試を、本試験と同じ状況下の環境で問題を解き、その日のうちに自己採点しました。結果は、どれも40点前後で、良くありませんでした。前年度は模試の結果があまりにも悪く、勉強方法に迷いが生じてしまい、自分に自信が持てなくなりました。しかしながら、今回は、ホームルームでも講師が言われていたように、「あくまでも模試は模試」と考えることができ、自分の弱点を理解し、似たような肢が出たときには間違わないように、繰り返し練習しました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

<ホームルームの活用方法>

ホームルームは毎月拝聴しておりました。トップランナー（一番反復回数が多い人）の進捗を確認させていただき、「こんなに勉強している人があるんだ!」と、自分の心の中で炎がともし、とてもやる気になりました。多くの方からの質問に、講師が真剣に回答しているのを見て、自分も似たような疑問を潜在的に持っていたことを確認でき共感できました。ちなみに、前年度のホームルームも拝見いたしました。

<社労士試験合格を目指す方へのメッセージ>

一番大切なことは、勉強を続けることだと思います。家庭の事情で勉強時間が取れなかったときやモチベーションが下がったときは、無理せずに休み、また勉強に戻ってくることが大切だと思います。私も勉強期間中に数回、漫画にはまってしまったりして、罪悪感が半端なかったです。

それから、テキストは本当に良いです。私は通して2回しか熟読できませんでしたが、可能な限り、何回も熟読したほうが良いです。

ホームルームは参考になります。初学者はもちろん、経験者も聞いた方が良い内容です。お時間があれば、前年度分も是非聞いてください。

長い勉強期間になります。体調に気を付けて、時にしっかりと睡眠をとって、勉強を続けて下さい。仕事の忙しい私でも合格することができました。皆様の合格を心よりお祈り申し上げます。

<講師へのメッセージ>

中上級カリキュラムを選択いたしました。竹田講師の要点を押さえた講義、本当にありがとうございました。きちんと記憶に残りました。講師の「皆さんは過去問、全問正解できるようにしなければなりません!」という言葉をもとに頑張ることができました。

池田講師の昨年の試験直前（前年）のホームルームで言われたお言葉が心に残っており、試験中も大変励みになりました。今年は健保が難しかったのもあり、国年から解き始めてよかったと強く感じました。もし順番通り労基から解いていたら、健保で疲れ、厚年、国年を解いていたらミスが多くなったかもしれません。

1年前にアガルートを選択して良かったと思いました。本当にありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

講師の解説がとにかくわかりやすいと感じた

上月 康裕さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

社会保険労務士試験の受験回数：5 回目以上

社労士試験を目指した理由・契機

前職は営業をしており、転職を機に人事を担当することになりました。人事関連法規を一から勉強したいと思い、社労士試験を目指しました。営業時代の会社は労務管理に関して適切な対応をしていたとは言えない会社で、私の中に人事関連法規の知識が何もない状態でした。例えば「36協定」という単語も、転職をしてから知ったぐらいの恥ずかしい状態でした。知識がないことで会社のメンバーに迷惑をかけたくない！そう思ったことがきっかけです。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

4年間他社の講座を受講していました。まったく人事関連法規の知識がない人間でも、ある程度の力をつけることができたのですが、3年連続選択式試験で1科目だけ足切りされることにより不合格となっていました。不合格の理由を分析し、知識の穴がかなりの科目にあることがわかりました。それを埋めるためには、テキストが充実している講座を受講することが必要であると考え、アガルートに出会いました。

合格体験記・学習上の工夫

前年から、他社の模試でB判定は取れており、本試験の択一式でも49点でしたので、ある程度の知識や問題を解く力は身につけているとは感じていました。勉強をする上で大切にすることは①基礎的な部分であやふやな部分はなくすこと②知らないポイントがでてきたら、その部分を最低3回は振り返ることを意識しました。

私の弱点として集中力が長く続かないことがあり、1日の勉強時間は1時間×2回もし

は3回の合計2時間～3時間程度しか勉強することができませんでした。

そのため、割り切って、1日に総合講義を聞く時間は多くとも1時間以内として、その日のうちに総合講義のテキストを熟読し、該当する過去問を1回解きました。インプットした場合は、必ずアウトプットする時間を設けることで、知識の抜け漏れをなくすことを意識しました。

過去問は解いた日の翌日と、翌々日に同じ問題を解くことをルーティンにし、1回総合講義のテキストを回すと、過去問を3回解いた状態にすることができました。

仕事の繁忙期や家族のイベントなどでどうしても勉強できないタイミングがあり不安に思う日々もありましたが、5月6月から始まる他社の模試では成績優秀者に名前が掲載されるようになりました。そこで、今の勉強方法は間違っていないと確信を持ってました。

とにかく本番までに過去問を6周しました。過去問で解けない問題はほとんどない状態になりました。そうすることで、択一式の不安は消すことができました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

他社の講座を受講していたときに比べ、先生の説明がとにかくわかりやすいと感じました。他社ではテキストに書いてあることを説明するだけだったのですが、濃淡をつけて説明をいただいていることや、理解すること、覚えることを増進させるためのコメントが多かったように思います。

また、テキストも一見膨大な量であるように感じましたが、文字が大きいことや、場面・場面で、記憶のフックや重要ポイントが記載されており、その項目があるからこそテキストの量が増えているだけだと体感できました。知識の整理には重要な情報です。

テキストに過去の出題実績が記載されていることは本当にありがたいと感じました。以前受講していた他社のテキストでは☆の数で重要度が示されていたのですが、大多数の項目で同じ☆の数に記載されており、どこが重要論点なのかわからないなと思っていました。アガルートのテキストでは、過去の選択式、択一式の出題実績が数十年にわたり記載されているので、論点の重要さが一目瞭然でした。

使い方としては、総合講義を受講する際は、テキストの余白に先生のコメントのメモを記載しました。また、マーカーはピンクと水色を用意し、条文の原則の内容をピンク、例外を水色、例外の例外をピンクでマーキングし、視覚的に理解しやすいようにしました。メモは直前期の記憶の整理に役立ち、マーキングは理解を深めることに役立ちました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

私は目的条文を覚えることが苦手で、似たような言葉の中から選ばないといけない問題に不安を覚えていました。この特訓講座ではキーワードごとの覚え方（雇用か職業かなどの）説明が書かれていることもありがたかったのですが、穴埋め数の数が途方もないほどの問題集が掲載されていました。覚えることは本当に苦しかったです。試験当日も少し早めに最寄り駅につき、喫茶店でずっと穴埋め問題を繰り返し解いていました。

その甲斐もあってか、本試験の社会保険に関する一般常識の選択式で目的条文が3問出

題され、瞬間的にその3問を埋めることができ、試験会場で小さくガッツポーズをしました。

目的条文が出題されると、基本的に救済はありません。信じて、粘り強く勉強したことが合格につながったと思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

分量も多いものではないことがありがたかったです。以前受講していた他社のテキストでは、150ページほどの分量であり、覚えきれないと思っていました。アガルートのテキストには、本当に大切な部分がコンパクトに記載されていました。時間がなかったので、講義は、ほぼ聞きませんでした。それより繰り返し読む機会を増やすことが得策だと考えたからです。

直前期は寝る前に、パラパラと眺めてから眠りについていました。本試験のお昼休みに、おにぎりを食べながら、ざっと1周読みました。最後の確認にはもってこいの内容だと考えています。

この内容のものは、絶対に出題されるので、重要論点をしっかり覚えるためにも、触れる機会を多くすることが必要だと考えています。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正は頻出論点であることもあり、講義動画を2回観ました。また、テキストの内容を振り返ることを4回行いました。深く理解するポイントも少ないので、会社の休み時間や、移動時間を使って勉強しやすい内容でした。繰り返し勉強することで、必要な論点の理解は十分に進んだと思います。先生も講義の中で、重要な部分とそうでない部分を示していただいたので、割り切って勉強することができました。先生が「重要ではない」とおっしゃった部分が本試験でまったく出題されなかったことは驚きでした。本試験の昼休みの時間は、法改正関連の細かい数字の確認に多くの時間を当てました。数字は、○×をつけやすく、得点につながりやすいので、最後に不安な気持ちを少なくすることに大きく役立ちました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

時間の関係で全く触れていません。一問一答の過去問集を繰り返し解くことで十分だと考えたからです。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

過去問とテキストを中心に勉強をしていたので、特別多くの時間を割くことはしませんでした。1周問題を解いてみました。私にとっては本試験より易しく感じたので、繰り返し解くことより、解くことができなかった問題の論点を確認しておく程度の使い方をしました。そのため問題を多く解くことよりも解説をしっかり読む勉強法にしました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

足切りを防ぐためにも広く浅く勉強することが大切だと感じています。特に本試験の選択式で白書の内容が出題されると3点をキープする難易度が上がるように感じます。試験に受かるためには避けて通れない内容ですので、1回講義動画を聞き、3周読みました。

統計資料が多く記載されているものでしたので、先生のコメントをたくさんテキストに書き込む必要があると感じました。とにかく書き込んだメモの内容を頭にいれることを意識しました。本試験の選択式の労働に関する一般常識ではその書き込んだメモからそのまま出題され、また一般常識の択一式でも何とか1問正解することができ、5点を確保することができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

時間の関係で選択式の問題を解くことのみに使いました。私にとって選択式で何とか粘って3点を確保する練習は必要だと感じていましたので、選択式の今まで触れていない問題をたくさん解き、論点をしっかり覚えることは、直前期のテスト慣れを進めるためにも必要でした。そのような勉強ですので多くの時間はかけていません。直前期は、いろいろなものに手を出すより、今まで解いてきた過去問をしっかり回すこと、テキストをしっかり読むことが大切だと考えております。

令和6年

社会保険労務士試験合格

総合講義のテキストの確認と通読は不可欠

平野 瞬さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私が社労士試験を目指した動機は大きく2つあります。一つは、以前から、労働法の知識を習得し、労働事件を扱えるようになりたいと思っていたためです。二つ目は、雇用保険法を含む社会保障に関する知識の必要性を痛感した経験をしたためです。

1. 動機1について

私は、司法書士をしています。以前から裁判事務に興味をもって、業務でも扱っていますが、司法書士業界で、労働事件を扱える人は決して多くありません。理由はさまざま考えられますが、まず受験科目に労働基準法を始めとする労働関係法令が含まれていないことがあげられます。資格の権能としては、労働事件を扱うことができますが、前提の知識がないということは、業務として扱うためのハードルは決して低くありません。

「労働」は生活の基盤となり、ひとたび労働に関して課題を抱えると、明日の生活に影響が及びます。この意味でも、依頼者（特に労働者）の労働紛争や相談に対応できるようになることは、依頼者に対する支援の選択肢を増やすことにつながります。さらに労働事件を扱えるようになることで、自身の目指す専門家像に近づくことができるのではないかと考えたためです。

2. 動機2について

私が所属している全国規模の司法書士の任意団体の開催した生活保護に関する電話相談会に、岐阜県内の20代の若者が相談を寄せ、相談担当者が、緊急性が高く、支援が必要と判断したものの、県内に対応できる同職が他にいなかったため、私が相談者の生活保護申請に同行することになりました。申請同行には生活保護行政の理不尽な対応を防ぐという趣旨もあり、まずは相談者が生活保護申請書を提出するということが第一の目的です。実

際に自治体窓口で、生活保護申請をするべく、相談者と共に現状を説明していく中で、対応した生活困窮者自立支援制度の相談員が「あなた（相談者）はいろいろな資格を持っていますね。離職は何度もしているけど、離職日以前2年間に被保険者期間が12か月以上あるかもしれないから、一緒にハローワークに行って調べてみましょう。」という説明をしました。

当時、私は雇用保険法を学んだこともなく、「失業保険」という言葉は聞いたことがあっても、基本手当のことを指していることや要件などはまったく知りませんでした。私の頭の中には、相談者を支援したいとの思いだけで「とにかく生活保護申請だ」ということしか考えがなく、基本手当の受給の可能性は検討すらしていませんでした。相談員の対応を見て、自分の勉強不足を痛感しました。社会保障制度の一つである生活保護制度については一定の理解があったものの、生活保護制度の補充性の原則からすれば、他に利用できる制度を検討することは必須です。それにもかかわらず、他の制度の一つである雇用保険に関する知識がなかったという事実には愕然としたことは今でも鮮明に覚えています。そして、今後も困窮者支援をしていきたかったので、雇用保険法を含めた社会保障に関する知識をつけるにはどうしたらよいかと考えるようになりました。

いろいろと調べていく中で、上記の2つの動機を満たす資格が社会保険労務士という資格であるとわかったため、社会保険労務士試験の受験を決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

1. 通信受講の可否

受験予備校の多くの受講スタイルは、①通学、②通信、③通学・通信の併用の3つではないでしょうか。私の場合、岐阜県内には受験予備校がなかったため、通学の場合、少なくとも名古屋市内までの移動が必要でした。社会人になってからは、「通勤時間ほど無駄なものはない」と思っていたので、通学時間が必要となる①通学、③通学・通信の併用は選択肢にはありませんでした。よって、②通信で受講できる受験予備校を検討しました。

2. 相談制度の充実具合

通信講座では、対面で講師に相談する機会はないことが通常かと思います。この点は、通信講座の弱点にもなると考えていました。しかし、受講を検討していた当時、アガルートアカデミーの社労士講座では、質問制度があり、非常に魅力的に感じました。

3. 受講費用

受験予備校の選択するうえで、受講費用は大きな検討要素になります。記憶があいまいな部分もありますが、複数の受験予備校を比較した際に、アガルートアカデミーの社労士講座は廉価だったと記憶しています。

4. 合格特典

合格すると、返金が受けられるというのは、やはりインパクトがありました。

よって、私は、上記の4事項を比較検討し、アガルートアカデミーの社労士講座がより自分の状況に合致していると考えたため、受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

1. 学習のスタイル

私は、自営なので、午後5時には仕事を終え、夕食等を済ませて、子どもが寝た後、午後8時から午前12時までが学習時間でした。自宅では、机上にパソコンがあり、集中できずに触ってしまうため、毎日ファミリーレストランやファストフード店で学習をしていました。土日祝日でも、平日同様、同じ時間帯に学習していました。

あとは、工作中、車移動があるときは、講義の音声を通して聞いていました。毎日、決まって車移動があるわけではなく、1週間に一度も車移動がないということもありました。ですので、集中して聞くというよりは、聞き流すというスタイルでした。何度も聞いていると慣れてくるため、最後は倍速で聞いていました。

2. 受験予備校に任せたこと

私は、自作のノートは一切作りませんでした。作るのが苦手というものもありますが、むしろ、その作業は受験予備校の仕事だと思っていたからです。また、労務管理その他の労働に関する一般常識（以下、「労一」といいます。）や社会保険に関する一般常識（以下、「社一」といいます。）は法令数が多いけど、そこまで深く出題されず、過去問われていない余白の部分が多い科目です。また、数多くある法改正論点もどこまでやるべきか悩むところですが、受験生として自身で全範囲を網羅するのは不可能なため、予想問題に期待したくなる部分です。ですから、「情報の取捨選択」は受験予備校に任せ、模擬試験などの（予想）問題を通じて、必要な範囲を定めてもらうということに足りると思います。

3. 資格試験の仕組みを知ること

資格試験では、合格率が100%でない限り、合格者と不合格者に分かれるため、「他の受験生より成績がよくないといけない」と思いがちです。そのため、周りの受験生の勉強の進捗具合や模擬試験の結果が気になり、自分と比較し、その結果、自分の精神状態が乱される経験をしたことはないでしょうか。他人と比較する必要はまったくありません。確かに基準点がありますが、過去の本試験の結果からすれば、選択式28点（8割）、択一式49点（7割）を取れば合格する可能性が高いと言えます。受験生としてはそこを目指すだけでいいのです。隣の受験生が誰であろうと、自分がこのラインを超えられれば合格できます。つまり、一見、相対評価の試験のように見えますが、実際は合格ラインを超えればよい絶対評価の試験であると表現できます。SNSで情報収集している受験生もいると思い

ますが、資格試験においては、他人のことを考えている時間があるなら、その時間を自身と向き合う時間に充てることで、自身の伸び代が多くなると思います。

4. 「基礎知識」の正体を知ること

令和4年度の初めての本試験を終えて感じたことは、「基礎知識がぶれると選択肢が切れなくなる」ということでした。これは当たり前のことですが、初回の受験では、基礎知識の重要性を理解できていなかったと猛省しました。

各科目には総論と各論があります。総論部分とは、「総則」「被保険者」などの部分です。学習を進める中で、どうしても「保険給付」などの各論の方がイメージしやすく、力を入れがちでした。総論は横断整理が必要な部分にもなりますが、問題として問われる際は、難しくしにくいので、十分過ぎるほどに固めておいても損はしません。基礎知識が徹底されてくると、択一式の点数が安定するようになり、しかも合格ライン周辺まで押し上がってきます。

また、本試験は、多くの問題が5肢択一です。4肢がまったく知らない知識でも、1肢だけ基礎知識を問うてくる問題も散見されます。普段、基礎知識は目立ちませんが、思っている以上の攻撃力と防御力を兼ね備えているので、侮ってはいけません。

5. 得点するよりも、失点しないこと

私は、どうやって合格点をとるかではなく、どうやったら失点を防ぐことができるかを考えていました。そのためにすべきことは、問題単位で「他の受験生が得点する問題（＝最大公約数）を落とさないこと」です。

代表例を2つ紹介します。一つは、上記の基礎知識を固めることです。もう一つは模擬試験の復習の仕方です。模擬試験では合格判定と併せて各問題の「正答率」が出るのが一般的です。少なくとも50%以上の正答率問題はきちんと正解できたのかを検証することです。欲をいうと、正答率40%以上の問題もカバーできるのが理想だと思います。仮に正答率50%以上の問題を得点できなかった場合は、「論点を思い浮かべられなかったのか?」、「他の知識と混同したのか?」、「マークミスだったのか?」など、失点の理由も検討しました。新しい、難しい知識を使うよりも、もっと容易に持っている知識を丁寧に使うことで合格は近づいてきます。

6. メンタル維持

社労士試験は、試験の仕組み、覚えるべき数字の多さ、類似項目の多さ等、合格率以上の難易度があると言っても過言ではないと思います。約1年の期間、勉強漬けの日々になることもあり、精神状態、メンタルの維持は課題となります。

3度の受験期間で、もっとも精神状態が安定していたのは、3年目でした。これは知識が定着してきたからというよりは、自分の勉強スタイルに納得できたことが理由だろうと分析しています。1年目、2年目は、1日5時間（朝30分、昼30分、夜4時間）ほどは勉強していたように記憶しています。それでもいつもできていないことに目が向き、「時間

が足りない」と思って、常に焦っていました。今考えても、それ以上の時間を捻出することは不可能でした。

ある時、テレビ番組で「世の中には定数（自分の力でどうしようもない事）と変数（どうにかしなくてはいけない事）があって、その違いに気が付かず、どうにかして定数を動かそう、定数を変数にしようとする人がある。でもそれは叶わない努力になる。そうではなくて、変数を見極めて、どこに時間と労力を集中すべきかを考えるべきである。」という話をされていました。

この話を聞いて以降、勉強時間については、「これ以上、やりようがないのだから、やれる範囲でベスト、ベターなパフォーマンスをすればいい」と考えられるようになりました。3年目は朝、昼の勉強時間を確保することはなく、1年目、2年目よりも勉強時間が短くなっていましたが、土曜日曜の日中であっても、午後8時から12時までの4時間が自分の勉強時間であって、その他は家族との時間だと考え、以前のような焦る気持ちはまったくなくなりました。当然、集中できない日、体調不良の日、仕事の予定が入って勉強時間を確保できない日もありましたが、これらも自分ではどうしようもない「定数」と考えて、悩むことはしませんでした。本試験2週間前でもない限り、1日休んでも大きく影響はないので、「今日は戦略的に休めた」と考えれば十分です。私は、この気づきがあったからこそ、安定した精神状態で受験勉強に向かうことができました。

7. 学習計画について

私は、細かな学習計画を立てることは、性格が雑なのでしませんでした。メンタルの維持にもつながりますが、計画通りできなかった場合に、「できた事実」があるにもかかわらず、「できなかった事実」が積み上がっていくのは、決して気持ちの良いものではありません。ただ、思い付きで学習を進めるわけではなく、どこを学習したかについての記録はしました。テキストには目次があります。内容を各章ごとに分けてくれています。その章ごと、もしくは量の多い章は節ごとにわけて、その単位で学習するようにしていました。学習した章単位に日付を記入しました。終わった時に「明日はこの章をやろう」と決めれば、それが私の翌日の学習計画になりました。繰り返し学習をしていきますので、前回いつ学習したのかが把握できます。すると、「学習した事実」だけに触れることになります。だんだんとスパンが短くなってきていけば、全体を回すスピードが速くなってきたこともわかります。また、得意不得意の差から、科目ごとに学習の濃淡が出ることもあります。少し離れていた時間が長いとこれだけ知識が抜けてしまうのかということがわかり、プランクと自分の現在地を把握することにつながりました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

1. 講義動画視聴

私は、竹田講師のインプット講座を受講しました。講義動画は2倍速で視聴しました。その理由は、視聴に時間をかけることを避けたかったからです。幸いにも、竹田講師の講

義は、2倍速でも聞き取ることができましたので、倍速視聴で問題ありませんでした。1チャプターが比較的短くかつ区切りよく構成されているので、1日に1.5時間から2時間（2倍速視聴のため、内容は3時間から4時間分）を視聴して、同日中に該当部分の過去問テキストを解きました。

動画視聴している期間は、その科目に専念しました。複数の科目を並行して進める方法もありますが、2年目以降、動画視聴をしている期間は、「リハビリ期間」と位置付けて、昨年一度頭にいった情報を整理しながら再確認するようにしていました。3年目は、11月に学習を再開したので、丁寧に再確認しつつ、まずは配信スケジュールに追いつくことを最優先しました。

2. 過去問テキスト、中上級オリジナル問題集

アガルートアカデミーの社労士講座では、アウトプット教材の中心は、「過去問テキスト」になります。過去出題された本試験問題は、受験生の共通知識になるため、過去問演習がいかに重要であるかは、講義内でも講師が何度も説明されているとおりです。「何度回したか？」という回数にはこだわる必要はないと思います。自分が、ある一肢を正解できたのか否か自体には意味はありません。その一肢の正誤判断をした思考手順を確認する作業をすることに意味があります。だから、その一肢の正誤自体を覚えてしまっても問題ははありません。具体的には、問題文には論点のキーワードが含まれていますので、鉛筆でその箇所をマークしながら読み進めます。このマークする作業は、問題文の読み飛ばし防止にもなります。これで論点の判断に必要な情報を充足しているか一目でわかります。解説部分には、解説文の記載で不足すると思えば、自分の思考手順を加筆しておきました。

また、過去問テキストにも目次があります。例えば、各章ごとに「第1問～第33問」のように書き込みました。こうすることで、章ごとの過去の出題数の濃淡が分かるようになります。テキストだけでは、この濃淡がわかりにくいので、学習の力の入れ具合の参考にもなると考えていました。

「中上級オリジナル問題集」についても、使い方は過去問テキストと同様です。問題数が過去問テキストよりも少ないので、過去問テキストに加えて活用しても負担にはなりませんでした。

3. インプット講義終了後

講義動画の視聴が終わると、アウトプット中心になりますが、私は、学習計画として章ごと（量の多い章は節ごと）に分けて学習していましたので、該当の章のテキストを通読して、その後、過去問テキスト、中上級オリジナル問題集を解くという流れを取りました。1科目1時間を目安にしていたので、半分は通読、半分は過去問演習でした。正確なのが怪しいですが、多い科目で6回、少ない科目で4回と記載が残っていました。

過去問テキストで問われている論点は、科目内の「点」でしかありません。点を少し広げて「円」にしていく取り組み、点と点をつなげて「面」にしていく取り組みが必要だと考えたからです。そのためには、総合講義のテキストの確認、通読は不可欠です。他の受

験予備校の基本テキストを読んだことはありませんが、市販されている社労士試験の基本テキストと比較すると、アガルートアカデミーのテキストの情報量は膨大です。定着具合を測る方法はありませんが、初見の問題を解いている際に「この論点はテキストのあの辺りに書いてあったな」と気が付く機会が何度もありました。あの膨大な情報量は、合格に必要な十分な情報量であることと同義です。月並みな表現ですが、目移りすることなく、決めた1冊を徹底的に仕上げるのがやはり合格への最短ルートだと実感しました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社労士試験において、横断整理は避けては通れません。知識の混同しやすい部分は、作問者としても出題しやすいと思いますので、直前期にこのような趣旨の講座の受講は効果的です。また各科目の総論部分が中心になります。基礎知識の重要性は上記のとおりですが、科目横断整理講座を通じて、より精度を高めていくことができます。テキストは、図が多く記載されており、また薄いため本試験会場に持っていく資料としても最適です。学習を進める中でどんどん書き込みをして、本試験までにオリジナルのテキストにしていけることができます。

講義は1度視聴しただけでしたが、単なる知識の説明ではなく、なぜ科目ごとにキーワードに違いが出るのかなど、制度趣旨を含めた説明がありました。単なる暗記に頼らず、理解することができる内容になっていました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験の特徴の一つに、法改正の多さがあげられます。独力で法改正事項を、試験に必要な範囲、深度でまとめるのは不可能だと思いますので、法改正対策講座の受講は必須といっても過言ではありません。

総論講義内でも収録に間に合う部分の法改正事項への言及はされていますが、改めて別講座として解説があることは、復習にもなりますので効果的です。また、テキストがコンパクトにまとめられていますので、本試験会場にも持ち込めます。

法改正事項は、アウトプットの機会がありませんので、予想問題などで出されたものをテキストに情報一元化するなど少し工夫をすると、相乗効果が出てくると思います。本試験会場にもテキストを持ち込んで、試験直前に読み込みました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

講義は1度視聴しました。どうしてもとっつきにくいのが統計・白書でした。模擬試験や本試験の労一、社一で、一度でも基準点割れを経験したことがあると、その怖さに怯える受験生も多いと思います。私もその一人でした。

平野講師が講義内で、「自分の感覚と違う部分を押さえるようにしてください」という趣旨の話をされていたのが印象的でした。まさに統計白書対策の真髄だと思います。また、統計などをグラフでまとめられていますので、視覚的に捉えることもできました。

直前期にインプットするには負担が大きいので、どうしても労一、社一では法令中心に

なってしまいましたが、あえてテキストを読み込む時間をもう少し設けてもよかったかなと思っています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、受験を成功させるうえで、本試験のシミュレーションという位置付けであり、必須だと考えていました。シミュレーションとは、外部会場、時間配分、解答順序、マーク作業、出題予想などを指します。池田講師がホームルームの中でも言及されていたので、私は他の受験予備校（１社）の模擬試験（３回分）を受けました。

択一式は１科目25分で解答することを目指して取り組みました。予定では35分余ることになります。この余る時間は、見直しや再度検討する時間に充て、予定より時間がかかれば、この余りの時間で調整しました。私は、試験開始と同時に、問題冊子に７科目のタイムスケジュールを書くことから始めました。科目ごとに解き終わったら、その横に終了時間を記入しました。択一式は３時間30分の長丁場で、時間感覚が狂うことがありますので、それを防ぐ趣旨です。

あとは、トイレに行くタイミングも含めての時間管理が必要です。疲労回復や気分転換のために戦略的にトイレ休憩を利用することもしました。

解答順序については、選択式は第１問（労働基準法）から順に解きました。択一式は、①国民年金法→②厚生年金保険法→③健康保険法→④労働基準法・労働安全衛生法→⑤労災保険法・徴収法→⑥雇用保険法・徴収法→⑦労一・社一の順で解きました。頭が疲れていない状態で、得点源になる年金２法を解きなかったということから、２日目からは、この順序に固定してすべての模擬試験、本試験を解きました。

模擬試験は、成績で現在の理解度等を確認できますが、成績よりも復習が大切です。直前期には、模擬試験の問題も問題演習に加えていき、５肢択一式の感覚になれることも必要です。複数回模擬試験を受験される場合は、次の模擬試験までには、模擬試験の復習と全範囲の総復習を終えたいです。直前期のペースメーカーとしても機能させるといいのではないのでしょうか。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

竹田講師、池田講師、平野講師、本当にありがとうございました。もう少し早く合格できればよかったのですが、３回目で無事に合格をすることができました。３回の受験でいろいろな感情や自分と向き合う貴重な時間となりました。自分の受験番号を見つけたときは、喜びというより安心しました。直接、お会いしてお礼を伝えたい気持ちでいっぱいです。そんな機会があればと願っています。

私は現場で社会保険労務士という資格を生かしたいと受験を決めましたので、今後どのように生かしていくかが問われていくことになるのだらうと思います。とある地方都市での奮闘ぶりが風の便りとなって、先生方のもとに届くくらい頑張っていきたいと思います。

令和6年

社会保険労務士試験合格

勉強しようかどうか迷ったときは5分でも1問でもやる

西片 彩花さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

大学2年生の頃、自身の将来について考えた際に、「資格を持ち、専門的な知識を活かして働きたい」そんな漠然とした考えが浮かびました。それから資格について調べていく中で、社会保険労務士を知りました。

社労士試験の学習内容は、年金や育児休業、傷病手当金など身近な制度に関することが多く、自分や周囲の人が困った時の役に立てればと思い、勉強を始めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

1回目の受験の際、私はアガルートの「入門総合カリキュラム/フル」を受講しました。まず、通信講座にしたのは、教材選びに苦戦したことがきっかけです。書店に並んだ何種類もの入門書や問題集、対策教材を見て、初学者の私には何が必要なのか全く分かりませんでした。そこで、合格に必要なものが全てそろっている通信講座で検討することになりました。

次に、価格と講義・テキストの内容をいくつかの予備校で比較しました。アガルートは他の予備校と比較し、リーズナブルな価格で高い合格実績がありました。合格特典も豪華で、勉強のモチベーションに繋がると感じました。講義・テキストの内容は、サンプル動画を視聴し比較しましたが、アガルートの竹田講師の講義内容が特に頭に残りました。説明の順序、具体例の使い方、声の聞き取りやすさがその要因だったと思います。テキストは、太字や図表、重要ポイントなどで情報が整理されておりとても見やすく、十分にスペースもあるため、書き込みもしやすいと感じました。

そして私は2年連続、アガルートを選びました。

1回目の受験では選択式の足切りで1点足りず、不合格となってしまいました。しかし、

総得点は合格点に達していたこと、そして、私が誤った箇所が使用していたテキストに記載されていたことから、このままアガルトのテキストを使って学習を進めれば合格できると思い、「中上級カリキュラム/フル」の受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

社労士試験の学習をする上で特に工夫したことは以下の2つの要素に分けられます。

1つ目は、知識の定着スピードを上げることです。そのためには、アウトプットの機会を設ける必要があると考え、過去問で演習をするに加え、声に出して自分の言葉で説明するようにしました。また、1日の学習を通して、理解が足りていないと感じたところや重要だと思った論点を、寝る前にスケジュール帳に書き込み、翌日の学習開始の際に目を通すようにしました。

2つ目は、モチベーションの維持です。長期間モチベーションを維持するため、常に小さい目標を持って学習に取り組みました。具体的には、週ごと、月ごとに学習時間や教材の進捗について、数値的な目標を設定しました。

目標を設定した後、行動する際に心掛けたことは、「迷ったらやる」の意識です。勉強しようかどうか迷ったときは、5分でも、1問でもやるようにしていました。少しやり始めると、「もうちょっとやろうかな」という意識に変わる日もありました。何より、少しでも勉強をやったことが日々の達成感につながり、前向きに勉強を続けることができたと思います。

勉強を続けられた環境や、常に応援してくれた家族、目標に向かって刺激し合える友人に感謝したいです。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

①日々の学習

全ての講義動画を1周しました。社労士試験は暗記能力を問われますが、制度の背景や条文の文言の意味合いなどを理解していることが、問題を解く際のヒントになったり、暗記の手助けになったりします。アガルトのテキストは背景や趣旨が丁寧に記載されているため、分厚く、とても濃い内容です。さらに、竹田講師がテキストに記載されている内容を、噛み砕いて解説してくださり、講義を視聴することでテキストの理解度がグッと上昇しました。20分程度の短いチャプターで区切られており、見直したい部分を再度受講する際にもとても使いやすかったです。

②直前期のテキスト読み込み

試験直前の約10日前からは、総合講義のテキストの読み込みを徹底的に行いました。7日間で1周し、残りの3日間でもう1周するくらいのペースです。ただ読むだけでは集中力が切れてしまうと思い、テキストの読み方を工夫しました。

1 周目は、条文ごと、あるいは論点ごとに区切り、理解度を4段階でレベル分けしてテキストに◎、○、△、×の記号をメモしていきました。具体的な基準はありませんが、「出題されたら嫌だな」「過去問や模試でいつも悩むな」と思うものには△か×をつけていきます。そして該当する過去問を見ることで、問われ方を確認しました。そして、2 周目では、◎と○に軽く目を通し、△と×を重点的に読み込みました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

私は、テキストに太字で記載されているような基本的な文言であったのにもかかわらず、正しく選べなかったことで、選択式で足切りになってしまうという苦い経験をしました。1 回目の受験の際は、択一式の対策をしていれば、選択式でも得点できるようになると思っていましたが、合格するためには不十分でした。テキストで条文や太字をただ読み込むのではなく、「ここが出題されたらどんな選択肢が用意されるか」といった予想もしながら読み込むことで、数字や文言が印象に残りやすいと感じます。

選択式集中特訓講座の豊富な問題数をこなすことで、その感覚を養うことができたと同時に、自分でテキストを読んでいる際に流れてしまっていた重要な数字や文言に気づくことができました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

説明や制度趣旨が丁寧に記載されている総合講義に対し、科目横断整理講座は、項目ごとに各科目の特徴的な部分がギュギュっとまとめられています。主に、講義で竹田講師が話されていた内容の復習で、紛らわしいポイントを整理し、暗記の手助けをしてくれます。「消滅時効」「記録の保存期間」「罰則規定」など、数字が絡む部分は、特に選択式で確実に得点できるように、何度も確認しました。表や図がとてもわかりやすく、一目で確認できる点が魅力です。

他のテキストよりも薄く、1冊で何科目にも触れることができるため、模試や本試験に持参して、お昼休みの時間に読んでいました。テキスト冒頭には目的条文がまとめられており、試験前の最終チェックにもおすすめです。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験は法改正事項が頻出ですが、ただでさえ覚えることの多い社労士試験の勉強をしながら、自力でインターネットや市販のテキストを使って直近の法改正まで網羅することは難しいと思います。法改正対策講座は、直近の法改正までを網羅しており、取りこぼしなく対策ができるのが特徴です。また、法改正対策講座を担当された講師が、総合講義と同じく竹田講師だったので、総合講義の際に触れた法改正を復習するような感覚で動画を視聴することができました。重要な法改正については、どのように変わったか、という結果だけでなく、なぜ変わったのか、変える必要があったのかなど改正の背景についても説明してくださるので、理解を深めることができました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

模擬試験や問題集とは異なり、本試験の問題は、聞いたこともないような肢がたくさん出てきて、受験生を惑わせてきます。合格に近づくためには、そういった選択肢に惑わされずに自信を持って判断できる正確な知識を増やすことだと実感しました。

過去問マスター答練は、過去問集の一問一答とは異なり、実際の試験問題を解いてみることができ、基本を確実に押さえる意識で勉強ができたと思います。HPなどで過去問を見ることはできますが、解説は付いていないため、解説付きの本冊子を活用しました。

択一式では4点を死守しなければならないので、復習の際は、正答率が低そうな問題やテキスト未掲載の論点にはあまり時間をかけず、テキストに太字で記載されている事項を繰り返し確認しました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練は、5月中旬頃に自宅に届き、力試しとしてすぐに利用しました。自分で購入した公開模試の初回が5月下旬だったため、その前に5肢択一の問題を解く感覚を思い出すことができました。選択式対策は実際に問題を解く機会が貴重なので、各科目2題ついている実力確認答練は、とても重宝しました。また、選択式の解き方のコツについてのお話があり、参考にさせていただきました。

内容は、講師の方が言われていたように、基本的なことを問う問題がほとんどだった印象です。ただ、満点は取れなかったのも、間違えてしまった所は、危機感を持って復習を行いました。実力確認答練の講義動画を聴き、該当する総合講義の箇所を再度視聴しました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

講義動画は1周しました。講義を聞く際は、「大体何割くらい」とざっくりした数字をつかんでいくことを意識しました。また、平野講師が、テキストの余白に何かしら一言でも書き込むといい、とおっしゃっていたので、講義の内容を参考に、統計を見て感じたことなどを余白に書きました。特に、「意外だな」と思ったことは積極的に書きました。

テキストには、統計ごとに付箋を貼り、毎日のドライヤーをする時間を使って、2つは目を通すようにしました。その際は、労一の選択式対策として、統計の名称を見たときに、統計の目的が紐付けられるようにすることを意識しました。

模試で統計問題を安定して得点することは難しかったですが、テキストに繰り返し目を通したことは、試験当日の安心材料になったと思います。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は、8月上旬、試験前最後の実践形式の演習として利用しました。8月に入ってから利用したのは、なるべく、試験本番まで問題を解く感覚を鈍らせないようにしたためです。直前期までに過去問は繰り返し解いていたため、既に○か×か答えを覚えてしまっているところが多かったです。そこで、アウトプットをする機会になればと残して

おきました。

難易度は本試験と同じくらいでした。テキスト太字の基本論点で確実に得点する意識を持ち、本試験に近い感覚で練習ができたと思います。また、テキスト細字の部分や法改正が絡んだ論点も含まれており、知識の捕捉をすることができました。アガルートの方が厳選した論点を、最後の仕上げとして確認し、自信を持って試験に臨めたと思います。

令和6年

社会保険労務士試験合格

テキストと過去問はセットで交互に取り組んだ

小林 功さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：4 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私は以前、人事課で労務管理の仕事に携わっていました。そこでは社長の考えや経営基本方針に感銘を受け、それに沿って従業員に働きやすい環境を提供できるよう一生懸命取り組んできました。

その後、私が体調不良により地元に転勤することになりました（そこに人事部門はなく部署も異動）。そこでは信じられないほど真逆の環境にあり、作業最優先で、法律や経営基本方針、安全衛生活動、そしてモラルが軽んじられており、とても働きやすい環境とはいえない状態でした。

私は、これまで得た知識や経験を元に管理職と話し合い、時にはバトルをしてきましたが、深く根付いた習慣を修正していくのは容易ではありません。そこに立ちほだかるのは肩書きという障壁です。肩書きのない者がいくら正しいことを言っても受け入れられず、誤った考えでも管理職の意向で進行してしまいます。

また、別件で、私が障がい者手帳の交付を受けるため市役所の窓口で年金の説明をされた際、私は受給の対象外と言われました。しかしながら、その6か月後、病院で対象であるということを教えて頂きました。そのことを市役所の担当者に指摘しましたが取り戻してもらえず、逆に、過去にこだわるのではなく未来に向かうようにと怒鳴られました。困っている市民を助けるはずの障がい福祉課による誤った対応で、逆に困難な状況に陥ってしまいました。結局、これといった謝罪もないまま、その期間の年金はもらえずじまいでした。

そこで痛感したのが、知識と資格の重要性です。会社では役職が上位にきますが、社会では資格がそれを上回ることができ、誤った考えの管理職を含め従業員を正しい方向に導きやすくなります。知識があれば市役所の窓口にて最初の段階で正しい手続きができたは

ずです。

このように、世の中には困っている人はたくさんいるのではないかと、自分のこれまで培った経験を元に、さらに深く広い知識を身につけて、困っている人の手助けをしたいと思うようになり、資格取得を強く決心しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートで頑張ろうときめた理由としては2点あります。

まずは、自宅が郊外にあるため街中の学校に通うのは通学が大変だったこと、勉強を始めようと思ったのが、コロナが流行した頃だったため自宅でできる通信教育が希望だったことがあります。

その中で、アガルートはテキストで出題カバー率が90%以上ということ、合格率が28%で全国平均の4倍というところに魅力を感じました。

合格体験記・学習上の工夫

テキストでは1回目に読むときはアンダーラインを引きながら、じっくり読みました。そして、読み終わった科目毎に過去問を解いていきました。2回目にテキストを読む際には、講義の動画も合わせて視聴し、先生の話をよく聴きました。

講義の音声なしで自分一人で読む場合、私は本を読むのが苦手なため、無意識のうちに他のことを考えていたり、ぼーっとしていたりと、なかなか進まないことがありました。

しかしながら、講義を視聴し、先生がテキストを読まれるのを聴きながら目で追うと頭に入ってきやすく、先生にリードして頂く形になります。こうやって、テキストが終わると科目毎に再び過去問に取り組みますが、正解したところは飛ばし、間違ったところに臨みます。

テキストと過去問をセットとして3往復やったと思いますが、私はアガルートで3年目だったのでトータルにすると10回近くはやってると思います。

竹田先生の話は、単に記憶しようとするのが難しいことでも、その背景や理由を説明して下さるのでスムーズに入ってきやすかったですし、記憶に残りやすくなるということで、とても助けて頂きました。

仕事の日では通勤時間や休憩時間、休日には移動中など、できる限り先生の講義をダウンロードして聴いていました。講義の音声を聴くことにかなりウエイトを置いて継続していましたので、竹田先生の言葉や声が多く頭に残っており、試験中もそれに助けられたことが幾度となくあります。

また、音声を聴く際の工夫として、慣れてくるにつれて再生速度を速めていきました。それは、試験の本番ではどうしても時間との戦いになります。本番を想定し、普段からスピードを意識し、速く読みながらでも内容を理解できるように心がけていました。最終的

には再生速度を最速で聴くのが適度なスピードになり、試験本番ではこれが功を奏したと思います。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

私は勉強を始めたときには、まずは書店で購入した他社のテキストと過去問で行いました。初めてだからというのものもあるかと思いますが、なかなか理解できず、時間がかかり、結局その年の試験は不合格でした。

2年目からはアガルートにお世話になりました。勉強を始めるときの感想としては、とても分かりやすいの一言でした。科目毎に冊子が分かれているのと、1冊1冊が厚く内容量が膨大だというのが理由です。そして、さらに講義の動画もあるため、説明も分かりやすかったです。

とはいえ、そう簡単なテストではないため、初めはその膨大な量に驚き、戸惑いました。読み始めてもなかなか理解できず、1科目でさえ、いつ終わるのだろうという不安や焦りがありました。しかしながら、何度も繰り返しているうちに、自然と理解できるようになり、終盤では、勉強するのが日課になるとともに楽しくなっていました。分かってくると楽しくなるし、楽しくなるとさらに興味や向上心が湧いてくるという好循環が生まれてきます。

とはいっても、自信がついてきたとはいえ不安や焦りはなくなりません。そういう時は、毎月の定期カウンセリングで竹田先生との会話やアドバイスを助けられました。進行具合や不安を相談する中で、励まして下さったり、アドバイスを下さったりしたことで、不安や焦りも和らぎ、それがやる気へと変わり、また継続することができました。ありがとうございます。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

全体を通して、選択式への対策として勉強をした割合はそう多くはありません。通常は択一式の勉強をメインに行うことで、それが選択式の対策を兼ねているつもりで進めていました。

試験が近くなってくると選択式集中特訓講座に臨み、中でも苦手な労一と社一を中心に取り組みました。やり始めると、穴埋めになっている箇所が難しかったり、長かったりして、とても焦りましたが、間違いながらも全ての問題に取り組み、それを繰り返しました。やりながら念頭においていたのは、穴埋めの箇所だけではなく出題の文章全体をみながら、どこにでも対応できるように心がけていました。

また、目的条文の対策として、アガルートのYouTubeにある元アナウンサーさんの朗読をダウンロードし、講義の音声と同じように、できるだけ聴くようにしていました。イメージとしては、好きな曲を何度も聴いているうちに歌詞まで覚えるような感じです。このこともあり、完全に覚えていないとしても、穴埋め問題に臨むとスラスラ解けました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

勉強を始めた頃は、各科目で似たような内容があり、覚えていたことと真逆の内容など、とても混乱していました。それは科目毎にしっかりと理解できていなかったからです。そういうときに、この科目横断整理講座にとても助けられましたし、その名の通り、科目毎の相違点の整理にとても役立ちました。その混乱の原因が分かったと、さらに科目毎に理解が深まり、強固なものになっていった気がします。

ここに載っていない箇所でも、科目毎に整理が必要なものは独自にメモをとり、小冊子にして後で見返して覚えられるようにしました。例えば、産休や育休に関する手続きの締め切り日や免税対象となる期間などです。こういう煩わしいところを一つ一つ潰していくと全体がクリアに見えてきました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正の箇所については試験に出やすいということもあり、重点的に取り組みました。テキストにおいては、これまで3年分が改正マークの対象になっていたのが、今年は1年分に変更になったとのことで、とても見やすくなり、的を絞りやすくなったと思います。重要度も星マークで表示されているので勉強の配分も無駄なくできて、やりやすかったです。

模擬試験や本試験の当日、テキストを多く持って行くのは重くなり疲れるため、法改正対策講座と科目横断整理講座に絞って持参し、会場までの移動中や試験開始までの時間に最終確認を行いました。直前に見返していたところが試験にでたことも多くあり、これも試験本番では功を奏したと思います。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

まずは過去問全体のことになります。

勉強をする上でテキストを読んで内容を理解していくのですが、理解しているつもりでも本当に理解できていないこともよくありました。そういうときに、過去問に取り組み、自分で考えることで確実に理解でき、それが身につくということに繋がりました。テキストに書いてある内容でも試験では表現が違っていたりして、該当箇所であることに気がつかないこともありました。こういう場合に、お互いをつなぎ合わせてくれるのが過去問でした。竹田先生が講義の中で言われていたのが、「初見の問題でもその場で考えることで正解にたどり着ける」という言葉でした。私は、いつもその言葉を念頭に、自分で考えられるようになることを目標に、テキストと過去問はセットとして交互に取り組むようにしていました。

過去問マスター答練については、その集大成として、7月から8月の本試験の前に、試験当日を想定し、時間設定も本試験と同様に行うことで、当日のイメージトレーニングになるよう臨みました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

勉強を始めてから、自分がどれくらい向上できたかという不安は常につきまとっていました。公開の模擬試験も本番近くにならないと開催されないこともあり、どうしていいか分からなくなることもありました。

しかしながら、不安がってばかりいても仕方ないので、テキストと過去問をセットに繰り返し取り組みながら、講義の音声も時間さえあれば聴くように継続し、これを勉強の基本の手順として崩さないように保ってきました。

その中で、実力確認答練を間に挟みました。何をするにしても本試験を意識して、本番のつもりで、今の自分の力試しとして臨みました。思うような結果にならないこともありました。それはあまり気にせず、基本の繰り返しを継続するように心がけていました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

労一と社一、特にその中でも白書については苦手です。範囲が広すぎて何をやっていいか、どこまでやっていいかわかりませんでした。

しかしながら、ある時に気がつきました。労一と社一、苦手だとは言っても、模擬試験や本試験でも4～8点など波はありますが、そこそこ点数はとれるのです。そこから、試験の設定上とれるように問題が作ってあるのだと自分の中で勝手に都合のいいように解釈しました。一見、賭けみたいにも思えますが、そうでもしないと全てを把握するのは無理だと思いました。これまで足切りにあったことはないのです、4点さえ取ればいい、その分、他の科目でカバーするという作戦です。

特に、白書については、問題の一つ一つを意識するというよりは、世の中の全体をイメージし感覚をつくりあげるつもりで取り組みました。

具体性がなく分かりにくいと思いますが、申し訳ございません。要するに、白書にはそこまで労力と時間をかけないようにし、広く浅くという感じで取り組んでいました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

長い間、勉強を続けてきて、いよいよ集大成というところ、8月の本試験前に模擬試験に臨みました。

私は他の学校の模擬試験も受けるようにしていました。思うような点数が取れないこともありました。あまり気にしすぎないようにしていました。

この頃になると、試験に臨むのも苦ではなく楽しいと思えるようになり、問題の作成者と対話しながら解いているような感覚でした。

また、無理に満点を狙うのではなく、合格基準点さえクリアできればいいとの開き直りもありました。

なので、難しい問題も解けるようにならないといけないという欲やプレッシャーは捨て、基本の問題については必ず正解できるようになる、という考えで臨むようになりました。そうすると、問題に素直に向き合えるようになったというか、基本問題と難関問題とを判別できるようになった気がしましたし、難関問題に無駄な労力と時間をつぎ込まなくてす

むようになりました。

問題一つ一つを正解する力はもちろんですが、全体の構成を把握する力、時間や労力をうまく配分する力も必要であり、それを練習するのが模擬試験だと思います。

定期カウンセリングオプションの受講有無

あり

定期カウンセリングのご感想・ご利用方法

私は、初年度は書店で購入したテキストで勉強をしましたが、全体的に内容が分かりにくかったり、不明な点について質問の機会もないため、分からないまま放置する箇所もありました。

アガルートの定期カウンセリングでは、分からないことについてアドバイスを頂くことができ、とても助かりましたし、勉強で行き詰って不安になっていることなど相談にのって頂いたり、励まして頂いたりすることで、また次の1か月間を前向きな姿勢で勉強に取り組むことができました。

初めは何を聞いていいのか、何を話していいのか分からなかったのですが、勉強が進んでいくと質問や不安なことがどんどん出てきて、それに丁寧に答えて頂けるので、この時間が楽しみになっていました。

講義の音声をダウンロードしてよく聴いていたこともあり、竹田先生の体験談が興味深く、それによって記憶に残りやすいというもありました。その竹田先生が直接お話しして下さるということで、特に、この不安の解消ややる気の醸成という点において、とても助かりましたし、感謝しています。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

長い間、勉強中心で外出やアルコールも控えめにしながら、合格できる日を夢みて頑張ってきました。現在、特定社会保険労務士の試験に向け、新たに講座に臨んでいます。

また、竹田先生が講座の中でお話しされていたキャリアコンサルタントの資格も並行して申し込みを進めているところです。今後の資格取得、そして、それらを活かして仕事できるように頑張っていきたいと思います。

合格できて、さらに先に進めるようになったのも、竹田先生、池田先生をはじめ、皆様のおかげです。ありがとうございます。

令和6年

社会保険労務士試験合格

時間を投資するだけの価値がある講義だった

福士 奈央子さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：11 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

キャリアコンサルタントとして働く人のキャリア相談のほか、各種企業研修・組織開発研修に携わる仕事が増えてきたところで、もっと専門的かつ包括的に企業と働く人の役に立ちたいと思い、社労士の受験を決めました。

自分自身も相手のことを深く知った上で専門知識を提供・活用していただくことに仕事の価値を感じており、自分は社労士の仕事のスタイルが合うと感じた点も合格率が高くない試験を受験するという大きな決断をする上での決め手となりました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

令和5年度の試験では選択式総合点が1点足りず不合格となり悔しい思いをしました。次の試験では絶対合格したい、合格するなら少しでも余裕ある合格を目指そうと思いました。再受験にあたってこれまでの自分に向き合った結果、制度の全体の理解が足りず知識のつなぎ合わせができていなかったことが課題であったことがわかりました。

1年目は他社の通信教育を利用していましたが、さらに制度や背景を深く理解したいという強い思いがあり、テキストカバー率に定評のあるアガルートの受講を決めました。制度の面では他校乗換割引制度も受講を決めた後押しとなりました。

合格体験記・学習上の工夫

まずは講義動画の早期視聴を徹底しました。時間的に余裕がなかったことから予習は省略し講義がリリースされたらとにかく早いタイミングで講義を聞くことを心がけ、知識の再整理を行うことに集中しました。途中、仕事と子育ての両立で大変な時や、予定通りに

いかない時もありました。遅れた時はチャプターに関係なく1日ごとのテキストページ数のノルマを決め、なんとかやりきったという時もありましたが、講義を視聴し終えるまで1日も休むことなく続ける事ができました。

時間の配分については、得意と感じていた労働系科目は一通り知識をおさえる程度とし、苦手と感じていた社会保険科目は重点的に聞き、優先順位を意識しました。周辺論点など整理したい情報はきれいにまとめることはせず、テキストにメモで書き込み一元化するようにしました。特に社会保険科目の教科書はメモをたくさんしたため、講座を通してテキストをカスタマイズして育てた気分にもなりました。

講義動画の早期視聴が終わったら同時進行で過去問演習に取り組みました。過去問集は外出時のバッグに必ず1冊入れるようにして、スキマ時間をとにかく利用することを意識しました。合計5周はしていると思います。

講義では考え方だけではなく、選択式に出そうな論点の確認があったため、早い段階から選択式を意識しながら勉強を進めることができました。

本番の試験は決して余裕が持てるとは言えないものですが、選択式に苦手感を持つことなく落ち着いて解き進めることができたことは、アガルートの講義のおかげだと思います。

今年の試験では前回よりも落ち着きたい心理状態で選択式に臨む事ができました。このことが選択式は試験本番でも満足いく点数が取れただけではなく、後半の択一式にもいい影響となったと感じています。早い段階で選択式を意識したテキストおさえができたことも合格へと結びついた要素のひとつだったと感じています。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

テキストの厚さに対して情報量の多かったことに初めは圧倒されましたが、竹田講師は重要なところは重点的に、周辺情報がほしい時は社労士としての豊富な実務経験からのコラムのようなお話で聴きやすさを保ちながら必要な知識を補強してくださったため、メリハリをつけて講義を聞く事ができました。

私は聞くことがあまり得意な方ではないので、長時間の講義を聴き進めることは難しいと感じた場面もあったというのが正直なところでしたが、講義のなかで竹田講師の実務経験談を聞くことで資格取得後のイメージを膨らませる事ができ、いい緊張感とモチベーションを保つことができていたと思います。

仕事や家族のこともあった私にとって時間の確保は最後まで課題でしたが、終わってみて感じることは講義時間内に詰まった必要かつ十分な情報量の講義が時間内に収まっていたことはとても価値のある講義だったと思います。これから受験される方は試験まで限られた時間を工夫しながら対策をしていくことと思われそうですが、時間を投資する分の価値のある講義だったと後になって感じています。

試験直前期にはテキスト本文と巻末に掲載されている法律条文に何度も助けられました。特に社会保険科目の各種重要論点では、条文ベースでより深い知識にしたいときは、条文を読み返し理解を正しく理解することで力がついていったように思います。テキストに書

き込み、手を動かしながら理解を深められたことは後の社労士としてのキャリアを積み上げていく基礎になりそうです。

また試験当日の夜、アガルート講師の皆様の試験総評動画を視聴していた際に、法改正などの試験対策論点に対して講師の皆様の講座への盛り込み方や制作の意図に触れる機会がありました。講義動画受講のタイミングでは気づけなかったのですが、作り込まれた講義であったことを改めて知り、今回の合格は決して自分だけではなし得なかったことを改めて感じました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

講座名の通り、条文から白書系の情報まで多くを網羅した集中特訓問題集でした。選択式は択一式の延長線上にあるとも言われていますが、この問題集では択一式試験対策だけではカバーできないであろうと思われる論点が満載でした。選択式で時事をおさえることができ、こちらでも一般科目の補強ができました。

初見の段階では正直難しいと感じた問題もあり、このような問題が本番で出たら対応できないと思い焦る気持ちもしましたが、ここは気持ちを切り替え、条文系はしっかりマスターし、白書系はこのテキストで十分と位置付けることにしました。問題集を3周し、初見では難しいと感じた問題も一通りマスターしました。

本番では条文からの出題もありましたので、心の中でガッツポーズをしながら問題を解き進めていた自分がいました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

試験も近づき、演習が進んだ頃に届きました。初学ではなかったので科目横断は経験していましたが、演習に偏った勉強方法と過去の科目横断テキストのビジュアルに頼った暗記だったため一旦忘れると思い出しにくいといった状況でした。

改めてアガルートの科目横断テキストを読み学習を進めると見方がかわって、これまで落としていた情報が見えてきて再整理していくような感覚でした。また、必要かつ重要な論点は簡単にテキストに戻ることで、時間を意識しながら効果的な知識の再インプットのための橋渡しの教材として活用しました。

テキスト学習以後は本番まで記憶を整理・保持できるよう、週1回の見直しを定期的に行うように心がけていました。回数を重ねると記憶として定着していきました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

令和6年度試験は比較的法改正の少ない年度でしたので、重要な箇所を中心におさえる戦略でいきました。

テキストが届いた時期は条文を読み込む力がついていなかったのでピンポイントに変更点をおさえるにとどめましたが、超直前期には条文を読む楽しさも感じ始めていたので総復習として過去問演習時の気分転換として条文の新旧比較表も一通り目を通しました。

個人的にはもう少し早い段階で深く学習すればよかったかと反省することもありました

が、必要最低限におさえたテキストで重要項目のみを短時間で拾うことができたので試験対策としては必要十分でした。

気持ちの不安を残さないために直前期のスキマ時間で動画を視聴し、法改正に対する心理的不安は取り除いて試験に向かいました。

次年度以降受験される皆様は優先度のバランスをとって法改正の学習も盛り込んでいただけたらと思います。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

コンパクトサイズの問題集はスキマ時間の利用でどこに持ち歩くにも、どこで開くにも重宝しました。各科目難易度別に2冊であったこともレベルに合わせた問題演習で無理なく学習を進める時に便利でした。スキマ時間だけで3周、集中的に2周程度しています。

問題集は1時間ほど集中して答練をしたいという時に解ききれ分量であったことも便利な点の一つでした。問題演習の際の集中力保持にも役立ち、その後の答練の時間対効果が上がったこともあり、問題演習を通じた理解力の増強と集中力の深化にも効果的でした。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

試験対策も大詰めとなった試験1ヶ月前に実力確認答練を行い、比較的満足のいく点数が取れたことが自信となりました。この時は学習時間の確保が課題であった時期なので、必要箇所の選択と集中を意識し取りこぼした箇所を中心に講義を聞きました。

復習で解けなかった問題も基本に近い論点であることが解きながらもわかったため、これまでの演習に加えて、テキストの取りこぼしがないかを確認する勉強方法に拍車をかけるようにしました。実力確認答練には試験直前期に知識の総ざらいをする必要性について大きな示唆をいただいた気がしています。

この時の勉強の進め方では実力確認答練実施後の1週間後に模試を受けるスケジュールを立てていたのですが、この頃には1週間の学習が点数に反映されるようになってきました。試験はより近づいた時期に差し掛かっていましたが、問題を解き進める自信を解ける確信に変えたいという気持ちが強くなり、今思えば最高の精神状態で試験勉強ができていたと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

テキストが全体を押さえつつも重要な統計等の数字が網羅されているだけでなく、整理されているテキストでした。私にとっては試験対策のテキストというよりも、白書に触れていない方向けに全体を意識しながらも必要量を紙面に盛り込んだ一冊の読みやすい入門書という感触の一冊でした。

もちろん、試験勉強時はじっくりと読み深めることはできなかったのですが、試験後に再度読むことに決め重要箇所をおさえることに集中しテキストを一読しました。

私の中で一般常識科目は4点確保ができればOKという位置付けの科目だったのですが、本試験ではこれまで受けてきた過去問や模試よりも得点をする事ができ、択一式の合計点

の積み上げに大きな寄与をもたらす結果となりました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は奇問・難問は少なく、基本論点を確実にという講師陣からのメッセージを受け取った気持ちになるような試験でした。他社模試では正答率などの分析結果が発表される模試もありますが、アガルートの模試は講師陣からのメッセージの通り、間違えた問題は復習して知識とすることを徹底しました。

模試ですので間違えた問題も少なくありませんでしたが、確実に知識として再インプットし消化することを目的と位置付け取り組みました。

実力確認答練の欄にも記載しましたが、模試は実力確認答練の次ステージとして位置付けました。模試は良くも悪くも調子が良くなかったのか実力確認答練ほど満足のいく点数ではなかったのですが、長時間の試験に向けてフィジカル・メンタルも整えていくことの大切さに気づきました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

講師の皆様、スタッフの皆様、1年間大変お世話になりました。

充実した講義とテキストで無事合格する事ができました。

選択式問題集は受験勉強時には難しさに驚く問題もありましたが、登録後は一般レベルの情報になるでしょうし、関連情報は自ら収集・吸収する大切さを学んだと思っています。

令和6年

社会保険労務士試験合格

豊富な教材と実績ある講師陣に惹かれて 受講を決意

佐藤 靖さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：6 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

社労士試験を目指した理由は、労働者の権利や福利厚生に対する関心からです。社会問題に対して具体的に貢献できる資格として魅力を感じました。また、実務を通じて多くの人の生活に寄与できる点も大きな動機となっています。試験を通じて専門知識を深め、より良いサポートができるようになりたいと思っています。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけは、豊富な教材と実績ある講師陣に惹かれたからです。オンラインでの学習環境も魅力的で、忙しい日常の中でも効率的に学べると感じました。また、受講生のサポート体制が充実しており、孤独を感じずに勉強を進められる点も大きな魅力です。質の高い指導を受けながら、目標達成に向けて頑張りたいと思っています。

合格体験記・学習上の工夫

私が社労士試験に合格した経験を振り返ると、いくつかの学習上の工夫が特に効果的だったと感じています。まず、計画的な学習スケジュールの作成です。試験日から逆算し、月ごと、週ごとに目標を設定しました。このように具体的な期限を設けることで、モチベーションを維持しやすくなりました。次に、教材選びも重要なポイントでした。豊富な教材と分かりやすい講義に助けられました。特に、動画講義は自分のペースで何度でも繰り返し視聴できるため、理解が深まるのを実感しました。また、要点をまとめたテキストを活用し、重要なポイントを整理して反復することも意識しました。さらに、過去問の活用も

欠かせませんでした。定期的に過去問を解くことで、自分の理解度を確認し、弱点を把握することができました。実際の試験形式に慣れるため、時間を計って模擬試験を行い、試験環境に近い状況で練習しました。

最後に、リフレッシュの時間を確保することも忘れませんでした。長時間の勉強は集中力を低下させるため、定期的に休憩を挟み、軽い運動や趣味の時間を持つことで心身のバランスを保ち、効率的に学習を進めることができました。このような工夫を重ねることで、無事に合格を果たすことができました。試験勉強は大変でしたが、その過程で得た知識や経験は、今後のキャリアにおいても大きな財産になると感じています。これから社労士を目指す方にも、計画的な学習と仲間との支えが重要であることを伝えたいです。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

中上級総合講義を受講した感想は非常にポジティブで、多くの学びと成長を実感しました。特に、講義の内容が深く、実務に即した知識が身につく点が魅力的でした。講師の方々は専門知識が豊富で、複雑な法令や制度をわかりやすく解説してくれました。具体例を交えながらの説明は、理解を助け、興味を引き立てる要素にもなっていました。

利用方法としては、まず受講前に自分の弱点を分析し、どの分野を重点的に学ぶべきかを明確にしました。その上で、講義を受ける際にはノートを取りながら、重要なポイントをしっかりメモしました。特に、理解が不十分な部分は繰り返し視聴し、必要に応じて関連する教材も参照しました。講義内容を反復することで、知識の定着を図ることができました。講義後には必ず復習の時間を設け、学んだ内容を整理しました。キーワードや重要な法令については、フラッシュカードを作成し、繰り返し確認することで記憶を強化しました。これにより、試験対策だけでなく、実務での応用にも役立つ知識を身につけることができました。最後に、講義を通じて感じたのは、社労士としての実務に必要な視点を養うことができたということです。単なる知識の詰め込みではなく、実務のシミュレーションが豊富だったため、試験合格後に活かせるスキルが身につきました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式集中特訓講座の選択式試験に特化した問題演習を通じて、試験対策を徹底できました。特に、過去問を基にした実践的な問題が多く、試験形式に慣れるのに役立ちました。私の利用方法としては、まず毎回の講義後に必ず復習を行い、解答の理由や解説をしっかりと理解しました。また、苦手な分野は繰り返し解き直し、逐次、自分の弱点を克服するよう努めました。講師の方々は具体例を交えて丁寧に解説してくれるので、難解な部分も納得できる形で学べました。

選択式集中特訓講座は、知識を定着させ、試験対策を効率的に進める上で非常に有意義な経験でした。試験日前の最終週に視聴して知識の定着に活用することができました。問題数が適度でよかったです。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理講座は各科目の関連性を意識しながら学べるため、知識の全体像を把握するのに役立ちました。特に、異なる科目間のつながりを理解することで、より深い理解が得られたと感じています。

利用方法としては、講義を受けた後に必ずノートを整理し、科目ごとのポイントをまとめました。また、理解が不十分な部分は自分で再度調べて補足しました。科目横断整理講座は、知識を体系的に整理し、試験対策だけでなく、実務にも活かせる視点を養うのにとっても効果的でした。試験日前の最終週に視聴して知識の定着に活用することができました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座では、最新の法改正に関する詳細な情報が提供され、実務に即した理解を深めることができました。特に、具体的な事例を交えた解説が多く、法改正が実務にどのように影響するかを具体的にイメージしやすかったです。利用方法としては、まず講義後にノートを整理し、改正内容を自分なりに要約しました。また、法改正の背景や意図についても調べることで、理解を深めました。法改正は常に変動するため、この講座を通じて最新情報を常にキャッチアップする重要性を再認識しました。法改正対策講座は、実務に即した実践的な知識を得るために非常に有意義で、今後のキャリアにも大いに役立つと感じています。試験日前の最終週に視聴して知識の定着に活用することができました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練は、実際の試験に近い形式で問題を解くことができ、自分の理解度を確認する絶好の機会となりました。特に解説が詳しく、間違えた問題について深く掘り下げることで、知識の定着を図ることができました。利用方法としては、問題を解いた後、必ず解説をじっくり読み込みました。また、特に苦手な分野は再度過去問を見直し、復習の時間を設けるようにしました。繰り返し学ぶことで、知識の定着と自信をつけることができました。過去問マスター答練は、試験対策において非常に役立つ講座でした。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練では、実際の試験形式に近い問題が出題されるため、本番さながらの緊張感を持って取り組むことができました。特に、問題の解答後に提供される詳細な解説は、自分の間違いを理解する助けになりました。

利用方法としては、まず毎回の答練を受けた後、解答結果を分析しました。弱点を把握するため、間違えた問題を重点的に復習し、関連する法律や制度を再確認しました。また、答練を受ける前に予習し、事前に重点を置く分野を決めておくことで、より効果的な学習ができました。回数も多くなか復習を効果的に実施できました。試験日前に解説部分の講義を再視聴して知識の定着に活用することができました。本番形式で解いたことも良かったです。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

講座では、白書のポイントを的確に押さえた解説があり、膨大な情報を整理して学ぶことができたのが特に良かったです。利用方法としては、講義中にとったノートをもとに、重要なデータやトピックを自分なりに要約しました。これにより、試験前の復習を効率的に行えました。また、白書の内容を他の科目と関連づけて理解することで、全体像を把握しやすくなり、試験に臨む自信ができました。白書対策講座は、単なる知識の習得だけでなく、実務にも役立つ深い理解を促進してくれる貴重な講座でした。今後もこの内容を基に、実務に活かしていきたいと思います。試験日前に2回転ほど視聴して知識の定着を図りました。本数が多すぎないことも繰り返し視聴に最適でした。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は実際の試験環境をシミュレーションできるため、時間配分や緊張感を体験する良い機会となりました。特に、試験後の詳細な解説は、自分の弱点を把握する上で非常に役立ちました。解説を通じて、誤答した問題の背景や関連法令を再確認することで、理解を深めることができました。利用方法としては、まず模擬試験を定期的に受け、その結果を分析しました。特に、弱点をリストアップし、重点的に復習するように心がけました。また、模擬試験を受ける前には、過去問や講義内容を振り返ることで、事前準備を徹底しました。この準備が本番への自信につながりました。

令和6年 社会保険労務士試験合格

テキストに立ち返っていたことが合格につながった

矢田 将之さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

人事・勤労関係の業務に従事しており、何かスキルを身に付けたいと考えた結果、どうせ目指すのであれば人事関係の資格で一番難関と言われている社労士を目指そうと決意しました。

目指した当初はコロナ禍ということもあり、残業時間も少なくなり比較的勉強時間も確保することができると考えていました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

はじめは別の通信講座を受講しており、その時に1点足りずに受験に落ちてしまいました。そこで、自分は現時点で基本的な知識はつけることができていると感じましたが、それに加え周辺知識も強化していかないといけないと思っていました。そこでテキストの網羅性が高いことからアガルートの受講を決意しました。

合格体験記・学習上の工夫

とにかくはじめは勉強量を確保して、量をこなすことを意識しました。平日の朝は5時に起床し、出社前に勉強、勤務終了後はカフェや自習室で勉強という日々を繰り返していました。

根性論だけで合格する試験ではありませんが、勉強して間もない頃は、とにかく量をこなすことを意識しました。そして、1周した頃には、はじめの内容は忘れていたので、量をこなして、反復をとにかく継続できるかだと思っています。

あとはよく言われることではありますが、社会保険科目をどれだけ得意科目にできるの

かも非常に重要であると感じました。過去、1点足りずにおちたときは労一科目で、労働科目は全体的に水物と言われているので、科目基準点を何とか確保できるように、残りを社会保険科目で補うことができると合格に近づいていくと思いました。そう意識するようになってからは、勉強時間の配分をより意識するようになり、労働科目、特に安全衛生法に割く時間は少なく、社会保険科目に割く時間を増やすようにしました。

過去問演習については、アガルートの過去問集をひたすらこなすのみです。私が個人的に非常に有効だと思った部分はテキストの読み込みです。問題演習とテキストの読み込みの時間配分をどうするのかは非常に難しいですが、最終的にはテキストに立ち返っていたことが自身の合格につながったと感じています。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

アガルートは2年連続で受講したので、ボリュームの多さにはさほど驚くことはありませんでした。1点足りずには落ちた苦い経験をしているので、そうならないように少しでも多くの情報を頭に入れられる講座はどれかという観点で講座を選んでいたので、これまでの知識を補完するために最も有効な講義に出会ったと感じています。

オンラインでの講義に関しては、前年度にしっかり聞いていたので、今年は、オンライン講義の視聴は前年と比較すると短くして、テキストの読み込みと問題演習の時間を増やすことを意識しました。過去問集は10年分の問題があるので、過去問集をやっておけば基本的には問題ないと思っています。

テキストの郵送スケジュールも事前にわかっており、後半になるにつれ、試験までの期間が短くなることに対しての焦りや、集中特訓講座など、スケジュール的にタイトになってくことはわかっていたので、前半に極力前倒しで進めるように意識し、労働保険科目を何回転もできていたので、比較的落ち着いて後半戦に臨んでいたと思います。

私個人的には講義そのものにかかる時間は短くしてその他のことに時間を割いていましたが、基礎知識がまだ定着していない段階などは講義内容に時間を割くことも有効であると感じました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

1点足りずには落ちたのは選択式試験の点数でしたので、この特訓講座は私にとって非常に有効であったと思っています。情報量としても多いですし、答えだけではなく、解答に至るまでの考え方や、よくある間違い、注意すべき点など、その他の部分も講義の中で説明していただけたことで、選択式試験そのものに対しての臨む姿勢や考え方が変わったと思います。

当然ですが、選択式集中特訓講座の内容は、知識の定着化や択一式の対策にもなり、レベルの底上げになっていたと思います。個人的には選択肢がなく、空欄になっている部分を考えるのは底上げに役に立ったと思います。終盤でもあったので、何周も復習することはできませんでしたが、非常に有効で合格の一助になったことは間違いのないと思います。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

当該講座に関しては、何か復習のときのツール、問題演習をやったあとの振り返りの際の補足情報を仕入れるために活用していました。それぞれの数値や内容は覚えていてもいざ試験になると頭の中で情報が混ざってしまい混乱してしまうこともありましたので、頭の中の整理という意味で非常に有効でした。非常に膨大な情報量を頭の中にインプットしていかなければならない試験なので、効率よく暗記していくのも重要だと思いますし、そのためのある種、辞書的な活用方法をしていました。そして何度も見ているうちに、関連情報が頭の中で思い浮かぶようになっていました。

試験当日はすべてのテキストを会場に持っていくことはできないので、横断整理のテキストがあると心強いと思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

毎年、いくつもの法律が改正されるので情報のブラッシュアップも合格のためには欠かすことのできない要素です。総合講座の視聴に割く時間は少なくしましたが、法改正対策講座に関しては、しっかりと視聴して、どの点が昨年と変わったのかをしっかりと頭にいれるようにしました。テキストが届くのもどうしても終盤で、反復の時間を多く取ることはできませんので、少ない回数で全てをインプットするくらいのつもりで学習していました。法改正にかかわる問題も毎年一定数出ますが、その中で優先順位も講座の中で確認することができましたので、効率よく学習を進められたと思っています。

このテキストも基本的には持ち歩くようにして、スキマ時間を活用して復習していました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問はすべての期間において、最重要であると思っておりましたので反復あるのみです。通常の過去問の問題集と過去問マスター答練は徹底的に取り組むように意識しました。テキストの構成的にも問題を解いたあとにすぐ復習できるようになっていたのが大変ありがたかったです。

通常の過去問の問題集は科目ごとになっていますが、過去問マスター答練は年度単位になっていたのも、より本番に近いイメージで取り組むことができたと思います。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練はこれまでのテキストの読み込みや、過去問演習での学習で基礎知識をどのくらい上げることができたのかを測るツールとして活用していました。

今までと同じ問題でも問題の出し方によって迷うこともあり、振り返りをする貴重な演習だったと思っています。具体的には、過去問テキストは一問一答ですが、実力確認答練は本番の問題と同じように5択だったりしたので、より本番に近い問題に慣れることにも有効でした。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

他の受験者にも共通して言えることだと思いますが、白書・統計に関しては、どれだけやっても手応えはなく、実際に過去の試験でも労一科目で基準点割れで不合格となったこともあったので、一番不安に感じていました。

膨大な量を全てカバーするのは現実的ではないと思っていたので、この白書対策講座のみに取り組み、他の情報はあえて取りに行かないようにしていました。そのかわりに白書対策講座の内容に関しては、極力カバーできるように意識していました。

そのように割り切ることでこれまで感じていた不安も多少は軽減されたと思っていますし、自信をもって試験に挑む事ができました。教材によって取り扱う内容が異なっていたので逆にそれだけ絞りがきれない分野であると思い、アガルートの教材を信じて取り組みました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験は直前期に本番と同様の時間帯に開始し、当然制限時間も全て本番と同じスケジュールで取り組みました。

模擬試験に関しては、他社の模擬試験と併用して取り組むようにしました。意識したことは実際に解けなかった問題、当たっていたけど理解が不十分であると感じた問題はしっかりとテキストでの振り返りを必ず実施することにしました。

模擬試験を解いて解きっぱなしにしてしまうとせっかく自分の課題が見つかったのにそれを放置してしまうことになるので、必ず復習の時間を確保することが重要であると感じました。

模擬試験は回数よりも、回数を減らしてでも復習に時間をかけることが重要だと感じています。また、実際に間違えた問題が試験当日に出たので、とても助かりました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

今年はアガルートの講座を受験して2年目の年でしたが、見事合格を勝ち取ることができました。

昨年は1点で不合格となり悔しい思いをしましたが、自分がやってきたことは間違いでなかったともう1年アガルートで頑張ろうと思えました。

ありがとうございました！

令和6年

社会保険労務士試験合格

ホームルームで感じた仲間の存在が心強かった

井川 朝陽さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：10 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

友人が行政書士の勉強をしていたのがきっかけで、私も法律の勉強に関心を持つようになりました。法律に関する資格は色々ありますが、その中でも身近な社会保険や年金について知識を深めようと思い社会保険労務士の勉強を始めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

アガルートの講座を受ける前に他社の講座を受けたのですが、テキストの内容が薄く、試験の範囲をカバーしきれていないように感じました。そこで、網羅性の高いアガルートを受講することに決め、再度試験に臨みました。

合格体験記・学習上の工夫

これまで全く法律の勉強をしたことがなかった私にとっては、初めての経験で何から始めたら良いのかすら分からない状況でした。社会保険労務士の試験は、範囲も膨大で圧倒されましたが、一歩ずつ進んでいくしかないという気持ちで学習を進めました。

まずは、全ての範囲を一周して、どのような内容であるのかを把握することから始めました。一周することで、大体的内容はなんとなく分かりましたが、理解することは難しかったです。そこから、過去問を解きながらテキストと照らし合わせて、試験問題の論点がどのようなところなのかを知っていきました。

しかし、試験の範囲は膨大で、なかなか記憶に定着させることは難しかったです。覚えたことを忘れて、また覚えて。その繰り返しでした。以前解けた問題が解けなくて、自信が無くなったりすることもありました。

しかし、テキストと過去問を何度も繰り返しながら、「記憶と忘却を繰り返す」作業の繰り返しだと気付いてからは一喜一憂することなく淡々と学習を進めていけるようになりました。何度も繰り返していくうちに理解も深まり、テキストや問題の解像度が上がっていくのを実感しました。繰り返しの繰り返しで合格することができました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

アガルートは講座のみならず、月一回のホームルームがあり、そこで受講生からの質問や講師のアドバイスがあるのがとても良かったです。社労士試験の勉強は孤独なものでしたが、他の受講生の質問などを見ていると、同じ目標に向かって進んでいる仲間がいるような気がして心強い気持ちになりました。

アガルートのテキストは網羅性が高く、大容量でありましたが、講師が一つ一つ分かりやすく解説しており、理解しやすかったです。講師の方が社会保険労務士として働いていた時の実際の出来事なども交えて解説することもあり、とても興味深いものでした。

講義の利用方法としては、私は受験生二年目ということもあり、テキストに慣れるため、講義を視聴する前にテキストの内容に目を通しました。二週目に講義を視聴しました。その際、講師の解説などをテキストに書き込み、理解を深めました。講義を視聴したのはこの一周のみで、三週目からは問題を解いて、テキストに要点を書き込む。そしてテキストを読むということを繰り返しました。

講義の視聴は時間がかかるため、一度の視聴で良いように講師の解説をテキストに書き込み、効率的に学習を進めるように意識しました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士の試験では多くの科目がありますが、それぞれの科目で内容が関連し合っていることも多かったです。それを横断的に整理することで似通っている部分や、曖昧だった内容もすんなり理解できたりすることもありました。また、一度に多くの科目に触れることもできるため、出先などにテキストを持ち運んで勉強したい時も科目横断のテキストだけを持って行くなど、効率よく学習を進めることができました。

講座でも、それぞれの科目が関連づけて解説がされており、とても分かりやすかったです。科目横断整理講座は、一周だけ視聴しました。その際、科目横断のテキストだけでなく、それぞれの科目のテキストに解説などを直接書き込んでいきました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座では、法改正された内容の中でも試験対策として、特に重要な改正の部分とそうでない部分とをしっかりと区別して解説がされており、とても効率的に学習を進めることができました。改正部分の周辺情報の解説などもあり、内容の理解を深めることができる講座でした。

法改正対策講座を視聴したのは一周のみで、解説は法改正対策のテキストに直接書き込んでいきました。また、それぞれの科目のテキストにも改正後の情報を追加で書き加えた

り、訂正したりしていきました。

社会保険労務士の試験は、暗記が多いにも関わらず、法改正も多く、混乱しやすいため、法改正対策講座があることで最新の情報の再確認もできて良かったです。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書対策講座では、試験対策として重要な部分とそうでない部分とをしっかり区別して解説されていました。白書対策は内容が膨大ですが、要点を知ることで社会保険労務士試験の難関部分である一般常識の学習を効率よく進めることができました。

一般常識の学習では、特に暗記が多いですがグラフを用いての解説などがあり、とても学習の手助けになりました。また、時代背景を交えての解説などもあり、傾向をイメージしやすく、すぐ記憶にも定着しました。

白書対策講座を視聴したのは一周のみで、解説を白書対策のテキストに直接書き込んでいきました。また、それぞれの科目の内容と関連している部分には、それぞれのテキストに直接書き込んでいきました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験を解く際、本番をイメージして、本番と同様の時間配分で臨みました。そうすることで、問題を解くペースを掴むことができ、本番でも落ち着いて問題を解くことができました。模擬試験の結果で、自分の实力を知ることができると同時に苦手な科目の発見にもなり、試験対策の手助けになりました。一度だけでなく、何度か繰り返し解くことで知識の再確認もできて良かったです。

また、模擬試験で全ての科目に触れるため、問題を解くことが復習にもなり、模擬試験自体が効率の良い勉強になりました。問題を解いて解説を読むことで、内容の理解を深めることもできました。そして、追加の情報があれば、それぞれのテキストに直接書き込んでいきました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

出題カバー率90%以上のテキストは伊達ではなかった

小林 秀徳さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12 か月

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私は現在、行政書士事務所を独立開業しておりますが、ダブルライセンスに挑戦したく社労士の資格取得を目指しました。社労士は行政書士との業務における相性が良く、ダブルライセンスを取得できれば現在のお客様にもより幅広い士業のサービスを提供できるようになると考えました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

私は行政書士や宅建などの他の国家資格に合格しておりますが、いずれも独学でこれまで予備校等を利用したことはありませんでした。

社労士の勉強も最初の1年は独学でしたが、その勉強範囲は幅広く、特に年金関係は似たような論点がいくつもありましたので頭の中で整理しきれずに効率の悪い勉強をしていました。また仕事をしながらですと言いつつ怠りをしてしまい、モチベーションを保てずに勉強をサボりがちになっていましたので、独学では合格することが難しいと思いました。

そこで勉強の効率を上げ、モチベーションを高めるべく予備校の利用を考えはじめました。いくつかの予備校を検討しましたが、その中でアガルートに決めたのは受講者の合格率の高さとテキストの出題カバー率の高さでした。

(演習総合カリキュラム (現・中上級カリキュラム) ですと合格率33.85%、テキストの出題カバー率は90%以上)

アガルートでしっかり勉強さえすれば33.85%まで合格率が上がる！と単純ですが思いました。また合格特典も豪華でしたので勉強のモチベーションも維持できると思い、アガルートでの受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

『効率』『反復』『隙間時間』の3つを意識して学習しました。

はじめのうちはテキストの1ページ1ページをじっくり見ていくのではなく、動画講義を利用してスピーディーに大枠だけをとらえていきました。動画講義は1.5倍から2倍のスピードで聴いていまして、1科目を8時間もかからず学習できて効率的でした。

独学の時はあまり理解ができていないのに、無理やり暗記だけしようとして勉強が苦痛になっていましたが、アガルートの動画講義はわかりにくいところをしっかりと解説してくれていますので、理解しやすく、その後の学習が効率的に進んだと思います。

そして1科目の動画講義が終わるとすぐに過去問を解きました。はじめのうちは正答率が低く「全然覚えていない」と感じましたが、動画講義と過去問を3回反復したところで記憶も定着してきて、そのあたりで基礎が固まったと感じました。

また、過去問の問題集には解くたびに「○（正答）」「△（正答できたけど理解が足りない）」「×（誤答）」を記入しました。その後に過去問を解くときは2連続「○」の箇所を飛ばして進めることでより効率的に学習が進みました。

基礎が固まった後は主にテキストを利用して細かい論点の確認や数字等の暗記をしましたが、「出題カバー率90%以上」のアガルートのテキストは心強かったです。

そしてここでも「テキスト」と「過去問」の反復学習は欠かせませんでした。

『隙間時間』の学習ですが、個人的に移動時間や外での待ち時間が多かったので、スマホにダウンロードした音声講義を利用しました。いつもなら音楽やラジオを聴いている場面ですが、それを音声講義に切り替えました。講師の解説を聞きながら「テキストにあんなこと書いてあったな」など記憶を想起させて、家に帰ってからテキストで答え合わせをしていました。この隙間時間を利用した「音声講義」と「テキスト」の反復も記憶定着に役立ったと思っています。

約1年間独学していた時間よりも、アガルートでの学習時間は短かったと思いますが、それでも理解と記憶定着ができていて、アガルート1年目で合格することができました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

独学で約1年程度勉強しておりましたのでアガルートでは中上級総合講義を選択しましたが、まずそのテキストのボリュームに驚きました。さすが出題カバー率90%以上というだけあるなとは思いましたが、その内容は見やすく理解しやすいように書かれていましたので学習しやすかったです。独学では勉強しきれなかった条文以外の通達や判例も豊富に掲載されていて、死角がない完璧なテキストだなと思いました。またそのボリュームであっても余分なものではなく、必要な情報が的確に凝縮されていたなと合格できた今では実感しています。

法改正の部分、科目横断で解説されている内容は、科目別のテキストに直接書き込み、科目別のテキストだけで完結できるように利用していました。

動画講義は基本論点を押さえつつもわかりにくいところ、見落としがちのところ、得点

につながる可能性のある部分に焦点を絞りコンパクトにまとめられていたので、短時間で何度も反復視聴することができて効率が良かったです。また講師の先生の声質も自分に合っていたのか耳に馴染み残りやすかったと思います。

「情報が足りない」「分かりにくいからネットで調べよう」とかそういったことは一切なく、アガルートの教材だけで完結できましたし、学習が進めば進むほど理解が深まっていくのが実感できて、社労士の勉強が楽しいと思わせてくれました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

本試験の1か月前ぐらいから活用し始めました。各論点がひとつひとつコンパクトにまとめられていたため、短時間学習向けかなと思います、主に出先にテキストを携帯して隙間時間を利用して学習しました。

選択式をピンポイントで対策して学習するのは難しいと思っていましたので、テキストの穴埋め問題に答えるというより、記載された論点の全体を確認しながら目を通すという形でした。そのためテキストの穴埋め問題はほとんど答えを書いてしまい、その後に3周程度の素読み学習をしました。数字だけは問題文を見ながら想起して覚えたかったため未記入のままでした。

このテキストには多角的に見落としがちな論点も記載されていたので、自分の弱点が発見できたり視野を広げることができました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

1科目だけしか勉強していない段階では混乱することはありませんが、学習が進めば進むほど科目を超えて似たような条文、文言、制度が出てきて混乱するのが社労士試験の特徴でもあります。

過去問を解いていても「○だったと思うんだけど今回は×?」「必要な給付だったはずだけど?」「2年?3年?5年?」と覚えたはずの問題で正答できずに混乱することが多々ありました。

科目横断整理講座はそうした混乱を理解できるレベルまで引き上げてくれた素晴らしい講座でした。科目別のテキストに「他の科目との違いに注意!横断P25」などと書き込んで、科目別のテキストで学習したときに、他の科目との違いを科目横断整理講座のテキストですぐに確認できるようにして利用していました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座のテキストの内容を科目別のテキストに直接書き込んだり、法改正対策講座のテキストをコピーして科目別のテキストに貼り付けたりして利用していました。

今年は特に目立った法改正はなかったように思いましたので、数字が変わったところはしっかりと暗記して、その他は時間効率を考え深く学習はしませんでした。

重要な法改正がある年とない年では利用方法や利用価値が大きく異なる講座だと思いましたが、「試験に出そうな法改正はあまりない」というのも重要な情報でして、これが独

学ですと法改正の情報を集めることから始まり、それが重要なのかそうではないのかの見極めもしなければいけませんので、そういった意味でもとても役立ちました。

また法改正のあった場合にどんなタイミングで試験に出ていたかも教えていただけたので参考になりました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

最初は本試験の気分で1年分をすべて解答してから答え合わせや解説を見ました。そうすることで長時間続けて問題を解くことに慣れ、本試験での時間配分も考えられました。

また本試験の終盤に起こりそうな集中力低下や読み飛ばしによるケアレスミスも事前に体感できたので、本試験では最後まで気を引き締めることができました。

また肢別の過去問だけですと抜けている論点がありますので、このマスター答練で過去4年分のすべての問題が解説付きで確認できたことはとてもよかったです。その後は全ての肢を理解し正答できるまで反復利用しました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

本来はその科目の学習を終えてからその科目の実力確認答練をするのかもしれませんが、私は全ての科目の学習を終えてから実力確認答練を始めました。

科目別の実力はテキストと動画講義、過去問の反復学習でそれなりに自信がありましたので、私はこの科目別の実力確認答練を模擬試験のような形で利用しました。本試験さながらに選択式と択一式を分けて、時間も本試験と同じ午前と午後の時間を設定し挑みました。そうすることで長時間続けて問題を解くことに慣れ、本試験での時間配分も考えられましたし、模擬試験が余分に1回受けられるお得感もあった気がします。

また、この答練では見落としていた論点や手薄になっていた論点を確認できたので、さらに視野が広がったように思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

独学の時に全く勉強をしなかったのが白書です。勉強をしなかったというより情報が多すぎて辟易して勉強をしなくなかったと言った方がいいかもしれません。とにかく数字が乱立していて苦手な科目でした。しかしこの白書対策講座は試験上必要な統計がわかりやすくまとめられていましたので、抵抗なく学習に取り組みました。講座では個別の統計データだけではなく全体的な傾向の解説もありましたのでイメージがしやすかったです。

しかし、まとめられているとはいえ統計データはたくさんありますので、充てられる勉強時間だけが問題でした。1周目の学習以外は5分～10分程度の隙間時間だけを白書対策の学習に充て、あとは試験当日の試験直前までこの白書対策講座のテキストに目を通していました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模擬試験を受ける理由は様々あると思いますが、私は「長時間問題を解き続けることに慣れる」「時間配分を考える」「本試験で起こしそうなミスなどを事前に把握する」が主な

理由です。ですので、私は全ての学習を終えた本試験 1 か月前ぐらいに、本試験と同じ日曜日の同じ時間帯で本番さながらに実施しました。

答え合わせをすると択一式で正答できたはずの問題を誤答しているところは何問か見つかりました。ここで自分の最大の弱点が「問題文を読み飛ばす」「択一式の中終盤にかけて必ず集中力が切れる」だとわかりました。

時間には余裕があることがわかりましたので、問題文を最後までしっかり読むことを強く意識し、中終盤の頃に 5 分間瞑想する時間を設ける対策を立てて本試験に臨み、結果を出すことができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

アガルートでの初めての受講で合格に導いていただき心から感謝しております。演習総合カリキュラム（現・中上級カリキュラム）の合格率33.85%、テキストの出題カバー率90%以上は伊達ではありませんでした。

テキスト学習の他、竹田先生、池田先生、平野先生の動画講義での心強いサポートがありましたので、「アガルートで勉強していれば合格できる」と信頼と安心の中、最後までモチベーションを保って学習に取り組むことができました。また何かの資格取得で予備校を利用する機会があればアガルートを選びたいと思います。ありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

育児と仕事のスキマ時間を有効活用して、念願の合格

林 朋之さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：7 か月

社会保険労務士試験の受験回数：4 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私は地方自治体の職員をしていて、社労士を目指した当時は労働者福祉の仕事をしていました。労使双方の相談を受ける労働相談や、働きやすい職場環境整備など、仕事の中で社労士さんと関わることが多く、自分も専門性のある仕事がしたいと思い勉強を始めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

以前別の予備校の講座を受講していましたが、選択式の足切りに合い、学習の進め方を変える必要があると考えました。いくつかの予備校等の講座を検討する中で、無料体験がわかりやすかったこと、テキストが紙ベースで見返ししやすいことから、アガルートを選択しました。

合格体験記・学習上の工夫

私は0歳児の子育て中で、また仕事をしながら学習をする必要がありました。このため、机にじっくり座って講座を受ける時間が貴重でしたので、講座を倍速等で視聴し、あとの隙間時間でテキストの見返しや移動時間に音声聞いて復習するなど、100%学習に集中できない時間も含め、少しずつでも理解が深まるよう工夫していました。職場で昼休みに過去問を解くなど、隙をみて勉強をする習慣が身についてからは、学習の理解度がどんどん高まってきたように感じました。

周囲の同僚にも受験のことを話し、勤務時間の前倒しが可能な制度を活用して、残業のない日には夕方退勤後に図書館で勉強して帰ったり、直前期には有休をまとめて取らせて

もらう等、職場にも協力していただけたのはとても有難いことでした。また何より、育児取得中の妻が受験勉強に協力してくれたのが最大のポイントでした。手薄になった家事や育児をフォローしてくれ、応援してくれたのが力になりました。年内に妻が復職し、育児と仕事の両立がさらに困難になることが予想され、今回は最後の社労士受験かもしれないと覚悟していたところでしたので、合格通知をもらえて心から嬉しくほっとした気持ちになりました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

私は今回が4回目の受験であり、また上述の通りまとまった学習時間が取りづらい環境にありましたので、中上級総合講義のポイントを絞った講義は効率的な学習に大いに役立ちました。竹田講師の講義が個人的にはとても頭に入ってきやすく、復習で音声聞きながら、「あ、このあとあの話か」と次の内容が頭に定着していることを実感することが多々ありました。講義の中でも、出題の可能性が低い論点はバッサリ切っていただけて、学習時間の取れない者としては、どこまで勉強しようと頭を悩ませることなくスッキリと学習できました。

具体的な学習方法ですが、労働科目→社会保険科目と講座の学習を進めていくと、どうしても社会保険科目を学習する頃には労働科目や数科目前に学習した内容を忘れてきてしまうので、社会保険科目の講座を視聴し、テキストや音声で復習するのと並行して、せめて音声だけでもと、移動時間や子供の寝かしつけの時間で労働科目の音声等を聞くようにしていました。本当は複数回動画で視聴したかったところですが、時間がとれず苦肉の策でした。実際には集中して聞いていなかったかもしれませんが、聞いている中で「あれ、これってそうだったんだっけ」「ここは理解が薄いからあとで復習しておこう」ということもあり、音声だけでも一定の学習効果があったと実感しています。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理講座を視聴したのは直前期だったと思います。これまで学習した内容をまとめて復習できればいい、くらいの気持ちで視聴したのですが、選択式の穴埋め等に出てくる言葉の違い（「雇用の安定」と「職業の安定」、「福祉の向上」や「福祉の増進」など）についてとてもわかりやすく説明いただいて、自信を持って受験に臨めるようになりました。また、適用労働者の違いや給付制限、不服申し立てや時効にかかる各法律の違いなど、特にややこしくて混同しがちな部分についても、改めて自分の頭の中の整理が進められました。受験当日は、いろんなテキストを持ち込みたい気持ちがありつつも、この科目横断整理講座だけは持ち込んで、試験開始直前まで眺めていました。

法改正确策講座のご感想・ご利用方法

4回目の受験だったこともあり、前回の受験時と異なる部分がどこか、過去の記憶と混同しないかどうか程度の確認でいいや、程度の認識でしたが、実際に受講してみると

・法改正の趣旨は重要な判例等と関連していることがあること

- ・社会情勢の変化に伴う改正も多いこと

から、興味をもって学習することができました。また、重要度をランク分けしてあるおかげで優先順位をつけられ、効果的・効率的に学習が進められたように思います。

余談ですが、労働安全衛生法において令和5年度改正でテールゲートリフターの操作の業務が特別教育に追加されたという知識が、たまたま現在の仕事で生かせる機会があり、勉強してよかったとしみじみ実感しました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

今の私の仕事では、日頃労働や社会保険に関する情報に接する機会があまりなく、これらにまつわる社会情勢や課題、国の動きをしっかりと学ぶ必要があると思っていました。一方で、こういった知識を体系的に学習するのは難しいのではないかと、重要なものと重要でないものを見分けることも困難だろうと認識していました。

白書対策講座では、優先度の高いものに絞って、スピーディーに講義を進めていただけて、最低限必要な知識を最小限の労力で身につけられたと思っています。反省点としては、各科目の学習に時間を取られ、白書対策・統計対策を深く学習することができなかった点です。実際に選択式でもうあと少し、しっかり学習できていれば正答できた問題がありました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

私が模擬試験を受けたのは、労働・社会保険科目を一通り学習したあとでした。他社の模擬試験もそれ以前にいくつか受験したのですが、アガルートの模擬試験は、難易度・問題の質ともに本番の試験に近く、試験が近くなってから受験するのにちょうど良いと思いました。私はこの模試の受験を通じて、

- ・誤答した部分とその関連する部分の復習
- ・特に得点が低い科目の復習

をテキストや過去問に取り組むことで対策できました。社労士試験は穴をなくすことが重要な試験だと思うので、結果的にはこの模試で弱点を補強できたことが合格に繋がったのかなと思っています。また、模試で高得点を取れた科目については自信がつき、本番でもよい点を取ることができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

竹田先生、わかりやすい講義ありがとうございました。おかげさまで合格できました！

令和6年

社会保険労務士試験合格

独学では難しかった体系的な理解が身に付いた

中原 裕樹さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：10 か月

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

私は現在会社の人事部に所属し、エンゲージメントや従業員満足度の向上プロジェクト等に携わっております。社内の各部署とのやり取りをしていく中で、就業規則や労災、社会保険等の法令・事例について調べる機会が増え、専門的な知識を身に付けたいと思うようになり、社労士試験を受験しようと決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

受講する前1年間ほど独学でやってみましたが、健康保険や年金の制度など、理解しないまま過去問の答えだけ覚えている、というような状態で、体系的な理解が必要だと切に感じました。典型的な「失敗する学習方法」だったと今では思っています。

体験講座を受講した際、竹田先生の「合格するための知識はすべてこの講座に盛り込まれています」という旨のお言葉があり、信じてついていこうと決めました。

合格体験記・学習上の工夫

大きく勉強時間の確保と学習計画の実行の2つを意識しました。

① 勉強時間を確保する

社労士試験合格のためには、一般的に800～1,000時間の勉強時間が必要といわれますが、私は人よりも物覚えや要領がよくないと自覚しているので、その分人よりも2倍も3倍も努力しよう、多く勉強時間を確保しようと決めました。受講して勉強を始めたのが10月の半ばなので、8月の試験までおよそ10か月、それまでに3,000時間勉強することを目標に

しました。月換算で300時間、週換算で約70時間を確保するため、平日8時間（朝4時から8時の4時間、仕事の休憩時間1時間、退勤後3時間）、土日各15時間を勉強にあてました。机に向かわない時間（移動するとき、子供のお弁当を作るとき、皿洗いをするとき、洗濯物を干すとき等）には講義を視聴しました。家族の行事や仕事が長引いた日の分は、祝日に多めに勉強の時間を取り、直前期には貯めておいた年休を使ってカバーしました。

② 学習計画を立てて、修正しつつ実行する

学習を始めてみて、1日、1週間、1カ月でどれくらいの分量を進められるかを知った上で、10カ月のうちにテキストと過去問を最低10周は回そうと決めました。各講座の年間スケジュールを元に、最初にざっくりと月ごと、週ごと、日ごとのスケジュールを立てつつ、日々調整・更新していきました。勉強が進むにつれて、1周分を終えるスピードが上っていていき、最終的には16周取り組みました。過去問の正答率は周を終えるごとに上がっていき、最終的にはほぼ100%になっていました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

テキストと過去問を完璧になるまで回していく上で、総合講義は常に学習の中心でした。竹田先生の講義を10カ月間毎日欠かさず視聴していました。1周目は等倍で進めて、2周目以降は理解できるようになった箇所から速度を上げていきました。慣れてくると最高速度ですべての講義を視聴していました。

合格のためにはテキストを読み込むことが必須ですが、自分では読み込みのペースをつかみづらく、計画通りに進めることが難しいと感じたので、「講義を聴きながらテキストを読み込む」という方法を取りました。竹田先生が講義をされながら、画面上でテキストの該当ページを表示してくださるので、耳と目を同時に使ってインプットするようにしました。ただ講義を受けているだけでは、分かったつもりになっているだけでいざ過去問を解いてみるとできない、という事態になりがちだったので、先生の講義を聴きテキストを読みながら、理解していないところ、覚えていないところをつぶしていくことを意識しました。最終的にはすべての講義において、「うんうん、そうですね」と相槌を打てる状態にもっていきました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式の対策は、択一と同様にテキストを読み込むことに尽きると思います。その上で、選択式集中特訓講座を受講して、問題に多く取り組むことで、総まとめをすることができたと感じました。特に、目的条文が出题されたら合格者は取りこぼさない、と先生方がおっしゃっていたので、目的条文をインプットするよう心掛けました。テキストで各法律の目的条文を穴埋め形式にいただいているので、これを何度も繰り返し解きました。すべての法律の条文を一語一句丸暗記するのは不可能ですが、選択語句が与えられた時に、「これは違和感があるな」と誤りの選択肢を消去することができ、「これを入れるとしっかりくるかな」と感じたものが十中八九当たる状態になりました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

総合講義のテキストを1周終えるたびに科目横断整理講座のテキストで知識の整理をしていました。独学で勉強していた時は、各科目で規定が似ていたり、期間などの数字が微妙に違うということさえ知りませんでした。例えば、国民年金法で（保険料その他徴収金に関する処分）「社会保険審査官に審査請求」と覚えた後に、厚生年金保険法の過去問を解いた時に「社会保険審査会に審査請求」という選択肢を見て×としたら間違えて、「あれ、審査請求は審査会にだけ？覚えなおさない」となり、さらにその後に国民年金法の同じ問題を解いて「社会保険審査官に審査請求」の選択肢を×にして間違える、ということをやを延々と繰り返していました。科目ごとに不服申し立ての流れを図でまとめて解説してくださった講義はとても役に立ちました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正対策講座を受けた際、総合講義のテキストの各科目の該当箇所に改正部分の情報を貼り付けて、総合講義のテキストを読み込む時に改正部分の確認ができるようにしていました。その上で、総合講義のテキスト+科目横断整理講座のテキストを1周終えるたびに、さらに法改正対策講座のテキストで知識の再確認をしていました。法改正対策講座は、項目ごとに重要度を記していただいているので、重要な項目を優先的に学習することができました。また、総合講義のテキストを何周か回して、各科目ある程度知識が身に付いたタイミングで、法改正対策講座を受講したので、特に負担を感じることなく、新旧の情報を比べつつ、知識を書き換えることができました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練は肢別ではなく、実際の出題形式で70問解くことができるので、時間を計って、本番に臨む気持ちで各年度の過去問3年分に臨みました。5月までにテキストと肢別の過去問の10周目を終えていて、6月に入ったタイミングで毎週日曜日に1年分ずつ解くようにしました。3年分いずれも選択は9割、択一は10割取れるようになっていました。知識が定着していることを確認することができ、自信を持てるようになりました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練3回分を終えた後、12周目を終えた6月末頃に実力確認答練に取り組みました。1回あたり択一式10題、選択式問題2題からなるオリジナル問題を使った答練とその解説講義からなる講座です。今までやり込んでいた過去問ではなく、初見の問題ということで、本番の試験を受ける上で練習になるいい機会でした。講義の中で池田先生が仰っていましたが、本番よりも易しめに難易度を設定してあるとのことで、選択、択一ともに9割得点することができました。科目によって共通している部分と異なる部分があり非常に混乱しやすい給付制限などの各重要論点を、池田先生のビジュアル語呂合わせで楽しみながら整理し身につけることができました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

特に選択式の労一や社一で、5点中3点以上を確保するためには、厚生労働白書、労働経済白書を押さえることが必須です。独学で勉強していた時は、数百ページある白書を読み込む気にはなれず、まったく手を付けていませんでした。白書対策講座のテキストは、出題される可能性の高い部分に絞ってまとめているので、効率的に重要ポイントの理解を深めることができました。講義の中で平野先生が仰っていましたが、数字や割合のおおまかな流れを確認してイメージをつかんでおくことが有効かと思います。総合講義のテキスト+科目横断整理講座のテキスト+法改正対策講座のテキストを1周終えるたびに、さらに白書対策講座のテキストを読み込むことで、労一・社一の対策を万全にすることができたと感じています。

模擬試験のご感想・ご利用方法

先生方が作成されたオリジナル模擬試験を解き、解説を視聴しました。それに加え、他社の模擬試験もできる限り受けておくのが理想的だと思います。私は物理的に模擬試験を会場で受けられる環境になかったため、市販の予想問題集計4冊（延べ予想問題回数7回）を購入して、7、8月に週1ペースで、毎週末に取り組みました。本番同様、選択式1時間20分、択一式3時間30分で時間をはかりました。どうしてもまとまって時間がとれない時は、科目ごとに時間をはかって合計して時間内に終わらせることを目指しました。本番での時間配分のイメージトレーニングをすることができました。一喜一憂することはありましたが、知識の抜け漏れ、うろおぼえ、勘違いで覚えていたところなどを見つけて修正することができ、本番では模擬試験よりも高い点数を取ることができました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

講義はもちろん楽しみにしておりましたが、毎月のホームルームが心の支えでした。「同じ問題を何度も間違えたり、以前できていた問題も間違えたりで、日々不甲斐ない気持ちになりながら机に向かっています。先生方もそのような経験はありますか？」という質問を取り上げていただき、竹田先生から「そういう経験しかありません。試験直前まで愚直に取り組んで、何度も忘れて覚えての繰り返しです。」という旨のお言葉をいただき、心が救われました。試験の最中、見たことのない内容が連続して出てきた時、絶望しかけました。実際は数個程度だったのかもしれませんが、試験の最中はまるで知らないことだらけのような錯覚に陥り、不合格の三文字が浮かんできました。それでも先生方にホームルームでお声がけいただいたことを思い出し、講義で教えていただいたところ、テキストで読み込んだところ、分かるところを確実に取ろうと気持ちを切り替え立て直すことができ、試験終了まで全力を出し切ることができました。いくら感謝しても感謝しきれないという気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

90%超えのテキストカバー率が受講の決め手に

竹内 啓さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

社労士の資格を取得しようと思ったのはFP 2級の資格取得の勉強を始めたのがきっかけです。

勉強していて自分の仕事に大きく関与している社会保険の知識をさらに深めたいと思い、FP 2級→年金アドバイザー 3級→FP 1級→社労士という順番で試験を受けました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

最初に使っていた他社の講座も良いと思いましたが、近年の社労士試験を受けていると今まで使っていたテキストに書かれていない内容が多く出ていると感じたので、問題に対してテキストのカバー率が90%を超えるアガルートを使いしっかりと力をつけることにしました。

合格体験記・学習上の工夫

勉強の工夫としては必ず毎日勉強する時間を作った点です。

朝は出勤時の15分間の電車で各科目の第一条文を定期的に読むようにし、昼休みの時はご飯を食べた後にタバコを吸いながらスマホを使い過去問サイトで10分間、過去問を解くことを習慣にしていました。勉強しない日があると勉強への意識が弱くなるのを肌で実感したので、これだけは仕事で忙しくて勉強が家でできないときもずっと継続していました。

余裕があるときには勉強内容に関係がある各国の機関のHPをみていました。特に最近では難しくなっていると感じていた労災保険関係と健康保険関係のサイトをよく見ていたと思います。それ以外にもテキストを読んでも理解があまり進まない部分はネットで詳しく

書いてあるサイトを探して確認していました。

過去問はなるべく今日はこの教科と、毎日別の教科を満遍なくこなすようにしました。

どうしても試験範囲が多いので忘れないようにこのような感じでこなしていきました。

試験の直前期はアガルートのテキストをまた最初からしっかりと読んで知識の確認+忘れてない部分はないかを、過去問テキストと並行しておこなっていきました。過去問は事前にあとで解きなおす問題に印をつけておき、その問題だけ解いていきました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

アガルートのテキストは細かい内容までしっかり書かれていて、この内容を把握すれば試験にしっかりと対応できると自信をもつことができました。

テキストの各所にその法律や通達ができた経緯や、実際にどのように運営されているかなどが書かれていたので、より学習内容に興味をもてる仕組みになっているのがよかったと思います。

今まで他社の先生の講義も受けたことがありますが、アガルートでうけた竹田先生の講義の内容が一番分かりやすく合格までの道のりに一番しっかりとつながったと思います。

講義を見る回数を増やしたかったので、分かる部分は2倍速で、しっかり確認したい部分は1～1.5倍速でみていました。

過去問もコンパクトで持ちやすく、使いやすかったので重宝しました。最初は全部の問題を解いて間違えた部分に印をつけ2回目はその問題を解く、3回目はさらにもう1回解いてテキストで確認という形で使わせてもらいました。その点で持ち運びしやすいのが大変助かりました。

わからない部分を質問できるシステムが大変助かりました。以前はFacebookでのシステムだったので使いにくいと思っていたのですが、今回はシステムが変わり一番いい改善点だとおもいました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式講義は最初の部分で大事な条文を覚えることできる形になっていて大変助かりました。

今年の選択式の社会一般常識は条文をしっかりと覚えていないと対応できない問題だったので、合格にしっかりとつながりました。一度すべて解いたあとは時間があるときに問題と答えをみながら読むような感じを何度も繰り返しました。

選択式講義であっても、各教科をしっかりと覚えているか理解しているかと確認する内容だったので、択一の実力の補強にもなっていて有効に活用することができました。

講義も選択式の問題について丁寧に解説してくれるため、理解が深まりやすかったです。問題ごとに考え方や重要な知識を整理されていてわかりやすかったです。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理講座は6月上旬から7月にかけて取り組みました。内容的には各数字の端

数処理や使用者の定義のまとめなど、全体としてしっかりと覚えておかなければいけない部分がまとめられていて大変助かりました。

実際、試験当日にすべての資料をもっていくわけにはいかなかったのですが、どれを持っていこうか悩みましたが、科目全体が1冊にまとまっている科目横断整理テキストと法改正テキストだけを持ち込みました。

また、条文も実際に近年の試験に出題された内容が横断的に整理されています。この時期になると大体の受験生は一通りの学習が一巡している状況の方が多いと思います。横断して勉強すると得意、不得意部分がわかり、対策も立てやすかったです。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

最新の試験内容を見ると、近年なら年金の繰り下げ支給の改正問題など、よく改正内容が出題されるので7月は法改正のテキストを使い対策にあたりました。

まず、講義を聴きながら全部の内容をざっと確認しました。そのあと、重要度が高いものに関してはテキスト等を見返しながらしっかりと確認しました。重要度ですが星マーク1～3つで表示されており、どの改正が重要性が高いかわかりやすく表示されているので、見返す際には参考になり、学習時間に強弱をつけることができました。

直前期になると他にもこなさなければいけない勉強があるので、重要度マークは時間のないときに見返す基準になり大変助かりました。

こちらも試験会場に持ち込んだ資料です。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

基本的には過去問を一問一答形式で繰り返すパターンで勉強していましたが、本来の試験形式にも慣れるため、全科目をもう一度横断的に復習することも大事な時期であったので、5月～6月にそれぞれ1回こなしました。

過去問集で解いている問題が出ているので正答率は良かったのですが、それでも間違える問題がありました。そういう問題はしっかりと理解できていないと実感したので、テキストで再度しっかりと理解するようにしました。

答練は時間があまりなかったので1度だけ使用しました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練も過去問マスター答練と同じタイミングで5月～6月に1回だけ問題を解きました。

内容は実際の社労士試験よりやや簡単なイメージでした。そうはいつでも過去問でない新しく作られた問題だったので大変参考になりました。

実際にははっきりと答えを出せない問題があったり、今までの社労士試験にはない出題方法もあったりと学習の力になった部分も多かったです。間違った箇所や知識があいまいだと感じた箇所については、テキストの該当箇所を読み込んで、間違った箇所は再度しっかりと確認しました。科目の点数分布で得意科目、苦手科目を把握できる部分もあり、そ

のことを意識してそれ以後の勉強にいかすことができました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

この白書対策は勉強するにあたり具体的にどう勉強するか一番悩んだ教科になりました。特に選択式、択一式は一般常識でいかに点数をとり基準点を確保するか、かといって問題数、実際の白書の量を考えると時間をかけすぎるのはまずいといった部分が自分のなかにあったからです。

アガルートの白書の講義は重点的な部分を詳しく解説しており、グラフや統計のどの部分をみればよいか、ポイントがはっきりしていて、自分としては大変助かりました。

試験に多く問題が出る部分ではないですが、白書の内容は社会人の一般常識として興味をもって聞くことができる内容なので、その点も自分の教養の向上につながり勉強になりました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

模試試験は仕事の都合もあり8月に入ってから一度行いました。他社の模試もうけたかったのですが、仕事と病気の都合上、模試はアガルートの1回だけです。

他社の模試も受けたことがあるのですが、実際の試験より簡単だったりやたらと難しかったりと自信をもてなかったり逆に自信をなくすことがあったのですが、アガルートの模試試験は本試験と同レベルの問題だったので模試試験の問題としては自分にあっていたと思います。実力確認答練もそうでしたが内容も過去問ではない問題で新鮮な気持ちでうけることができました。問題も意外と見落としている部分が多く、出題形式も今までの問題形式にはなかったものがあり大変勉強になりました。間違った部分はしっかりと後で確認しました。

自分は都合上、1回だけ模試を受けましたが、できるなら2回ぐらい受けるのが良いと思います。

令和6年

社会保険労務士試験合格

他社から乗り換え3度目の受験で合格

鈴木 崇弘さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / ライト

カリキュラムの学習期間：11 か月

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

士業をしている姉の勧め。

仕事に悩みを抱えている若年の労働者に選択肢を提示し、自分らしく生きる道を探す一助となる仕事につきたいと考えたため。社会保険労務士は人事労務の専門家であり、学習範囲となる法律に精通していれば、そういった労働者の在職中及び離職後においても適切なケアができると考えたため。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

過去2年間は他社の講座を利用していた。いずれの試験も科目ごとの基準点を満たせない科目があり、あと1点に泣く結果であった。受験期間が3年目に入り、自分に足りない部分を補充することと心機一転のために他社の講座を検討した。アガルートの講座はテキスト掲載量が以前の講座より多く、説明も細かくされている印象であった。合格に必要なあと1点を取れる講座であると感じ、当該講座を選定した。

合格体験記・学習上の工夫

当該講座を受講した期間における学習時間は約800~900時間であった。(1年目約1400時間、2年目約900時間)。本音を言えばもっと時間を確保したかったが、仕事の部署異動に伴い、十分には確保できなかった。下記に、①十分でない学習時間の中で工夫したこと、②十分な時間が確保できていた場合やっておきたかったことを記載した。

①十分でない学習時間の中で工夫したこと

・テキスト掲載内容について、熟知している内容と手薄な内容を区別した。

例えば条文内容や文言の定義等はこれまでの学習経験で知っているが、付随する通達内

容などで知らないことがあればマーカーで囲い、自分が初めて触れる知識がどこに記載されているかを一目でわかるようにした。

- ・ノートを作らない、文字を書く時間を減らす。

テキスト掲載内容をかいつまんでノートを作成しても出来上がるのはテキストの劣化版であり、費やす時間の割に定着の度合いは低いと割り切り、テキスト内容を改めてまとめることはしなかった。文字を書くのは講師が講義の中で説明した内容などをテキストにメモする程度にし、テキストを読むことや過去問を一問でも多く解くことに時間を費やした。

②十分な時間が確保できていた場合やっておきたかったこと

- ・テキスト精読

過去問演習は社労士受験生に欠かせない勉強であるが、学習経験のある受験生の中には過去問を暗記してしまっている人も少なくない。問題文の文頭を見るだけで解答が分かってしまう状態はそれまで何度も過去問を解いてきた証であるが、そのような問題を何度も解くことは学習効果が低いと言わざるを得ない。

受験までに十分な勉強時間が確保できるのであれば、テキスト見開き1ページを読んだら頭の中でそのページにどんな内容が掲載されていたかを思い出し、十分に思い出せなかった場合は再度同じページを確認するという作業に時間を充てたかった。当該講座の強みは試験出題内容に対するテキストの掲載内容のカバー率である。学習経験者こそテキストに立ち返ることは、まんざら無駄ではないと考える。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

中上級総合講座は学習経験者向けの講座であるため、その分映像講義のスピードもそれなりに速いとは感じた。しかしながら、竹田講師は出題が予想される箇所や重要な部分を重点的に説明し、基礎的な部分や重要度の低い箇所はご自身でお読みくださいと明確におっしゃってくれたため、分厚いテキストでもメリハリのある学習ができた。また、過去に他社で受講していた講座は理解より暗記を重視し、テキスト掲載内容をかなり絞っている印象であったが、当該講座は法律制定の背景や経緯などが掲載されていることや、講師から講義の中でテキスト掲載内容を補完する説明があるなど、結果的にそれらが暗記の補助となった。利用方法については、1周目はテキストを開きながら映像講義を視聴し、章が終わると当該章の過去問とオリジナル問題集を解いた。2周目、3周目は過去問、オリジナル問題集から解き始め、間違えたり、自信のない内容はテキストを振り返る。章ごとに問題を解き終えたら、テキストのその章を読み込んだ。問題には十分理解しているものには○、正解したが自信のない問題には△、間違った問題には×と記し、△や×を減らしていくよう心掛けた。結果的に講座で提供されるテキスト・問題集のみの学習で十分合格ラインに到達することができた。(そもそも他社の教材や模試をやる余裕はなかった、、、)

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

私は十分な学習時間を確保できない中で、総合講座テキスト及び問題演習以外の講座は

かなり利用法を絞って学習した。特に科目横断整理は最も利用が少ない講座であった。唯一使っていたのは目的条文の一覧のみである。これは人によるところとは思いますが、私は科目横断的に各法律の似通った規定を学習すると、かえって頭の中で類似の規定が混在し、正確に記憶できないと感じていたためである。そのため、当該講座について気の利いた感想を書くことはできないが、時間のない社会人受験生にとっては学習する内容を取捨選択し、ある程度割り切って学習する必要があると感じる。必ずしもすべて目を通す必要は無く、自分の弱点を補い、合格に近づくために活用するよう講師からもアナウンスがあったと記憶している。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

テキスト内容については試験範囲となる法律ごとに改正事項がまとめて記載されている。改正の項目ごとに重要度が示されており、確実に覚えておくべきこととそうでないことが分かりやすく表現されている。各項目は総合講座テキストの掲載ページが記載されており、振り返りがしやすい仕様となっている。また、記載内容について、ものによっては新旧対照表が相当なボリュームで掲載されているが、押さえておくべきポイントを講師が説明してくれるため、そこだけ押さえしていればすべてに目を通さずとも試験対策上は問題なかった。

利用方法としては映像講義を視聴後、法改正対策講座テキストを読み、総合講座のテキストの該当箇所をマーカーで囲い、法改正箇所が分かるようにした。必要に応じてテキストにメモを書き込んだ。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

当該講座のテキストはグラフを多用されており、数年間の数値の態様を大きな流れでおさえることができた。講座を担当されている平野講師の説明も要点を重点的にピックアップし、最低限覚えるべきポイントを明示する内容であった。また白書の構成をわかりやすく説明してくださり、重視すべき項目を明確に意識することができた。

こちらの講座もテキストの読み込みは講師が講義動画の中で取り上げた部分に注力し、白書のその他の部分や、統計の細かな分析等にはあまり踏み込まずに学習した。試験当日は白書統計分野については自信をもって迎えられたわけではないが、結果的には学習した範囲内で問題なく対応できた。

講義動画を視聴し、問題にされ得る特徴的な変化や国が注力している事業及び重要な数値をチェックし、試験前の直前期に再度見返した。

模擬試験のご感想・ご利用方法

付属の模試については、難易度はそれほど高かった印象はなく、基礎的であるが本試験の出題実績が少ない部分や法改正事項を取り上げた問題が多かったように感じる。手薄になりがちの部分や、過去問になっていない部分を意識的に問題に組み込むことで、受験生に対して要注意ポイントを喚起する意図が感じ取れた。模試を解いたのは本試験を三週間

後に控えたタイミングだった。点数はかろうじて合格点に達していたものの、科目ごとの基準点を下回る科目もあった。解き終わった後に1問ずつテキストの掲載部分を確認し、模試で出題されたことが分かるようマーカーで記した。

模試はあくまで試験形式の問題演習であり、結果に一喜一憂することなく復習を通して本試験対策に繋げていただきたい。

令和6年

社会保険労務士試験合格

網羅的に学習できるカリキュラムが合っていた

エグチ 瑛美さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：3 回目

社労士試験を目指した理由・契機

父が経営をする社労士事務所に入社をしたことが初めのきっかけです。事務所へ入社し、「社会保険労務士」という資格と専門的な知識をもってお客様のために尽力する方々の姿を見て自分自身もいつの間にか「社会保険労務士」になることを目指していました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

社労士の勉強を始める前年に行政書士の資格を取得したのですが、その際は別の予備校のテキストを使用していました。その予備校は効率よく短期合格を目指すことをコンセプトにしたカリキュラムであったため、試験前の模試で解いたことのない問題に出会うことが多々ありました。その度に不安な思いをしたため、自分には網羅的に学習できるカリキュラムが合っているのではないかと、アガルートの講座に決めました。

合格体験記・学習上の工夫

3度目の試験だったこともあり、一番の課題はモチベーションを保つことでした。合格したいという強い思いはあるのに、気持ちがついてこず机に向かっても勉強が進まないことがよくありました。そこで、できるだけ効率的で効果的な勉強法を意識しました。具体的には、①忘却曲線を意識して繰り返し学習を行う、②五感を複数活用して暗記を行う（テキストを読むだけでなく、知識が曖昧な部分は書き出す等）ということを行いました。学習内容としては、Ⅰ.まず講義を1.5倍速で全て視聴し、Ⅱ.過去問をほぼ完璧に仕上げ、Ⅲ.足りない知識をテキスト読みや模試で補う流れで進めました。また、気持ちが乗らない日は聞く学習に切り替えたり、直前期は寝る前に30分程度読み物感覚で統計のテキスト

を繰り返し読んだり、なるべく多くの時間を学習に充てられるよう意識しました。

社労士の試験は試験範囲が広くどの分野が出題されるか分からないにも関わらず、各大問に基準点があるため、どこまで勉強をしても絶対に合格できるという自信を持つことはなかなかできませんでした。本番ともなれば、普段は迷わない選択肢でさえ不安になって悩んでしまうこともあります。ですが、限られた時間の中でも最大限の努力をすることで自分はこれだけやったという事実が自分の中に生まれ、本番で悩んだ時に背中を押してくれた気がします。机に向かうことが辛いと感じる時期も多くありましたが、本番は一人で戦わないといけないため、積み重ねた努力だけが最後味方になってくれると信じて励みました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

私は初学者向けの総合講義も経験者向けの中上級総合講義も受講経験があります。中上級総合講義は中級者から上級者まで幅広く対応した内容であり、過去の試験で出題された重要ポイントや出題傾向を的確に押さえつつ、より深い理解を促進するようなカリキュラムでした。初学者向けの講義とは異なり、知識の整理と応用的な知識の習得に重きが置かれている内容でした。単なる暗記ではなく本質を理解できるような構成になっている印象です。社労士試験で求められる法改正や最新の試験傾向もしっかりとカバーされていました。

講師の竹田先生は、具体例やご自身の経験談も交えながら内容をかみ砕いて説明してくださるため、記憶に残りやすく且つ非常に分かりやすい講義でした。講義の内容的なベースも自分に合っていると感じました。また、社労士としての経験を時折お話ししてくださることで、試験合格後の実務のイメージも持つことができました。

試験は単なる通過点であってゴールではないので、合格後のイメージを持つことができることは非常に重要だと感じました。

社労士試験に関しては他社の講義を受講したことはありませんが、効率的に学習を進めつつも、試験の出題範囲を網羅的にカバーしたい方にはアガルトのカリキュラムはすごく適していると感じます。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

選択式集中特訓講座は今年初めて受講しました。この講座は選択式試験に特化した内容でした。選択式の例題だけでなく、選択式で問われそうな分野の知識をまとめた穴埋め記述問題も多くあり、選択式対策としてだけでなく、択一式にも備えた知識の定着にかなり効果的であると感じました。テキスト読みや過去問においては習得できていると思っていた知識であっても、改めて穴埋めの記述式になっていると解答が思い出せないことが多々ありました。一通り学習を終えて知識もある程度インプットされた段階で活用されるとより効率よく学習ができる気がします。選択式は私自身も足切りになったことがありますが、直近の試験の印象は基礎がきちんと習得できていれば基準点は超えられる問題になっている印象です。

出題範囲が広いため対策しづらいですが、アガルートの選択式集中特訓講座を活用して苦手意識を克服することができました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

科目横断整理講座は、複数の科目に関連するテーマを体系的に整理できる講座です。社労士試験においては、科目毎の知識だけではなく、科目間の繋がりと共通する知識の関連性を理解することが非常に重要だと感じました。横断学習をすることで、科目毎の学習で得た知識を整理することができます。アガルートのテキストでは図や表を用いて分かりやすく体系的に知識がまとめられており、知識が混同してしまったときや直前期の復習に活用していました。テキストを読む際や過去問を解く際に常に科目横断的な視点を持ち、都度科目横断整理講座のテキストを読み返しながら知識を定着させていました。復習目的だけではなく、インプットの際も科目間の関連性を意識することでより早く知識の習得ができると思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

社労士試験は毎年必ず直近の法改正の内容が出題されると聞いていましたので、法改正対策講座は講義を1度聞いたうえで何度かテキストを読んで内容を押さえました。アガルートの講座では、改正点が厳選されており且つ重要度が明記されているので、時間がない中で重要度を意識しながら効率よく学習を進めることができました。また講師の竹田先生は、単にテキストを読むのではなく、法改正の背景や影響についても丁寧に説明してくださるため、講義の内容が非常に興味深く、その結果集中して講義を聞くことができたので知識の定着に繋がったと思います。法改正に関する問題で失点することなく試験を終えられたのは、この講座を受講したおかげだと感じました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

過去問マスター答練では過去問の傾向を押さえつつ、類似問題や応用問題が集中的に学習できるようになっており、直前期の反復演習として活用していました。過去問や他の実力確認答練でも共通していますが、各問題に対する解説が詳細であり、知識の確認だけではなく解答へのアプローチの過程も記載してあるため、実践的な力が身に付く内容であると感じました。答練をただ解くだけではなく、解説にある曖昧な知識を都度テキスト等で確認をするなど、複数の教材を組み合わせる活用する学習を行うことでより理解が深まりました。この方法で繰り返し取り組むことで少しずつ自信に繋がっていきました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

実力確認答練は試験本番を意識した実践形式での演習になっていました。全範囲を網羅した内容の問題が出題されているため、自分の得意・不得意な分野を明確にして徹底的に克服に努めることができました。解説も非常に分かりやすく、解説内容を都度テキストでも確認することを繰り返し行いました。社労士試験は午前の選択式80分を終えた後に択一式210分とかなり長期戦のため、本番を意識した学習の重要性を非常に感じます。実力確

認答練は直前期から活用し、苦手分野を明らかにしつつ、最終的には問題内容を完全に理解できているところまで仕上げました。アガルートの講座は試験範囲を網羅的に学習できるため、一つ一つの問題集を完璧にすることが同時に試験範囲をより完璧にカバーできることに繋がると強く感じました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

白書対策講座は、試験で重要な白書の内容を効率よく学習できました。社労士試験では、労働経済や社会保障関連の白書からも出題されるため、最新の統計データやトレンドを把握する必要があります。統計や白書は幅広い範囲に対してどこまで時間をかけるべきかに悩み、なかなか手を付けられない分野でした。そのため、ずっと苦手意識と不安を抱えていました。アガルートの講座では、重要な白書の要点が厳選されており、試験によく出るポイントを中心に効率的に学習できる内容であったため、講師の方に教えてもらった内容だけは押さえておこうということを意識して学習しました。講師の方のアドバイスもありましたが他の法律科目に勉強時間を割いた方が点数に繋がりやすいことは事実であったため、この講座を信じて最低限の知識をもって試験に挑みました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

アガルートの模擬試験は最新の出題傾向や法改正を反映した問題が出題されるため、本番に近い難易度と範囲で自分の実力を測ることができました。解説も非常に丁寧でその問題の単なる解説ではなく、関連知識についても確認をしてくださるため、復習としても非常に有効な内容でした。本番の試験がかなり長期戦であるため、模擬試験で210分集中を保つこととペース配分の練習を行いました。講師の竹田先生が年金科目から解く方法を紹介されており、私自身両方試した結果、年金科目を先に解く方が集中力を最後まで保つことができたので、模擬試験でも本番でも年金科目から解いていました。模擬試験の中でそういった実践的な練習を重ね、知識だけでなく解く順番やペース配分等、試験における戦略を立てられると良いと思います。また、模擬試験に関してはアガルート以外の会社の模擬試験も受講していましたが、アガルートのテキストで見たことがない問題に出会うことはほとんどなく、改めてアガルートのテキストが網羅的に出題範囲をカバーしてくれていることを感じました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

他社から乗り換え、基礎を徹底的に鍛えなおした

島村 勇輝さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：11 か月

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

企業の人事部で仕事をしたいと考えているためです。現在、開業等は考えておらず、あくまで会社員としての自身のレベルアップ、やりたい仕事をやるための手段として、形に残る実績が欲しいと考え、社労士試験を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

昨年は他社の教材で勉強しましたが、わずかに点数が足りず不合格となりました。合格の手応えを感じながらの不合格であったため、何かを変えなくてはいけない、との考えから合格実績が非常に高かったアガルートにお世話になることにしました。

合格体験記・学習上の工夫

私は昨年他社の講座を受講し、わずかな差で不合格となりました。勉強時間は約1500時間は確保し、教科書の複数回の読み込み、過去問の繰り返しにより、間違いなく合格するだろう、とたかをくくっておりました。しかし、現実には甘くなく本来なら間違えるはずのない基礎的な問題で複数誤答がありました。まったくわからない問題が原因で不合格になるならまだしも、落ち着いて考えれば理解できる問題で不合格となり、非常に悔しい気持ちでいっぱいでした。

そこで気づいたことが1つあります。それは「基礎が一番大事」ということです。難しい問題はほとんどの人が解けません。基礎的な問題をいかに落とさないかがこの試験の本質的な部分と考え、試験という緊張感がある場でも瞬時に解答が思い浮かぶくらい基礎を徹底的に鍛えよう！と思いました。

具体的に力を入れたのは大きく2点です。

1点目は教科書の読み込みです。読み込みといっても、前回不合格になったときのようにただ読み込むわけではありません。ゆっくりでも1つ1つの言葉の意味を理解し、不明点を解消しながら読み進めました。なお、頻出単語や目的条文については、理屈ではなく完全に暗記することを意識していました。

2点目は問題をひたすら解くことです。これは非常に単純で、とにかく問題演習の数をこなすことです。それにより自然と解答スピードも上がり、同じような問題に出会ったときの対処もしやすくなります。

ただ、特に重要だと思うのは問題を解くことよりも、解答の解説をしっかりと読み込み理解するまで時間をかけることです。少しでも不安を残すことなく、次に進むことで自分への自信につながりました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

昨年の9月後半にアガルートにお世話になることを決断し、勉強を開始しました。

中上級総合講義は、初歩的な内容は省略されており、昨年不合格となった経験者としては、勉強の効率化という観点から非常にありがたい内容でした。講座で特に嬉しかったのは大きく2点です。

1点目はオリジナル問題が非常に充実していることです。テストではまったく見たことのない問題に出会うことも多々あると思います。その際に、いかに正解できるか、わからなくても正解へのヒントを導き出し、消去法でも正解を導き出せるかが非常に重要だと思います。その感覚を自宅にいながらも体感するために、出会ったことのない問題にひたすらチャレンジすることは自分にとっては楽しいものであり、非常に勉強になりました。

2点目はテスト問題に対する教科書のカバー力です。正直に申しますと、教科書は非常に分厚いと思います。しかし、分厚いからこそテストで出る多くの箇所をカバーしており、この教科書を覚えることで自分は合格に近づくんだ！とやる気がみなぎりました。教科書を読んだ後に過去問の問題を解くと、スラスラと解答が出てきて、本当に多くのことを教科書でカバーしていただいているんだなと思いました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

過去問には出てきていない、主にオリジナル問題で構成されており、試験当日を意識した勉強ができるため非常に良かったです。

本教材は8月上旬から利用しました。選択式試験は択一式試験と比較し、時間に追われることは少ないため、問題文をゆっくり正確に読むことを意識し、もし解答がわからない場合でも、前後の文脈から答えの予想を導き出せるように繰り返し問題を解きました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

目的条文の暗記に非常に苦手意識を持っていたため、すごくありがたい教材でした。8月に入ると残り何を勉強すれば合格に近づくのか非常に迷っていました。そんなときに

各科目の目的条文や給付制限等、科目横断的な勉強が必要な内容は取り組みやすく、非常に助かりました。

上述しましたが、勉強時期としては8月に入り、模擬試験を終了した後、何を勉強すればよいかわからなくなった時期に取り組みました。ボリュームも少ないので、電車内や会社の休憩中等すきま時間に読むことを意識しました。特に目的条文については、テストで必ず出ると思っていたので、どの条文が出ても正解できるよう繰り返し読み込みました。暗記すべきものは確実に暗記することが非常に重要だと思います。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

法改正の内容が非常にわかりやすくまとめられており、読みやすかったです。また、重要と思われる改正にはマークがつけられており、どれだけ読み込むべきか、繰り返し勉強するべきかの基準となり、非常に参考になりました。

利用時期としては、6月頃に1周目、7月に2周目、8月に3周目と短期間で多く読み込みました。特に意識したのは、マークの多い箇所を重点的に読み込むことです。1周目はすべて読み込みましたが、2周目では1個の改正は飛ばして読み、3周目では2個の改正も飛ばし、3個の最重要と思われる改正のみ目を通しました。

社労士試験の勉強をするにあたり、難しいのは勉強時間の確保だと思います。すべて完璧に目を通して理解する時間ありませんので、講師の先生方が特に重要だと考えた箇所を重点的に勉強することが合格への近道だと思いました。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

本試験において、過去問の繰り返しは最も重要と考えていたため、すごくありがたかったです。

利用時期は7月前半であり、全教科の内容を理解した後にまとめて実施しました。特に択一式試験を意識し、1問約3分以内で問題を解きました。1問1問にしっかり解説もあるため、問題を解く時間以上に解説を読む時間に時間をかけました。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

全教科分が網羅されており、自身の実力を確認するためにも非常にためになりました。非常にボリューム感があり、難易度も低すぎず高すぎず程よいものでした。

利用時期は各教科の2周目を終えた後、過去問とともに実施し、教科書で読んだ内容を理解できているか、確認テストの認識で実施していました。科目によっては過去問の出来がよくても、実力確認答練の出来が悪いことも多くありました。過去問の問題と答えを覚えてしまっており、実力確認答練のように初めて目にする問題には非常に弱い自分に気付きました。そのため、一つ一つの問題の答えではなく、意味を理解することを心がけ、少しでも意味がわからないものを徹底的に調べることを意識しました。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

非常にボリュームがあって勉強のしがいがありました。利用方法としては、教科書を2

周読み直すこと、過去問で頻出の箇所には付箋等を貼り、繰り返し復習できるようにしました。

白書対策は基本的に択一式で3点を取るためのものと考えておりました。3点は大きな点ですが、そこに時間を割きすぎるのも非効率的だと考え、多くの時間をかけないようにしました。結果的に本試験では白書関係の問題で間違いがありましたが、労一社一の択一式で及第点の6点を確保できていたため、合格できました。3点を無理に取りに行くよりも、7点を狙いにいく方が合格率は上がる気がします。

模擬試験のご感想・ご利用方法

テスト本番の感覚、緊張感を感じられ、すごくためになりました。また、一問ごとに解説があり、不正解となった問題の見直しや正解したが実はよくわかっていなかった問題に対する理解の定着にとっても効果的でした。

活用方法としては、テスト1ヶ月前の7月下旬に実施しました。特に意識したのは本番と同じ状況で行うことです。時間を正確に計り、マークシートや鉛筆を揃える等、本番と同じ条件を意識し、現時点での自身の実力を測ることを意識しました。

ただし、重要なのは本当に理解して正解していたか、点数を取れたかだと思います。そのため、誤った解答の復習はもちろんのこと、正解した解答についても少しでもわからない表現があった場合は必ず見直し、問題文内で不明だった表現はすべて理解できるようにしました。

令和6年

社会保険労務士試験合格

アウトプットに比重を置いて学習した

斎藤 賢一さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：2 回目

社労士試験を目指した理由・契機

前職では公的年金関連委託事業の手順書作成・教育研修・作業管理等に従事しておりました。大規模事務センターにおける非正規雇用労働者の労働条件・就業環境や事務処理工程の実情に接し、問題意識を深めたことから、労働社会保険諸法令に係る専門性を身に付けるために受験を決意しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

緑を基調とした目に優しい色合い、十分な書き込みができる左右の余白、充実した解説・図解・まとめ表で構成されるテキストに魅力を感じました。また、竹田先生の語り口、資格試験に対する考え方や推奨されている勉強法が自分に合っていると思い、アガルートを選択しました。

合格体験記・学習上の工夫

令和5年度本試験を約50時間の勉強で「お試し受験」し、予め会場の環境や受験者の様子を観察した上で、令和6年度の本試験対策を開始しました。

まず、教材の配送スケジュールに合わせた本試験までの学習計画をExcelで作成し、進捗状況を管理できるようにしました。また、日々の具体的な学習内容・時間の記録には学習管理アプリを使用しました。

戦略上最も重視した点は、全科目バランスよい理解と記憶を維持した状態で直前期を迎えることでした。そのため、社会保険科目の総合講義に着手した年明け以降も並行して労働科目の復習を継続するよう心がけました。

直前期は、過去問・答練・模試を通して何度も間違えた問題や苦手な事項を中心に復習

しました。本試験1週間前には、全科目のテキストから最終確認事項のみを抜粋した小冊子を作成し、当日まで精読しました。

全期間アウトプット学習に比重を置いたため、テキストの通読は総合講義視聴時の1回しか行いませんでしたが、約13か月・1350時間の学習で合格することができました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

8月に開始した総合講義では、予習を重視しました。出題実績のある論点を把握した上で視聴した方が、学習効率が良いと判断したからです。

具体的な手順として、最初に『肢別過去問集』『オリジナル問題集』を読み、解答解説と『総合講義テキスト』を参照しながら、正誤判定の決め手となる問題文の論点部分にアンダーライン、専門用語や数字などにマーカーを引いて覚えるようにしました。

次に、アンダーラインを引いた論点の『総合講義テキスト』掲載箇所、本試験でどのような問われ方をしたか端的に書込み、情報を一元化するとともに、周辺論点についても確認するようにしました。角度を変えて何度も出題された事項は書込みが多くなるため、この時点でおよその傾向が把握できました。

以上の予習を一通り終えた後、法改正や未出題の事項を含めた体系的な知識を得るために講義を視聴しました。講師の解説についても、書込み箇所とその周辺論点を重点的に理解するようメリハリをつけた学習を行いました。

講義視聴はテキスト読みを兼ねて行ったため、再生速度は上げず、理解できない箇所は一時停止して聴き直すようにしました。量より質を重視したため、全期間を通して講義は一度しか視聴しませんが、得点力につながる知識基盤を構築できたと思います。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

直前期の6月上旬から中旬にかけて取り組みました。総合講義の開始当初から、択一式と並行して選択式のアウトプット学習を行っておりましたので、抵抗感なく着手できました。

過去に選択式（択一式）で問われた論点、後に択一式（選択式）として出題される可能性があることを踏まえれば、特段両者を区別した対策をする必要はないと考えます。ただし、目的条文や判例については、類似の選択肢に惑わされないよう正確な語句・表現を覚えることに努めました。

なお、選択肢のグルーピングや前後の文脈から推測して選択肢を絞るテクニックなどの練習は行いませんでした。本試験での再現性に乏しく、必ずしも得点力に直結しないと判断したからです。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

直前期の5月下旬に取り組みました。科目別の総合講義を「縦糸」とすると、科目間の横断整理は「横糸」と捉えることができます。複数の科目に見られる同種の事項は、頭の中で知識が整理されていないと混同しやすくなります。そこで、これらを比較して相違す

る部分を重点的に覚えるようにしました。

『科目横断整理講座テキスト』は、比較しやすい対照表形式でまとめられており、効率的に学習することができました。直前期のアウトプット学習において、知識の混同により不正解となった問題を復習する時にも参照しました。ただし、内容は横断整理用に簡略化されているため、基本知識そのものが曖昧な場合は、必ず『総合講義テキスト』に戻って確認するようにしました。

法改正対策講座のご感想・ご利用方法

直前期の5月下旬に取り組みました。本試験ではその年の法改正事項が一定の割合で出題されますが、その知識は過去問から得ることができないため、本講座を重視しました。

『法改正対策講座テキスト』には、各事項の重要度が★印で明示されているので、最も重要度の高い★★★を優先して学習しました。

また、各予備校の模試で出題された事項は、本試験でも出題の可能性が高いと予想されたため、必ず本テキストを確認するようにしました。そして、関連事項を含めた知識が曖昧な場合は、面倒でも『総合講義テキスト』まで戻って復習するように心がけました。

本講座の内容が定着してきた頃から、本試験に向けた不安要素が解消され、徐々に手応えを感じられるようになったと思います。

過去問マスター答練のご感想・ご利用方法

『肢別過去問集』『オリジナル問題集』は一問一答形式であるため、短時間に難問・奇問を含む五肢を相対評価し、確実な知識を頻りに正解肢を見出す練習には適していません。そのため、直前期から年度別にまとめられた本試験形式の過去問を使用することで、この実践力を鍛えることができました。

また、本試験で場当たり的な対応をしないためには、予め解く科目の順序や時間配分を決めておくことが大切です。そうした戦略を練る際も本試験形式の過去問が役立ったと思います。

実力確認答練のご感想・ご利用方法

7月上旬から中旬にかけて取り組みました。『実力確認答練』は、科目ごとに選択式2問・択一式10問で構成されています。過去問マスター答練と同様、五肢の中から正解肢を見出す力を養う実践的な演習になりますが、アガルトのオリジナル問題である点が特色です。

本試験と同水準の新聞に触れることで、これまでテキストや過去問を通して記憶の定着を図ってきた論点についても、より多角的な視点から捉え直すことができたと思います。

また、過去問では法改正事項のアウトプット学習を行うことができないため、問われやすい論点を把握する材料として、答練や模試を積極的に活用しました。その結果、法改正事項の得点力を高めることができたと思います。

白書対策講座のご感想・ご利用方法

6月下旬に着手しました。すでに複数回の模試を終えていましたが、白書・統計問題は

ほとんど正解できない状態でした。対策を後回しにしていたのは、範囲がかなり広く、費用対効果が低いイメージを持っていたからです。

しかしながら、模試の厳しい結果を受けて、一般常識の基準点をクリアするためには、白書・統計問題を一間だけでも正解しておくことの重要性を認識するようになりました。本試験まで残された期間があまりなかったため、模試で出題された論点とその周辺知識に的を絞って覚えることにしました。

『白書対策講座テキスト』の特徴は、各種統計のグラフが数多く掲載されている点にあります。これにより、文章の解説だけではわかりづらい内訳・比率・推移・傾向などを視覚的に把握することができました。

模擬試験のご感想・ご利用方法

8月上旬に実施しました。この時期まで後回しになったのは、会場受験ができる他の予備校の模試を優先したためです。模試は、解く科目の順序や時間配分について、事前に計画した通りシミュレーションを行い、見直しと改善を図るために活用しました。したがって、自宅受験であっても必ず本試験と同じ時間内に解答するようにしました。

上記の目的が念頭にあったため、成績に一喜一憂することはありませんでしたが、模試には本試験の予想問題という特性があるため、間違えた問題は必ず復習するようにしました。同様の問題が出題された時に正解できるよう万全の対策をしたことで、心理的に余裕を持って本試験を迎えられたと思います。

なお、予備校によって難易度や傾向が異なるので、できる限り複数の予備校の模試を受験した方がよいと考えます。